

第3回介護施設等の在り方に関する委員会

－ 議 事 次 第 －

日時：平成19年3月12日(月)

14:00－17:00

場所：全国都市会館

(2階大ホール)

議 題

1. 療養病床アンケート調査結果について
2. 療養病床の入院患者の状態像と必要なケアについて
3. その他

都道府県における 「療養病床アンケート調査」結果

平成19年3月
厚生労働省

目次

I 「療養病床アンケート調査」結果 <概要>..... 1

II 療養病床アンケート調査結果・施設票

1	回答施設の病床数	7
2	回答施設の入院患者数	7
3	医療区分（医療療養病床入院患者）	8
	○病院診療所別	9
	○都道府県別	10
4	ADL区分（医療療養病床入院患者）	12
5	医療区分・ADL区分組み合わせ（医療療養病床入院患者）	13
6	要介護状態等区分（介護療養病床入院患者）	14
7	医療療養病床、介護療養病床全体の転換意向	15
8	医療療養病床の転換意向	16
	○病院診療所別	17
	○都道府県別	18
9	介護療養病床の転換意向	20
	○病院診療所別	21
	○都道府県別	22
10	建設年度別病床数（医療療養病床・介護療養病床）	24
11	併設施設等の状況	25

III 療養病床アンケート調査結果・患者票

1	年齢	28
2	性別	29
3	主傷病名	30
	○医療区分別・全体	31
	○医療区分別・医療療養病床	32
	○医療区分別・介護療養病床	33
4	医療区分	34
5	ADL区分	35
6	要介護状態等区分	36
7	認知症高齢者の日常生活自立度	37
8	障害高齢者の日常生活自立度	38
9	世帯の状況	39
10	住居の状況	40
11	自宅での介護者の有無	41
12	特別養護老人ホームの申し込みの有無	42
13	介護老人保健施設の申し込みの有無	43
14	所得状況（医療療養病床）	44
15	所得状況（介護療養病床）	45
16	医療処置	46
	○医療区分別・全体	47
	○医療区分別・医療療養病床	48
	○医療区分別・介護療養病床	49
17	3ヶ月以内の急性増悪（急性期病院への転院等）の有無	50
18	それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性を踏 まえ、医療機関として対応が望ましいと考えられる施設等	52
	○医療区分別・全体	53
	○医療区分別・医療療養病床	54
	○医療区分別・介護療養病床	55

IV 療養病床アンケート調査について..... 57

V 療養病床アンケート調査票..... 59

VI 記入要領..... 65

VII 留意事項..... 70

「療養病床アンケート調査」結果<概要>

平成19年3月 厚生労働省

調査目的

今後本格化する療養病床の再編成に向け、各都道府県において地域特性に応じた対応方針を確立し、計画的な療養病床の転換を図るための基礎資料とするために、療養病床入院患者のサービスニーズや療養病床を有する医療機関の意向等を把握するものである。

調査方法等

○「Ⅰ 施設票」「Ⅱ 患者票」に基づき、転換意向、入院患者の状態等について以下の通り調査を実施した。

- ・アンケート調査の対象及び客体
 - 「Ⅰ 施設票」…療養病床を有する医療機関(全数)
 - 「Ⅱ 患者票」…上記医療機関の入院患者(1/3抽出)
- ・アンケート調査の時期
 - 平成18年10月1日

Ⅰ 施設票

調査票送付施設：6,362医療機関
 回答施設数：5,930医療機関
 回答率：93.2%

① 回答施設の病床数

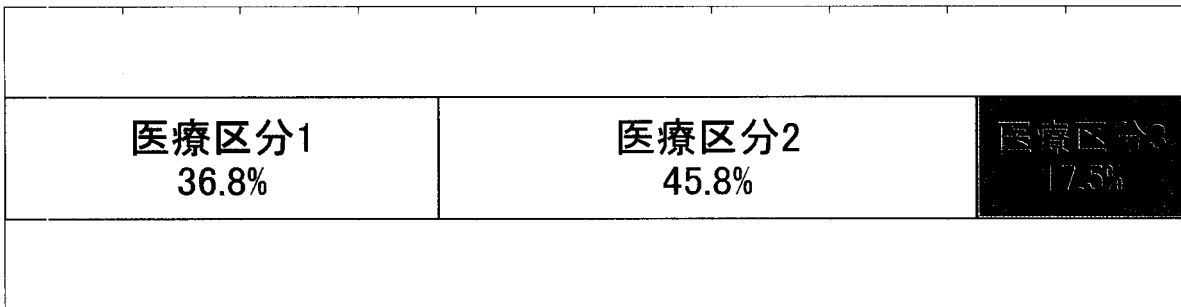
医療療養病床	(再掲) 介護保険 移行準備 病床	介護療養 病床	(再掲) 経過型介 護療養病 床
222,398床	1,925床	116,031床	518床

② 回答施設の入院患者数

医療療養 病床	(再掲) 介護保険 移行準備 病床	介護療養 病床	(再掲) 経過型介 護療養病 床
196,480人	1,718人	107,592人	461人

③ 医療療養病床における入院患者の医療区分

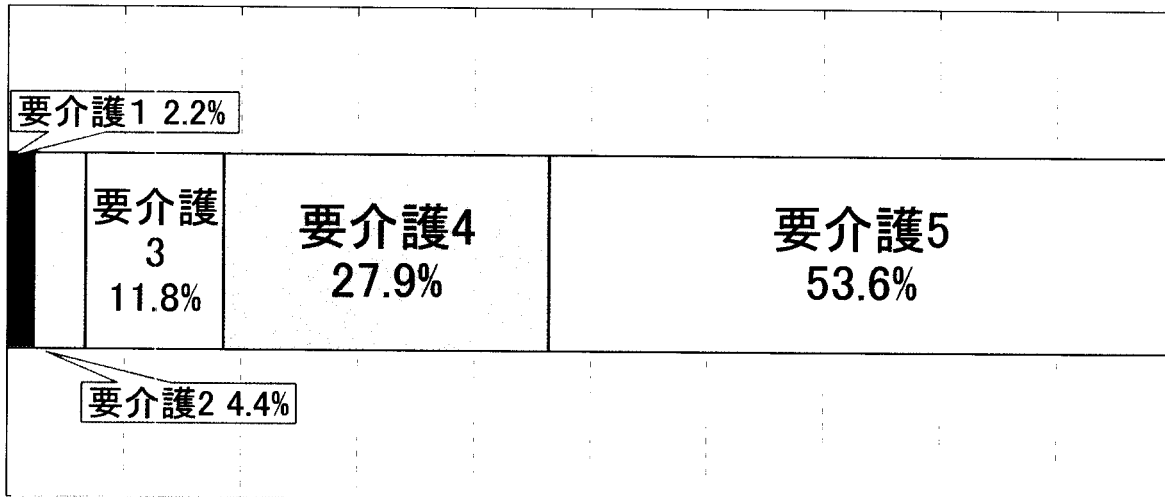
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



医療区分1 医療区分2 医療区分3

④介護療養病床における入院患者の要介護度状態等区分

0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%

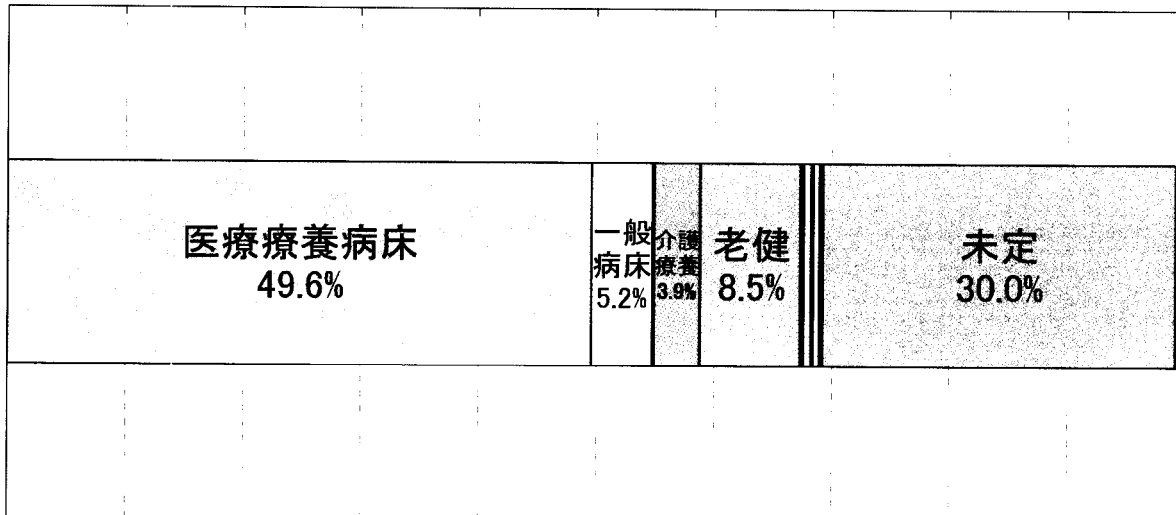


■ 要介護1 □ 要介護2 □ 要介護3 □ 要介護4 □ 要介護5

⑤医療療養病床と介護療養病床における転換意向

○療養病床全体の転換意向は、医療療養病床へ49.6%、介護老人保健施設へ8.5%、一般病床へ5.2%であり、未定は30.0%であった。

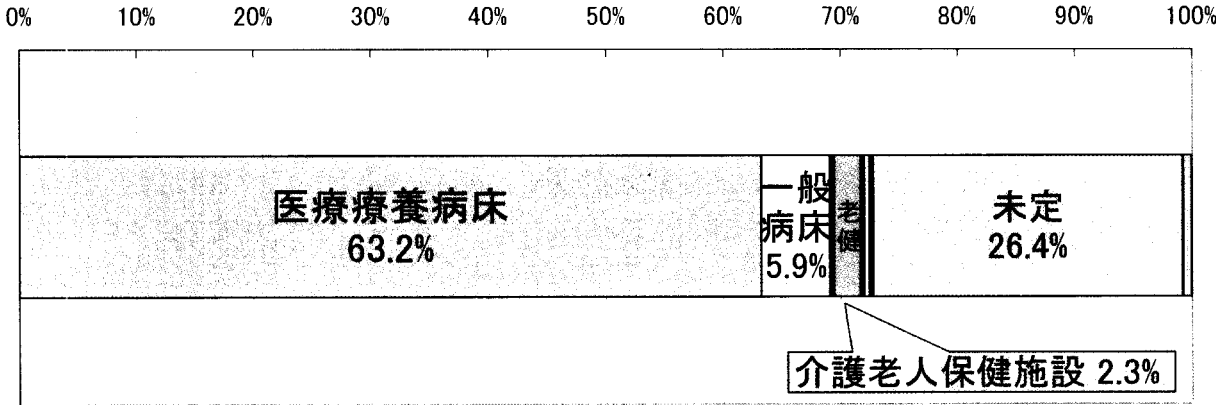
0% 10% 20% 30% 40% 50% 60% 70% 80% 90% 100%



- | | | |
|---|---------------------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> 医療療養病床 | <input type="checkbox"/> 一般病床 | <input type="checkbox"/> 老人性認知症疾患治療病床 |
| <input type="checkbox"/> 介護療養病床 | <input type="checkbox"/> 老人性認知症疾患療養病床 | <input type="checkbox"/> 介護老人保健施設 |
| <input checked="" type="checkbox"/> 特別養護老人ホーム | <input type="checkbox"/> 有料老人ホーム | <input checked="" type="checkbox"/> 軽費老人ホーム |
| <input checked="" type="checkbox"/> グループホーム | <input type="checkbox"/> 廃止 | <input type="checkbox"/> その他 |
| <input type="checkbox"/> 未定 | <input type="checkbox"/> 無回答等 | |

⑥医療療養病床における転換意向

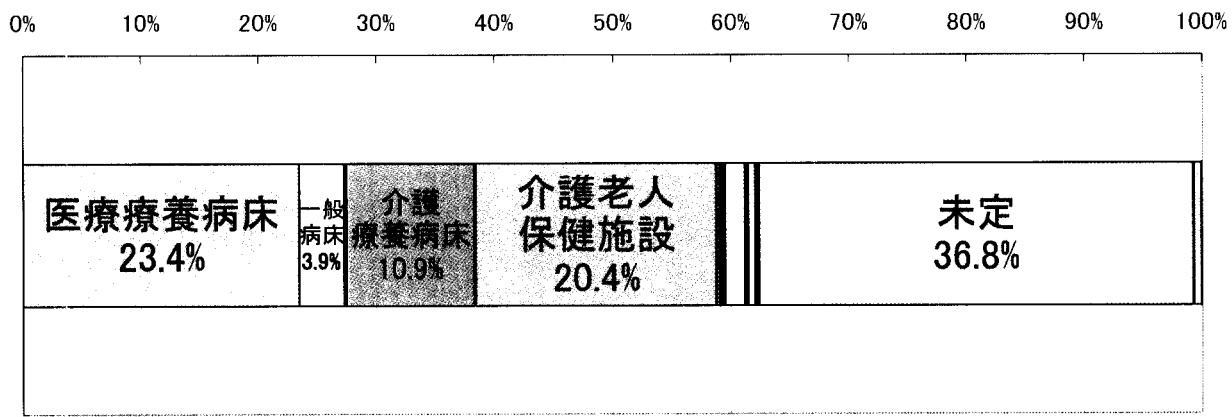
○医療療養病床の転換意向は、医療療養病床にとどまるが63.2%、一般病床へ5.9%、介護老人保健施設へ2.3%であり、未定は26.4%であった。



- 医療療養病床
- 介護療養病床
- 特別養護老人ホーム
- グループホーム
- 未定
- 一般病床
- 老人性認知症疾患療養病床
- 有料老人ホーム
- 廃止
- 無回答等
- 老人性認知症疾患治療病床
- 介護老人保健施設
- 軽費老人ホーム
- その他

⑦介護療養病床における転換意向

○介護療養病床の転換意向は、平成23年度まで介護療養病床にとどまるが10.9%、医療療養病床へ23.4%、介護老人保健施設へ20.4%であり、未定は36.8%であった。

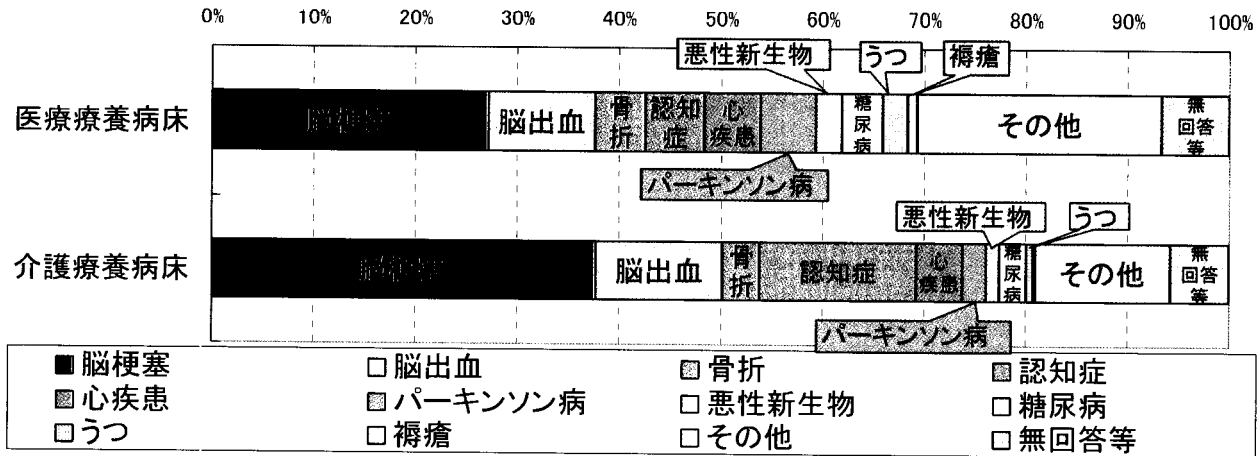


- 医療療養病床
- 介護療養病床
- 特別養護老人ホーム
- グループホーム
- 未定
- 一般病床
- 老人性認知症疾患療養病床
- 有料老人ホーム
- 廃止
- 無回答等
- 老人性認知症疾患治療病床
- 介護老人保健施設
- 軽費老人ホーム
- その他

Ⅱ 患者票

① 主傷病名

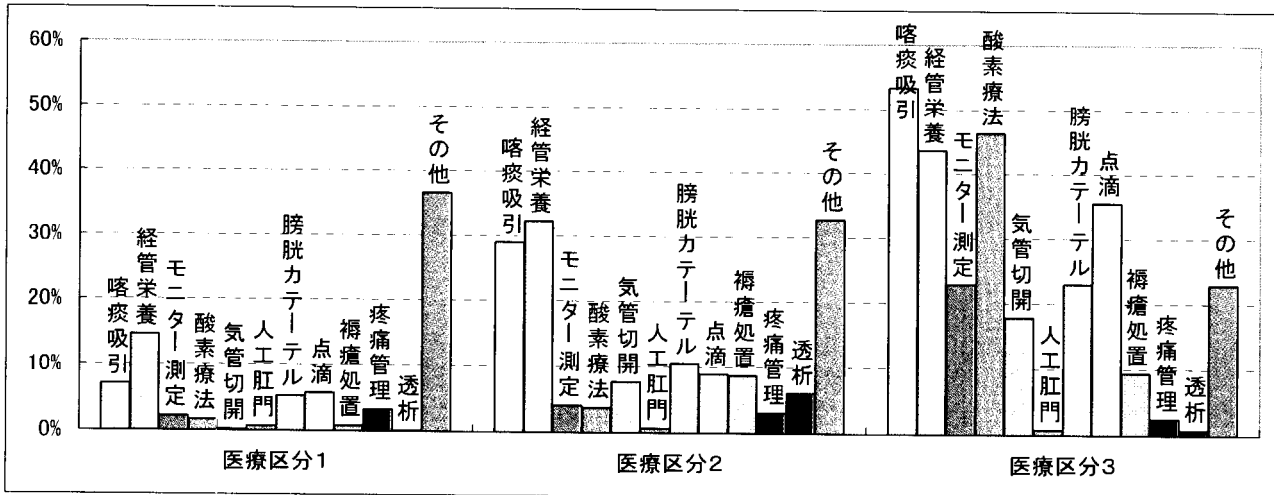
- 医療療養病床では、脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が37.6%、認知症が5.8%、心疾患が5.5%、パーキンソン病が5.5%であった。
- 介護療養病床では、脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が50.2%、認知症が15.4%、心疾患が4.5%であった。



② 医療療養病床における医療処置

(10%を超える者に行われていた医療処置)

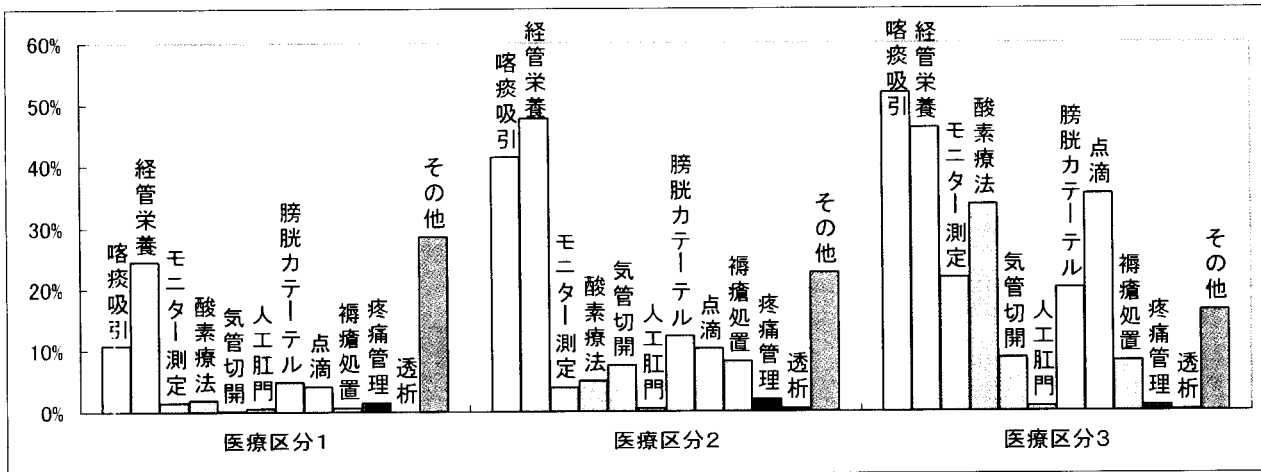
- 医療区分1では経管栄養が14.6%、
- 医療区分2では経管栄養が32.3%、喀痰吸引が29.0%、膀胱カテーテルが10.4%、
- 医療区分3では喀痰吸引が53.3%、酸素療法が46.3%、経管栄養が43.6%、点滴が35.5%、膀胱カテーテルが23.0%、モニター測定(心拍、血圧、酸素飽和度)が22.8%、気管切開が17.9%であった。



③介護療養病床における医療処置

(10%を超える者に行われていた医療処置)

- 医療区分1では経管栄養が24.5%、喀痰吸引が10.8%、
- 医療区分2では経管栄養が47.8%、喀痰吸引が41.4%、膀胱カテーテルが12.3%、点滴が10.2%、
- 医療区分3では喀痰吸引が51.9%、経管栄養が46.2%、点滴が35.5%、酸素療法が33.7%、モニター測定（心拍、血圧、酸素飽和度）が21.8%、膀胱カテーテルが20.1%であった。



④急性増悪（急性期病院への転院等）の有無

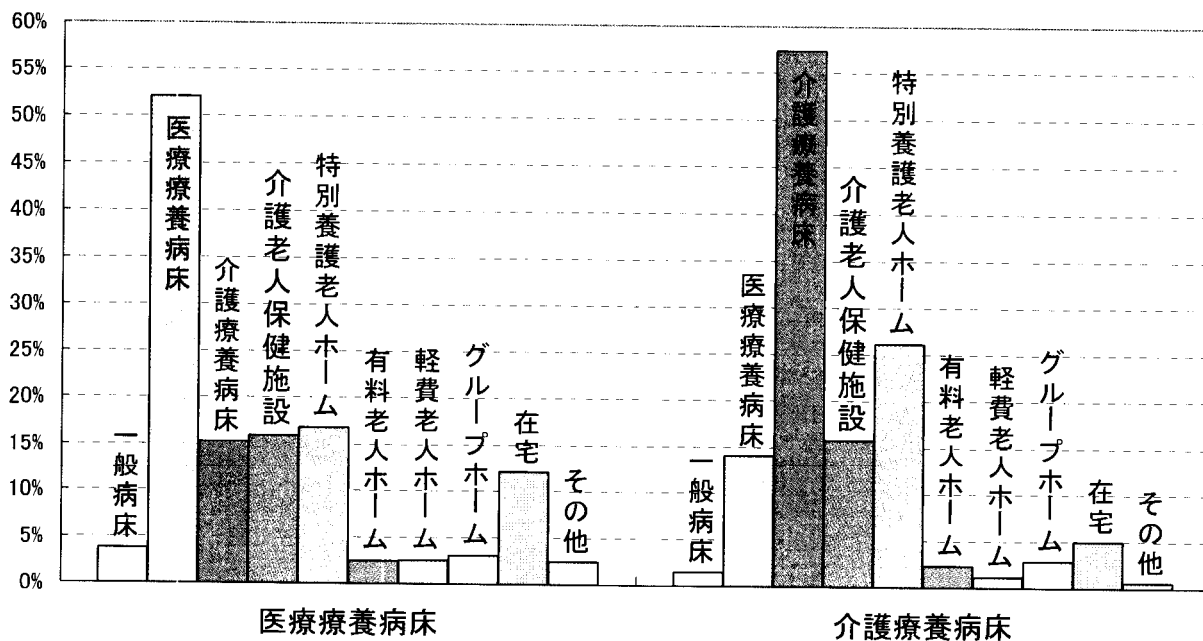
○3ヶ月以内に急性増悪があった者の割合は医療療養病床では9.8%、介護療養病床では6.6%であった。

	なし	あり	不明
医療療養病床	86.4%	9.8%	
介護療養病床	90.5%	6.6%	

なし あり 不明 無回答等

⑤それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性等を踏まえ、医療機関として対応が望ましいと考えられる施設

- 医療療養病床では、多い順に、医療療養病床が52.1%、特別養護老人ホームが16.8%、介護老人保健施設が15.9%であった。
- 介護療養病床では、多い順に、介護療養病床が57.4%、特別養護老人ホームが26.2%、介護老人保健施設が15.8%であった。
(複数回答)



療養病床アンケート調査結果

施設票

- ・ 調査票送付施設 : 6,362医療機関
- ・ 回答施設数 : 5,930医療機関
- ・ 回答率 : 93.2%

1 回答施設の病床数

今回集計の対象となった病床数は医療療養病床222,398床、介護療養病床116,031床であった。

医療療養病床	(再掲)介護保険移行準備 病床	介護療養病床	(再掲)経過型介護療養病 床
222,398床	1,925床	116,031床	518床

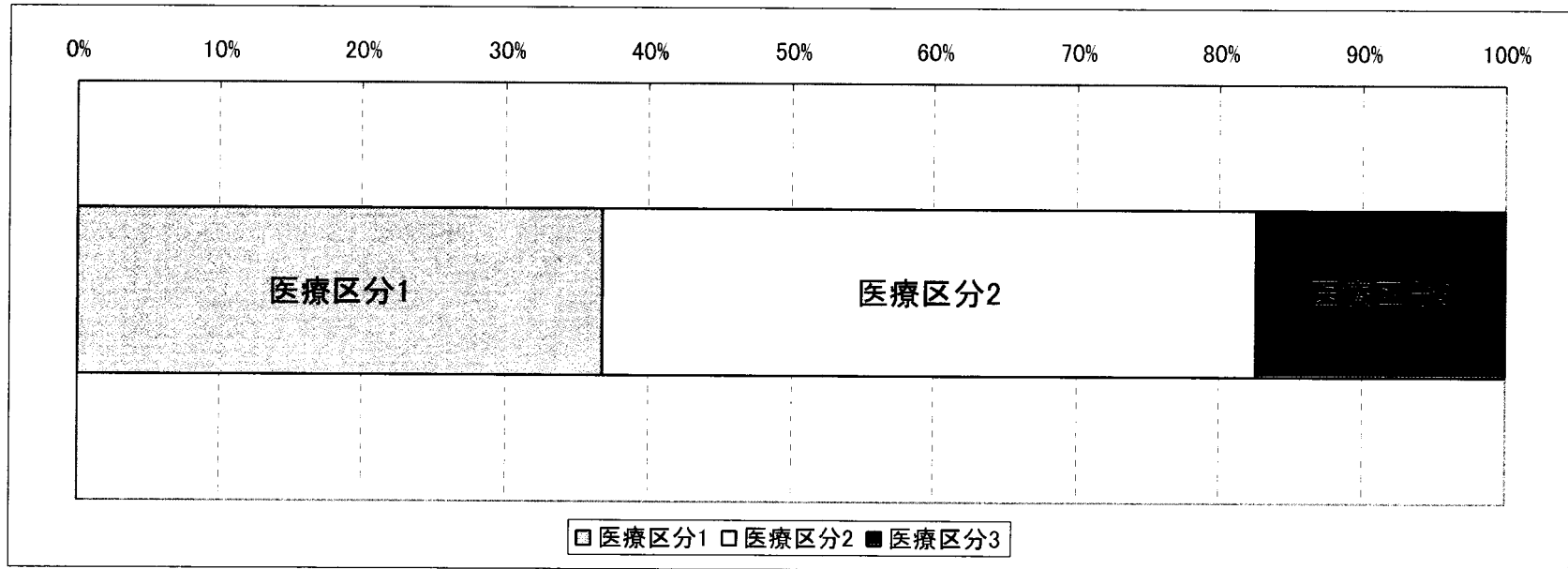
2 回答施設の入院患者数

今回集計の対象となった病床に入院していた者は医療療養病床で196,480人、介護療養病床で107,592人であった。

医療療養病床	(再掲)介護保険移行準備 病床	介護療養病床	(再掲)経過型介護療養病 床
196,480人	1,718人	107,592人	461人

3 医療区分（医療療養病床入院患者）

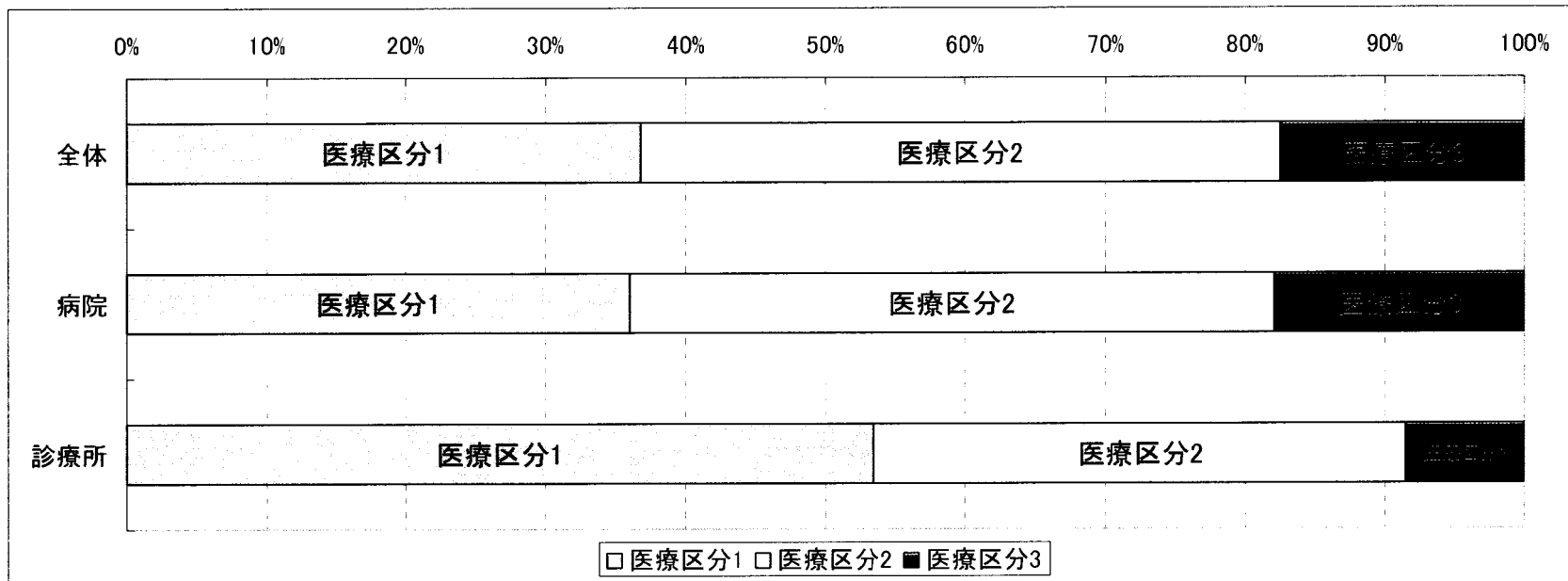
全体では医療区分2が45.8%で最も多く、次いで医療区分1が36.8%、医療区分3が17.5%であった。



医療区分1		医療区分2		医療区分3		合計	
71,721人	36.8%	89,329人	45.8%	34,052人	17.5%	195,102人	100.0%

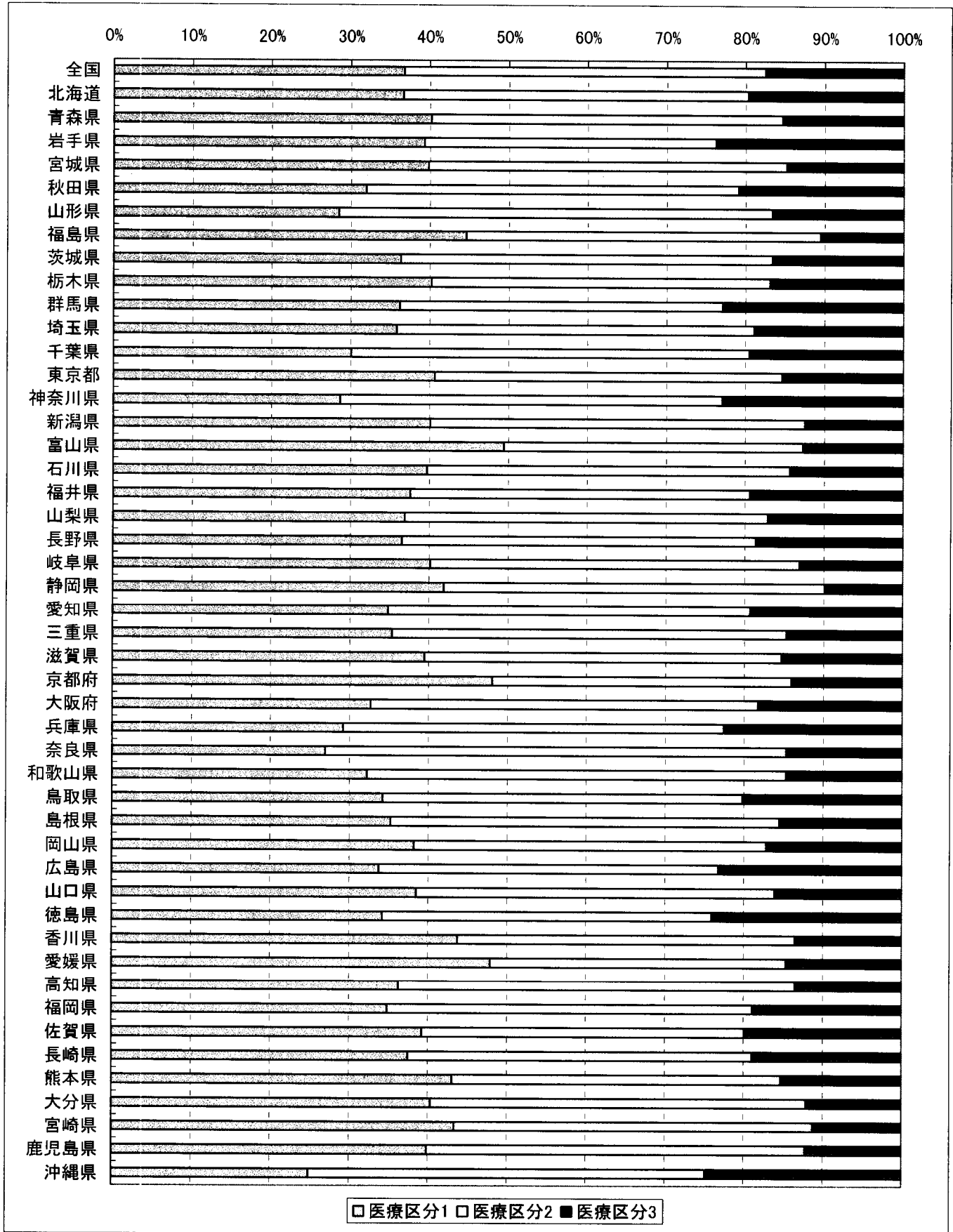
3 医療区分（医療療養病床入院患者） ・ 病院診療所別

病院・診療所別に見ると、病院では医療区分2が46.2%で最も多く、次いで医療区分1が35.9%、医療区分3が17.9%であった。また診療所では医療区分1が53.5%で最も多く、次いで医療区分2が38.1%、医療区分3が8.5%であった。



	医療区分1		医療区分2		医療区分3		合計	
	人数	割合	人数	割合	人数	割合	人数	割合
全体	71,721人	36.8%	89,329人	45.8%	34,052人	17.5%	195,102人	100.0%
病院	66,893人	35.9%	85,908人	46.2%	33,272人	17.9%	186,073人	100.0%
診療所	4,768人	53.5%	3,394人	38.1%	756人	8.5%	8,918人	100.0%

3 医療区分（医療療養病床入院患者） ・ 都道府県別

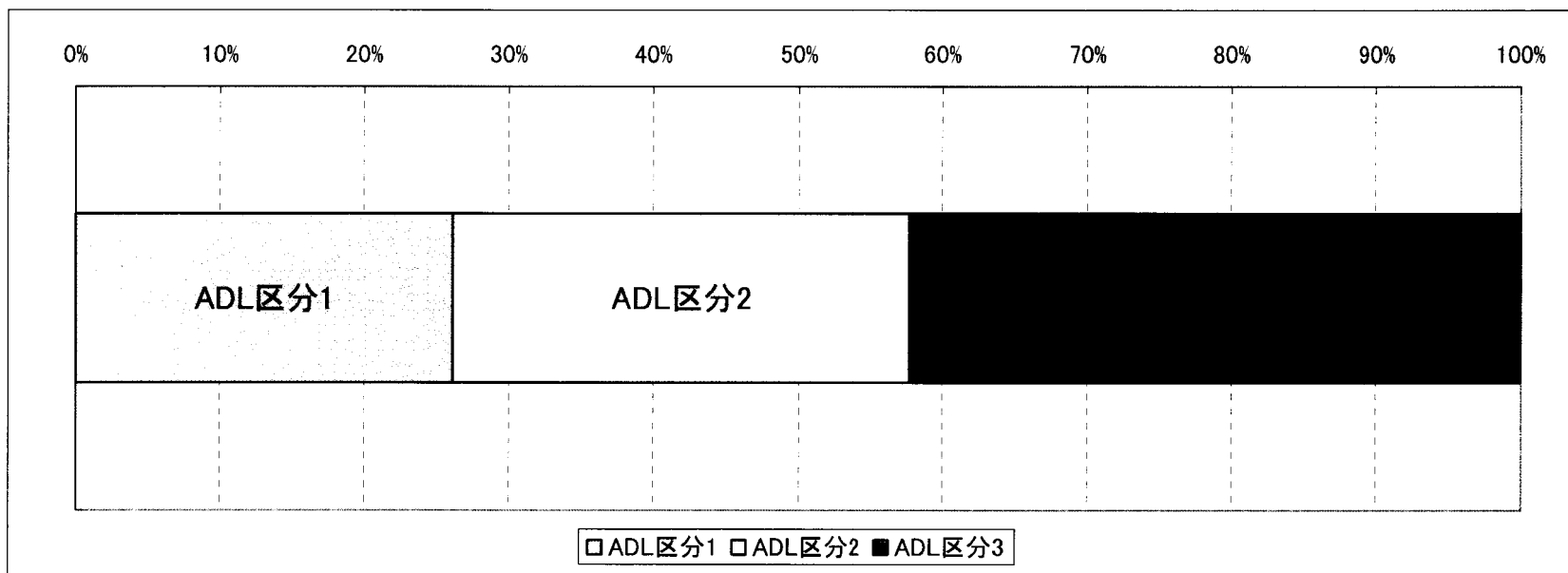


3 医療区分（医療療養病床入院患者） ・ 都道府県別

		医療区分1		医療区分2		医療区分3		合計	
全国		71,721人	36.8%	89,329人	45.8%	34,052人	17.5%	195,102人	100.0%
都道府県	北海道	5,533人	36.6%	6,609人	43.8%	2,957人	19.6%	15,099人	100.0%
	青森県	635人	40.2%	705人	44.6%	241人	15.2%	1,581人	100.0%
	岩手県	741人	39.3%	697人	37.0%	447人	23.7%	1,885人	100.0%
	宮城県	838人	39.8%	957人	45.5%	309人	14.7%	2,104人	100.0%
	秋田県	564人	32.0%	832人	47.2%	367人	20.8%	1,763人	100.0%
	山形県	335人	28.5%	646人	55.0%	194人	16.5%	1,175人	100.0%
	福島県	1,334人	44.6%	1,343人	44.9%	312人	10.4%	2,989人	100.0%
	茨城県	1,268人	36.4%	1,641人	47.1%	577人	16.6%	3,486人	100.0%
	栃木県	1,302人	40.2%	1,390人	43.0%	544人	16.8%	3,236人	100.0%
	群馬県	1,064人	36.3%	1,201人	40.9%	669人	22.8%	2,934人	100.0%
	埼玉県	3,011人	35.8%	3,814人	45.4%	1,580人	18.8%	8,405人	100.0%
	千葉県	1,808人	30.1%	3,029人	50.4%	1,167人	19.4%	6,004人	100.0%
	東京都	4,072人	40.7%	4,405人	44.0%	1,529人	15.3%	10,006人	100.0%
	神奈川県	1,977人	28.7%	3,328人	48.4%	1,573人	22.9%	6,878人	100.0%
	新潟県	985人	40.1%	1,166人	47.5%	304人	12.4%	2,455人	100.0%
	富山県	1,378人	49.5%	1,057人	37.9%	351人	12.6%	2,786人	100.0%
	石川県	1,194人	39.7%	1,383人	46.0%	429人	14.3%	3,006人	100.0%
	福井県	604人	37.6%	693人	43.1%	310人	19.3%	1,607人	100.0%
	山梨県	551人	36.9%	687人	46.0%	254人	17.0%	1,492人	100.0%
	長野県	569人	36.6%	698人	44.9%	288人	18.5%	1,555人	100.0%
	岐阜県	865人	40.2%	1,007人	46.8%	280人	13.0%	2,152人	100.0%
	静岡県	2,570人	41.9%	2,967人	48.3%	600人	9.8%	6,137人	100.0%
	愛知県	2,357人	34.9%	3,105人	45.9%	1,296人	19.2%	6,758人	100.0%
	三重県	954人	35.4%	1,350人	50.1%	393人	14.6%	2,697人	100.0%
	滋賀県	684人	39.5%	784人	45.3%	263人	15.2%	1,731人	100.0%
	京都府	1,188人	48.1%	936人	37.9%	345人	14.0%	2,469人	100.0%
	大阪府	4,215人	32.7%	6,331人	49.1%	2,347人	18.2%	12,893人	100.0%
	兵庫県	2,418人	29.3%	3,988人	48.3%	1,859人	22.5%	8,265人	100.0%
	奈良県	443人	26.9%	961人	58.5%	240人	14.6%	1,644人	100.0%
	和歌山県	528人	32.2%	871人	53.2%	239人	14.6%	1,638人	100.0%
	鳥取県	354人	34.3%	471人	45.6%	208人	20.1%	1,033人	100.0%
	島根県	526人	35.3%	735人	49.3%	230人	15.4%	1,491人	100.0%
	岡山県	1,317人	38.2%	1,539人	44.7%	588人	17.1%	3,444人	100.0%
	広島県	2,107人	33.8%	2,687人	43.1%	1,442人	23.1%	6,236人	100.0%
	山口県	2,109人	38.5%	2,487人	45.4%	876人	16.0%	5,472人	100.0%
	徳島県	823人	34.2%	1,003人	41.7%	577人	24.0%	2,403人	100.0%
	香川県	816人	43.8%	797人	42.8%	251人	13.5%	1,864人	100.0%
	愛媛県	1,411人	47.9%	1,104人	37.5%	430人	14.6%	2,945人	100.0%
	高知県	1,427人	36.3%	1,975人	50.3%	527人	13.4%	3,929人	100.0%
	福岡県	4,180人	34.9%	5,556人	46.3%	2,254人	18.8%	11,990人	100.0%
	佐賀県	1,162人	39.3%	1,211人	40.9%	586人	19.8%	2,959人	100.0%
	長崎県	1,721人	37.5%	2,003人	43.6%	865人	18.8%	4,589人	100.0%
	熊本県	2,657人	43.1%	2,573人	41.7%	940人	15.2%	6,170人	100.0%
	大分県	665人	40.3%	786人	47.7%	198人	12.0%	1,649人	100.0%
	宮崎県	932人	43.4%	977人	45.5%	240人	11.2%	2,149人	100.0%
	鹿児島県	2,799人	39.9%	3,369人	48.0%	850人	12.1%	7,018人	100.0%
	沖縄県	730人	24.9%	1,475人	50.3%	726人	24.8%	2,931人	100.0%

4 ADL区分（医療療養病床入院患者）

全体ではADL区分3が42.2%で最も多く、次いでADL区分2が31.6%、ADL区分1が26.1%であった。

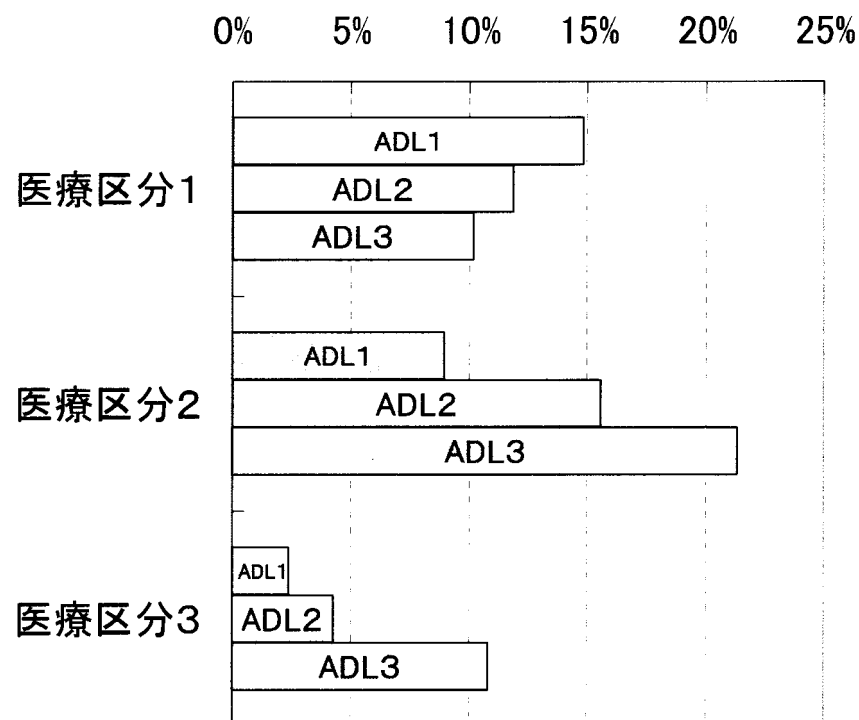


ADL区分1		ADL区分2		ADL区分3		合計	
50,972人	26.1%	61,738人	31.6%	82,392人	42.2%	195,102人	100.0%

5 医療区分・ADL区分組み合わせ（医療療養病床入院患者）

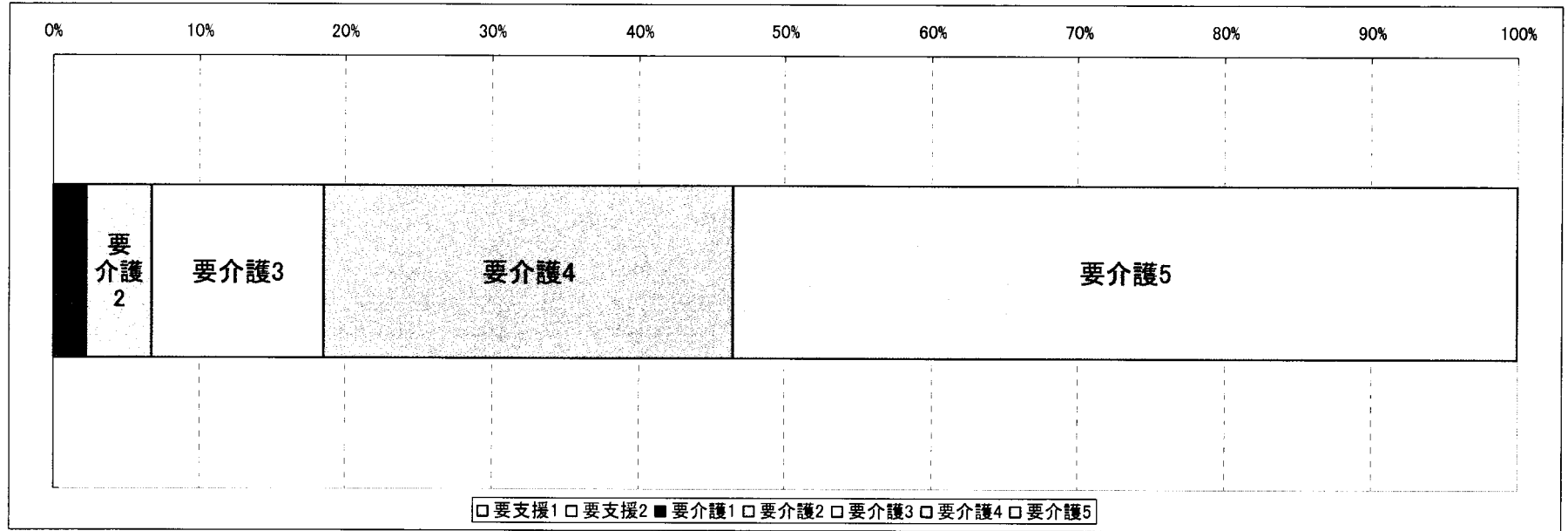
医療区分とADL区分の分布をみると、医療区分2・ADL区分3の者が21.3%で最も多く、次いで医療区分2・ADL区分2の者が15.5%、医療区分1・ADL区分1の者が14.8%であった。

	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	合計
医療区分1	28,886人	23,042人	19,793人	71,721人
	14.8%	11.8%	10.1%	36.8%
医療区分2	17,415人	30,328人	41,586人	89,329人
	8.9%	15.5%	21.3%	45.8%
医療区分3	4,671人	8,368人	21,013人	34,052人
	2.4%	4.3%	10.8%	17.5%
合計	50,972人	61,738人	82,392人	195,102人
	26.1%	31.6%	42.2%	100.0%



6 要介護状態等区分（介護療養病床入院患者）

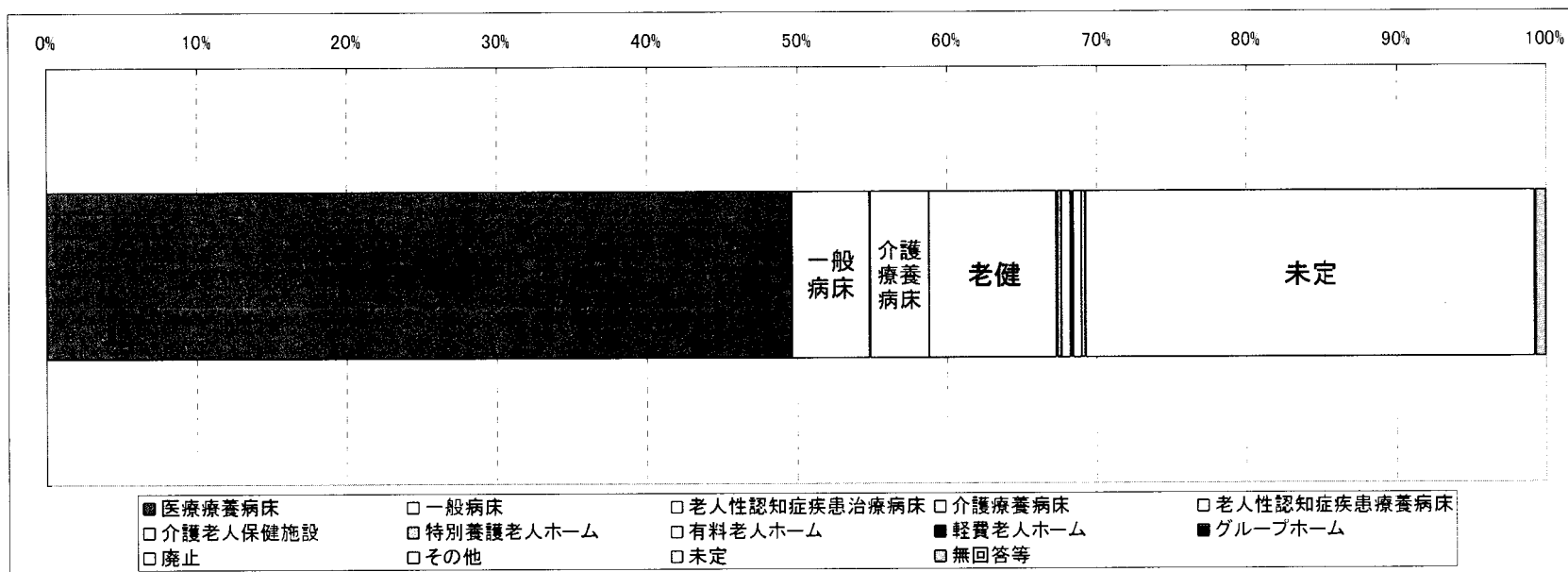
要介護5が53.6%と最も多く、要介護4と要介護5で全体の81.5%を占めた。



要支援1		要支援2		要介護1		要介護2		要介護3		要介護4		要介護5		合計	
33人	0.0%	84人	0.1%	2,327人	2.2%	4,782人	4.4%	12,683人	11.8%	30,007人	27.9%	57,604人	53.6%	107,520人	100.0%

7 医療療養病床、介護療養病床全体の転換意向

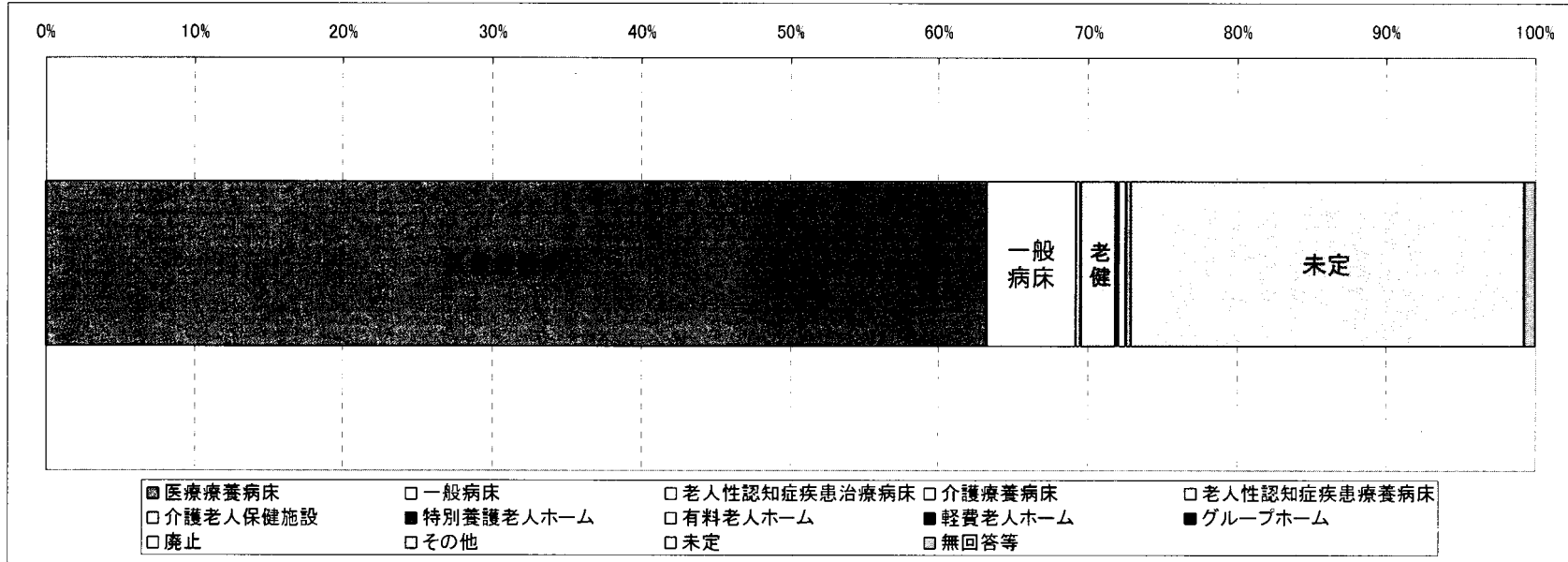
療養病床全体の転換意向は、医療療養病床へ167,831床(49.6%)、介護老人保健施設へ28,862床(8.5%)、一般病床へ17,641床(5.2%)であり、未定は101,544床(30.0%)であった。



現在の療養病床数	医療療養病床	(再掲)介護保険移行準備病床	一般病床	老人性認知症患者治療病床	介護療養病床	(再掲)経過型介護療養病床	老人性認知症患者療養病床	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム	グループホーム	廃止	その他	未定	無回答等
338,429床	167,831床	3,042床	17,641床	252床	13,244床	2,245床	59床	28,862床	1,026床	2,251床	250床	135床	1,846床	985床	101,544床	2,503床
100.0%	49.6%	0.9%	5.2%	0.1%	3.9%	0.7%	0.0%	8.5%	0.3%	0.7%	0.1%	0.0%	0.5%	0.3%	30.0%	0.7%

8 医療療養病床の転換意向

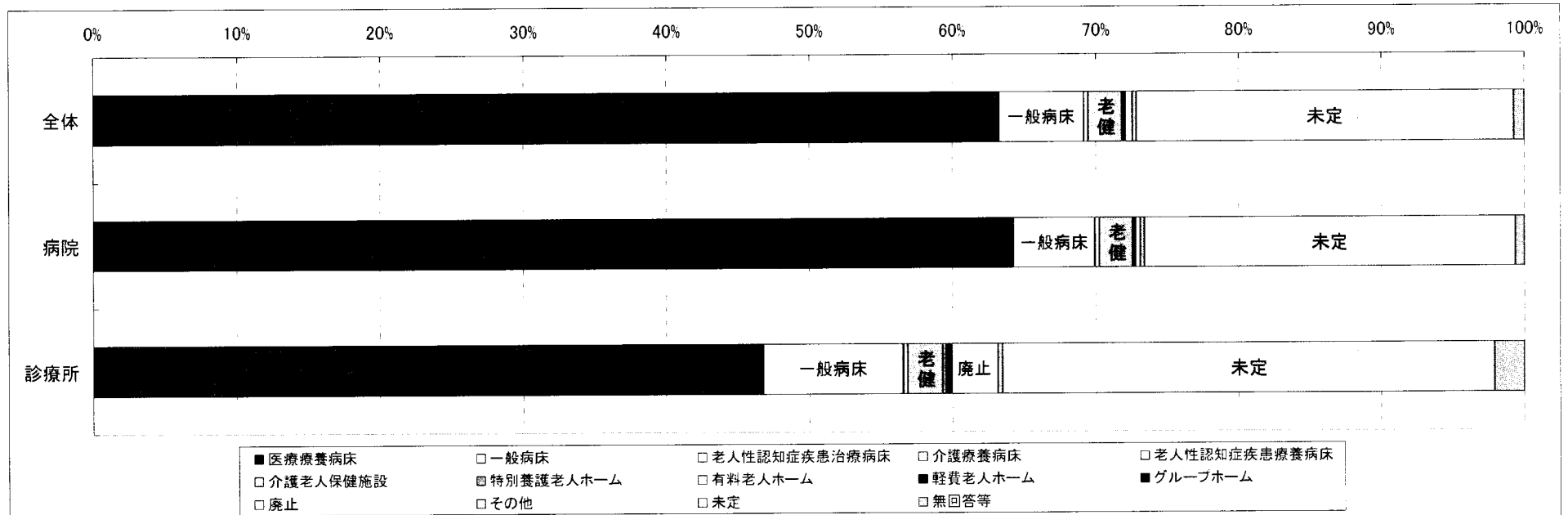
医療療養病床の転換意向は、医療療養病床にとどまるが140,623床(63.2%)、一般病床へ13,149床(5.9%)、介護老人保健施設へ5,181床(2.3%)であり、未定は58,788床(26.4%)であった。



現在の医療療養病床数	医療療養病床	(再掲)介護保険移行準備病床	一般病床	老人性認知症患者治療病床	介護療養病床	(再掲)経過型介護療養病床	老人性認知症患者療養病床	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム	グループホーム	廃止	その他	未定	無回答等
222,398床	140,623床	2,939床	13,149床	66床	637床	95床	0床	5,181床	159床	278床	88床	29床	1,059床	677床	58,788床	1,664床
100.0%	63.2%	1.3%	5.9%	0.0%	0.3%	0.0%	0.0%	2.3%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.5%	0.3%	26.4%	0.7%

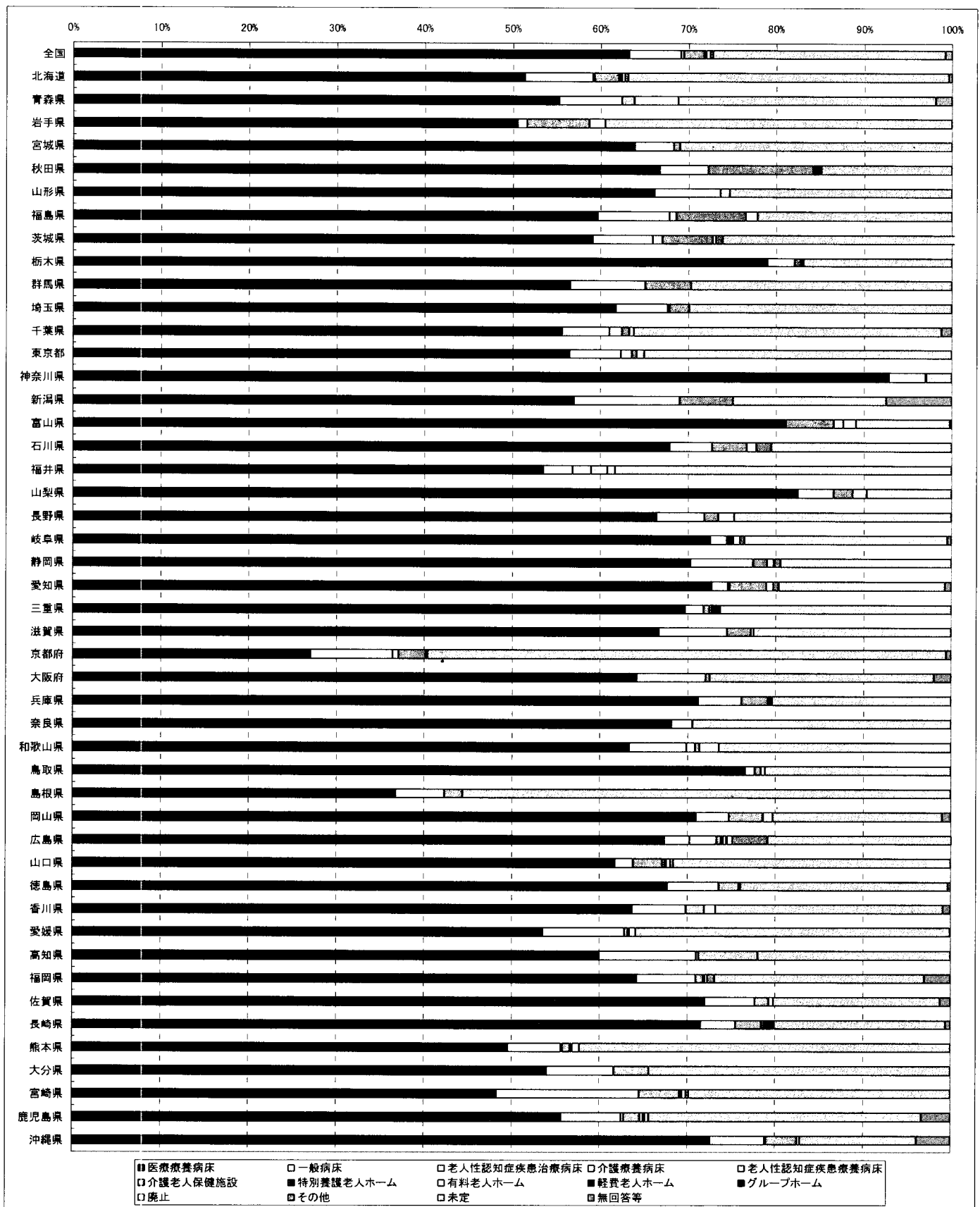
8 医療療養病床の転換意向・病院診療所別

病院診療所別に見ると、病院では、医療療養病床にとどまるが134,795床(64.2%)、一般病床へ11,875床(5.7%)、介護老人保健施設へ4,883床(2.3%)であり、未定は54,522床(26.0%)であった。診療所では医療療養病床にとどまるが5,742床(46.7%)、一般病床へ1,204床(9.8%)、廃止が394床(3.2%)であり、未定は4,232床(34.4%)であった。



	現在の医療療養病床数	医療療養病床	一般病床	老人性認知症疾患治療病床	介護療養病床	老人性認知症疾患療養病床	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム	グループホーム	廃止	その他	未定	無回答等
全体	222,398床	140,623床	13,149床	66床	637床	0床	5,181床	159床	278床	88床	29床	1,059床	677床	58,788床	1,664床
	100.0%	63.2%	5.9%	0.0%	0.3%	0.0%	2.3%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.5%	0.3%	26.4%	0.7%
病院	209,874床	134,795床	11,875床	60床	606床	0床	4,883床	125床	264床	64床	18床	662床	635床	54,522床	1,365床
	100.0%	64.2%	5.7%	0.0%	0.3%	0.0%	2.3%	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.3%	0.3%	26.0%	0.7%
診療所	12,289床	5,742床	1,204床	6床	31床	0床	298床	34床	14床	24床	11床	394床	42床	4,232床	257床
	100.0%	46.7%	9.8%	0.0%	0.3%	0.0%	2.4%	0.3%	0.1%	0.2%	0.1%	3.2%	0.3%	34.4%	2.1%

8 医療療養病床の転換意向・都道府県別

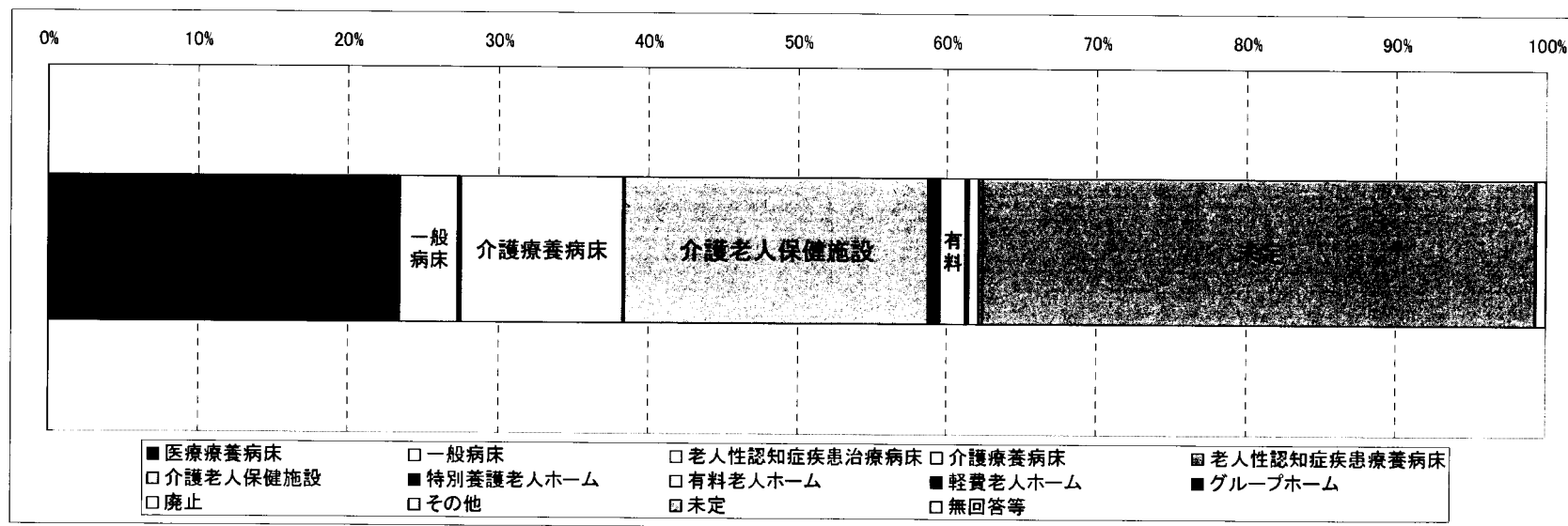


8 医療療養病床の転換意向・都道府県別

	現在の医療療養病床数	医療療養病床	(再掲)介護療養病床	一般病床	老人性認知症疾患治療病床	介護療養病床	(再掲)介護療養病床	老人性認知症疾患治療病床	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	無料老人ホーム	グループホーム	廃止	その他	未定	無回答等
全体	222,398床	140,623床	2,939床	13,149床	66床	637床	95床	0床	5,181床	159床	278床	88床	29床	1,059床	677床	58,788床	1,664床
北海道	17,380床	8,924床	54床	1,353床	0床	23床	0床	0床	486床	29床	34床	0床	0床	63床	62床	6,342床	64床
青森県	1,993床	1,102床	3床	142床	0床	0床	0床	0床	29床	0床	0床	0床	0床	99床	0床	584床	37床
岩手県	2,279床	1,152床	24床	113床	0床	0床	0床	0床	162床	0床	0床	0床	0床	41床	0床	900床	0床
宮城県	2,567床	1,641床	34床	113床	0床	0床	0床	0床	19床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	794床	0床
秋田県	1,911床	1,275床	36床	106床	0床	0床	0床	0床	228床	18床	0床	0床	0床	0床	0床	284床	0床
山形県	1,327床	878床	0床	100床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	336床	0床
福島県	3,584床	2,140床	109床	292床	0床	28床	0床	0床	284床	0床	0床	0床	0床	47床	0床	793床	0床
茨城県	4,151床	2,455床	84床	283床	0床	44床	44床	0床	241床	0床	0床	0床	0床	15床	30床	1,113床	0床
栃木県	3,659床	2,891床	110床	114床	0床	0床	0床	0床	25床	0床	0床	0床	0床	10床	0床	619床	0床
群馬県	3,308床	1,870床	60床	284床	0床	0床	0床	0床	173床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	981床	0床
埼玉県	9,324床	5,758床	156床	553床	0床	18床	0床	0床	212床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	2,783床	0床
千葉県	6,654床	3,702床	69床	359床	0床	96床	0床	0床	55床	0床	0床	0床	0床	32床	0床	2,331床	79床
東京都	11,385床	6,434床	53床	667床	0床	137床	35床	0床	69床	0床	0床	0床	0床	92床	0床	3,986床	0床
神奈川県	7,527床	6,990床	0床	312床	0床	0床	0床	0床	10床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	2,155床	0床
新潟県	2,963床	1,693床	130床	356床	0床	0床	0床	0床	181床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	517床	221床
富山県	2,993床	2,423床	130床	6床	0床	0床	0床	0床	163床	0床	0床	0床	0床	43床	0床	320床	6床
石川県	3,500床	2,377床	44床	170床	0床	0床	0床	0床	137床	0床	0床	0床	0床	39床	59床	718床	0床
福井県	1,897床	1,015床	96床	64床	40床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	16床	0床	727床	0床
山梨県	1,775床	1,465床	0床	72床	0床	0床	0床	0床	38床	0床	0床	0床	0床	28床	0床	172床	0床
長野県	1,903床	1,264床	20床	104床	0床	0床	0床	0床	30床	0床	0床	0床	0床	34床	0床	471床	0床
岐阜県	2,499床	1,626床	47床	48床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	20床	13床	576床	12床
静岡県	7,310床	5,142床	75床	517床	0床	6床	6床	0床	111床	0床	0床	0床	0床	7床	51床	1,420床	0床
愛知県	7,615床	5,541床	0床	141床	0床	9床	0床	0床	324床	0床	0床	0床	0床	56床	48床	1,442床	54床
三重県	3,113床	2,171床	46床	65床	0床	0床	0床	0床	20床	36床	0床	0床	0床	3床	0床	818床	0床
滋賀県	1,913床	1,277床	0床	148床	0床	0床	0床	0床	52床	0床	0床	0床	0床	6床	0床	430床	0床
京都府	2,784床	1,755床	0床	260床	0床	19床	0床	0床	86床	0床	0床	0床	0床	0床	5床	1,643床	16床
大阪府	14,650床	9,411床	42床	1,148床	0床	0床	0床	0床	69床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	3,735床	287床
兵庫県	9,527床	6,786床	0床	499床	0床	0床	0床	0床	286床	0床	0床	0床	0床	14床	0床	1,942床	0床
奈良県	1,875床	1,278床	0床	46床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	551床	0床
和歌山県	1,998床	1,267床	49床	130床	20床	0床	0床	0床	10床	0床	0床	0床	0床	44床	0床	527床	0床
鳥取県	1,260床	965床	0床	14床	0床	0床	0床	0床	9床	0床	0床	0床	0床	6床	0床	256床	0床
島根県	1,621床	597床	0床	90床	0床	0床	0床	0床	33床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	901床	0床
岡山県	3,964床	2,814床	0床	150床	0床	0床	0床	0床	153床	0床	0床	0床	2床	42床	0床	764床	39床
広島県	7,942床	4,747床	125床	203床	0床	217床	0床	0床	37床	14床	30床	2床	44床	282床	1,472床	0床	0床
山口県	5,863床	3,623床	200床	122床	0床	0床	0床	0床	196床	23床	31床	0床	0床	17床	0床	1,851床	0床
徳島県	3,005床	2,036床	0床	176床	0床	0床	0床	0床	68床	4床	0床	0床	3床	0床	0床	709床	9床
香川県	2,009床	1,281床	84床	123床	0床	0床	0床	0床	42床	0床	0床	0床	0床	26床	0床	519床	18床
愛媛県	3,344床	1,792床	5床	310床	0床	0床	0床	0床	14床	0床	0床	0床	0床	24床	0床	1,197床	1床
高知県	4,249床	2,549床	57床	471床	0床	10床	0床	0床	289床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	930床	0床
福岡県	13,693床	8,800床	179床	925床	0床	0床	0床	0床	115床	9床	25床	9床	0床	42床	109床	3,269床	408床
佐賀県	3,350床	2,413床	6床	192床	0床	0床	0床	0床	52床	0床	0床	0床	0床	17床	0床	637床	39床
長崎県	5,348床	3,828床	116床	212床	0床	0床	0床	0床	160床	24床	0床	34床	0床	12床	0床	1,043床	29床
熊本県	6,899床	3,378床	74床	415床	6床	4床	0床	0床	60床	11床	0床	6床	0床	54床	0床	2,875床	0床
大分県	1,811床	979床	0床	138床	0床	0床	0床	0床	79床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	422床	0床
宮崎県	2,596床	1,255床	0床	421床	0床	0床	0床	0床	120床	0床	3床	0床	4床	12床	8床	773床	0床
鹿児島県	8,020床	4,464床	107床	552床	0床	22床	0床	0床	151床	0床	26床	0床	18床	32床	4床	2,488床	263床
沖縄県	3,045床	2,212床	0床	190床	0床	4床	0床	0床	109床	0床	0床	0床	0床	9床	0床	403床	118床

9 介護療養病床の転換意向

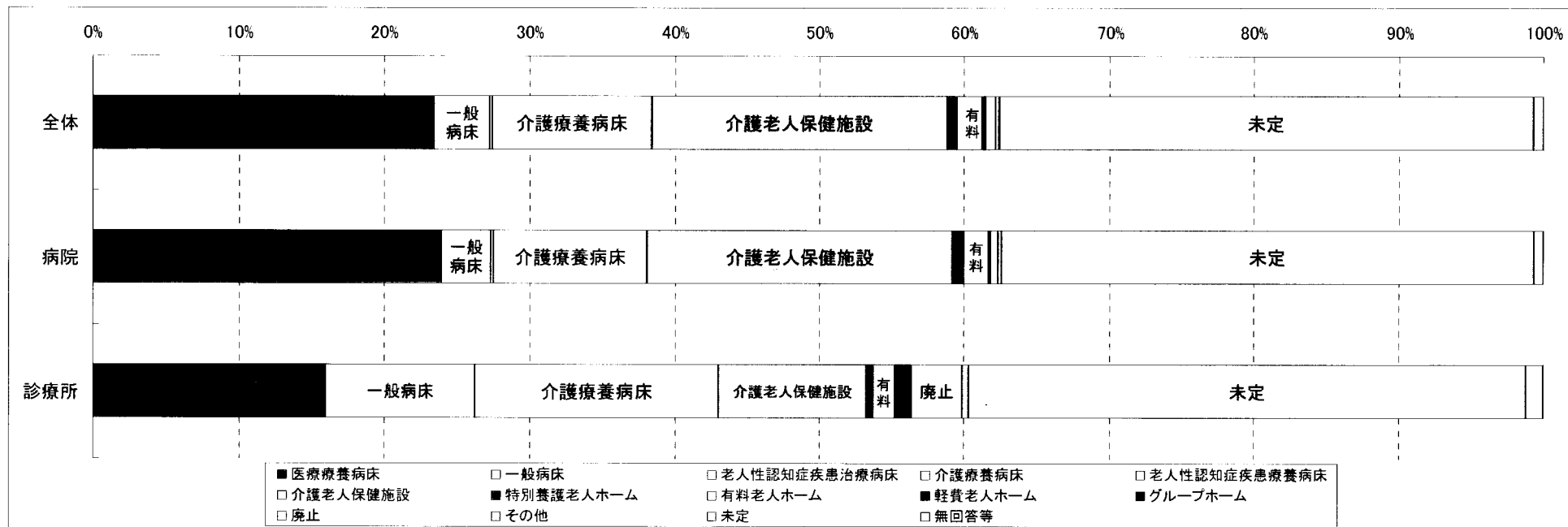
介護療養病床の転換意向は、医療療養病床へ27,208床(23.4%)、介護老人保健施設へ23,681床(20.4%)、平成23年度まで介護療養病床にとどまるが12,607床(10.9%)であり、未定は42,756床(36.8%)であった。



現在の介護療養病床数	医療療養病床	(再掲)介護保険移行準備病床	一般病床	老人性認知症患者治療病床	介護療養病床	(再掲)経過型介護療養病床	老人性認知症患者療養病床	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム	グループホーム	廃止	その他	未定	無回答等
116,031床	27,208床	103床	4,492床	186床	12,607床	2,150床	59床	23,681床	867床	1,973床	162床	106床	787床	308床	42,756床	839床
100.0%	23.4%	0.1%	3.9%	0.2%	10.9%	1.9%	0.1%	20.4%	0.7%	1.7%	0.1%	0.1%	0.7%	0.3%	36.8%	0.7%

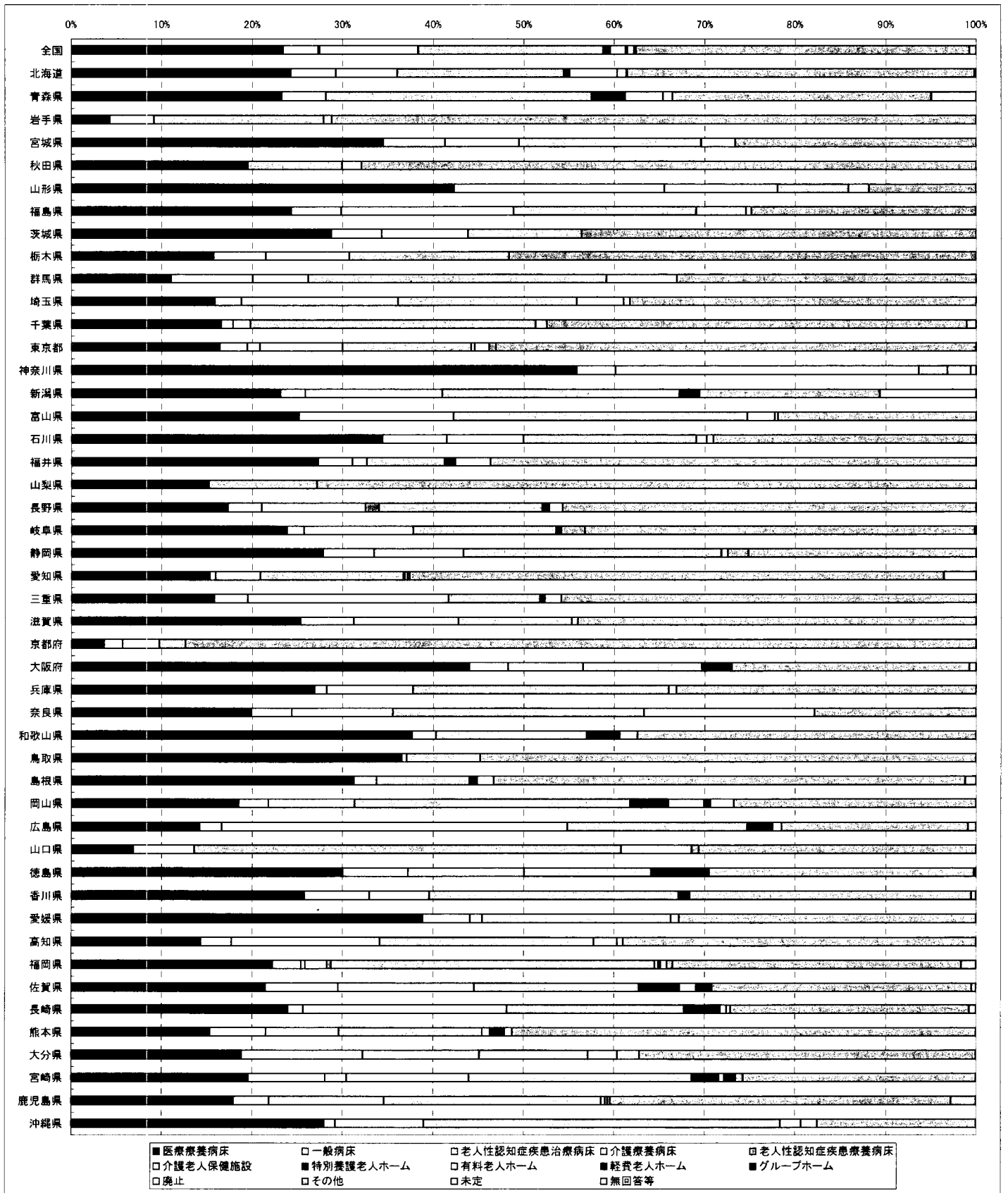
9 介護療養病床の転換意向・病院診療所別

病院診療所別に見ると、病院では、医療療養病床へ26,019床(24.0%)、介護老人保健施設へ22,914床(21.1%)、平成23年度まで介護療養病床にとどまるが11,361床(10.5%)であり、未定は39,887床(36.7%)であった。診療所では、平成23年度まで介護療養病床にとどまるが1,246床(16.7%)、医療療養病床へ1,189床(15.9%)、一般病床へ776床(10.4%)であり、未定は2,869床(38.4%)であった。



	現在の介護療養病床数	医療療養病床	一般病床	老人性認知症疾患治療病床	介護療養病床	老人性認知症疾患療養病床	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム	グループホーム	廃止	その他	未定	無回答等
全体	116,031床	27,208床	4,492床	186床	12,607床	59床	23,681床	867床	1,973床	162床	106床	787床	308床	42,756床	839床
	100.0%	23.4%	3.9%	0.2%	10.9%	0.1%	20.4%	0.7%	1.7%	0.1%	0.1%	0.7%	0.3%	36.8%	0.7%
病院	108,563床	26,019床	3,716床	186床	11,361床	59床	22,914床	832床	1,859床	137床	45床	530床	272床	39,887床	746床
	100.0%	24.0%	3.4%	0.2%	10.5%	0.1%	21.1%	0.8%	1.7%	0.1%	0.0%	0.5%	0.3%	36.7%	0.7%
診療所	7,468床	1,189床	776床	0床	1,246床	0床	767床	35床	114床	25床	61床	257床	36床	2,869床	93床
	100.0%	15.9%	10.4%	0.0%	16.7%	0.0%	10.3%	0.5%	1.5%	0.3%	0.8%	3.4%	0.5%	38.4%	1.2%

9 介護療養病床の転換意向・都道府県別



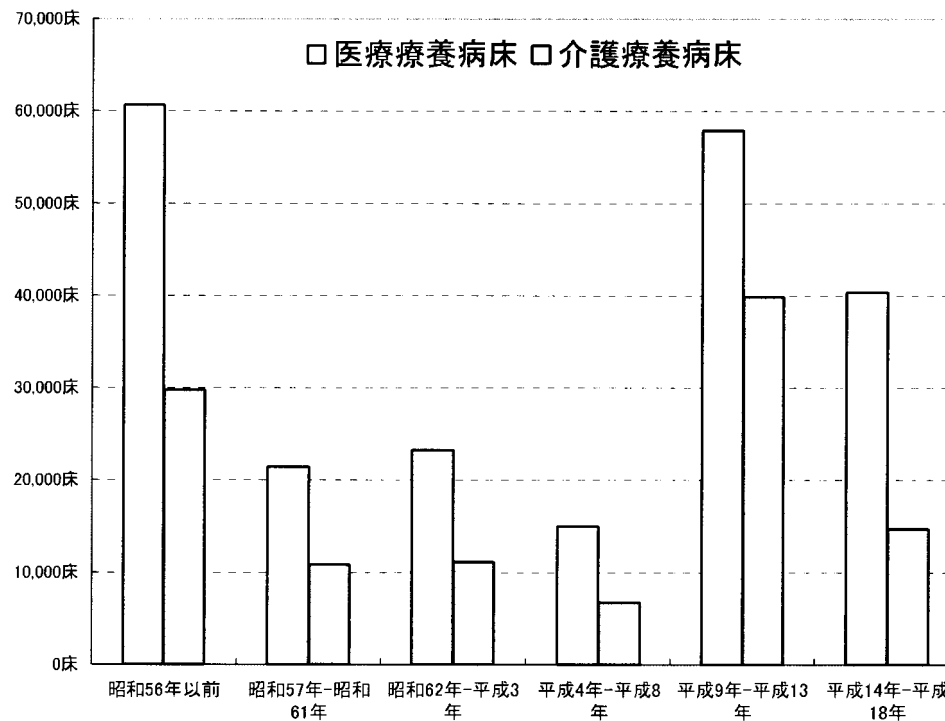
9 介護療養病床の転換意向・都道府県別

	現在の介護療養病床数	医療療養病床	(再補)介護保険移行準備病床	一般病床	老人性認知症疾患治療病床	介護療養病床	(再補)経過型介護療養病床	老人性認知症疾患療養病床	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム	グループホーム	廃止	その他	未定	無回答等
全体	116,031床	27,208床	103床	4,492床	186床	12,607床	2,150床	59床	23,681床	867床	1,973床	162床	106床	787床	308床	42,756床	839床
北海道	8,675床	2,106床	0床	432床	0床	589床	105床	0床	1,596床	54床	456床	0床	0床	88床	8床	3,327床	19床
青森県	1,052床	243床	6床	51床	0床	0床	0床	0床	309床	39床	44床	0床	0床	11床	0床	301床	52床
岩手県	864床	37床	0床	42床	0床	0床	0床	0床	162床	0床	0床	0床	0床	8床	0床	615床	0床
宮城県	530床	183床	0床	36床	0床	43床	0床	0床	188床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	712床	0床
秋田県	564床	110床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	59床	0床	0床	0床	0床	12床	0床	383床	0床
山形県	447床	189床	0床	104床	0床	56床	0床	0床	35床	0床	0床	0床	0床	10床	0床	53床	0床
福島県	1,019床	248床	0床	56床	0床	194床	0床	0床	206床	0床	56床	0床	0床	6床	0床	253床	0床
茨城県	1,752床	504床	0床	97床	0床	167床	27床	0床	220床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	764床	0床
栃木県	827床	130床	0床	48床	0床	76床	0床	0床	146床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	427床	0床
群馬県	1,280床	141床	0床	116床	0床	78床	0床	0床	422床	0床	100床	0床	0床	0床	0床	423床	0床
埼玉県	3,515床	558床	0床	104床	0床	606床	0床	0床	695床	0床	182床	0床	0床	25床	0床	1,345床	0床
千葉県	2,941床	488床	0床	38床	0床	56床	0床	0床	927床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	1,366床	30床
東京都	7,867床	1,291床	0床	242床	108床	720床	143床	0床	1,117床	0床	30床	0床	0床	125床	60床	4,174床	10床
神奈川県	4,666床	2,607床	0床	199床	0床	1,564床	76床	0床	1,174床	0床	121床	0床	0床	28床	0床	0床	0床
新潟県	2,459床	569床	0床	67床	0床	373床	72床	0床	644床	54床	0床	0床	0床	0床	0床	490床	262床
富山県	2,574床	646床	3床	2床	0床	440床	234床	0床	835床	0床	78床	0床	0床	9床	0床	564床	0床
石川県	1,791床	616床	0床	127床	0床	152床	80床	0床	342床	0床	20床	0床	0床	14床	0床	520床	0床
福井県	982床	268床	16床	37床	0床	16床	4床	0床	84床	0床	0床	0床	12床	38床	0床	527床	0床
山梨県	276床	42床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	33床	0床	0床	0床	12床	3床	0床	201床	0床
長野県	1,928床	334床	0床	72床	0床	221床	0床	29床	347床	16床	0床	0床	0床	27床	0床	882床	0床
岐阜県	1,321床	315床	0床	25床	0床	159床	0床	0床	209床	7床	0床	0床	0床	14床	0床	569床	2床
静岡県	3,895床	1,085床	0床	219床	0床	385床	130床	0床	1,109床	0床	28床	0床	0床	0床	88床	981床	0床
愛知県	4,702床	720床	0床	29床	0床	234床	107床	0床	743床	0床	8床	0床	0床	12床	12床	2,776床	168床
三重県	1,379床	218床	0床	51床	0床	306床	36床	0床	139床	0床	0床	8床	0床	24床	0床	633床	0床
滋賀県	1,040床	264床	0床	61床	0床	120床	0床	0床	130床	0床	0床	0床	0床	7床	0床	458床	0床
京都府	3,793床	137床	0床	78床	0床	154床	0床	0床	109床	0床	0床	0床	0床	0床	0床	3,315床	0床
大阪府	7,876床	3,465床	0床	336床	0床	652床	160床	0床	1,039床	240床	0床	0床	18床	0床	0床	2,068床	58床
兵庫県	4,764床	1,281床	10床	65床	0床	455床	0床	0床	1,345床	0床	0床	0床	0床	41床	0床	1,577床	0床
奈良県	1,074床	214床	0床	48床	0床	120床	0床	0床	298床	0床	202床	0床	0床	0床	0床	331床	0床
和歌山県	836床	315床	0床	22床	0床	0床	0床	0床	139床	31床	0床	0床	0床	16床	0床	313床	0床
鳥取県	383床	140床	0床	2床	0床	0床	0床	0床	31床	0床	0床	0床	0床	19床	0床	274床	0床
島根県	1,016床	318床	0床	25床	0床	0床	0床	0床	104床	0床	9床	0床	0床	18床	0床	530床	12床
岡山県	1,421床	263床	0床	47床	0床	135床	0床	0床	433床	60床	56床	0床	10床	37床	0床	380床	0床
広島県	3,878床	550床	3床	95床	0床	1,480床	461床	0床	773床	88床	6床	0床	13床	40床	0床	799床	34床
山口県	3,634床	243床	0床	6床	0床	246床	60床	0床	1,713床	0床	283床	0床	0床	0床	30床	1,113床	0床
徳島県	1,893床	569床	0床	136床	0床	242床	0床	0床	266床	117床	0床	0床	1床	4床	0床	553床	5床
香川県	1,125床	290床	0床	81床	0床	74床	0床	0床	310床	0床	14床	0床	0床	0床	0床	350床	6床
愛媛県	2,299床	894床	0床	120床	0床	31床	0床	0床	479床	0床	20床	0床	0床	0床	0床	755床	0床
高知県	2,892床	414床	0床	98床	0床	474床	216床	0床	684床	0床	75床	0床	0床	18床	0床	1,129床	0床
福岡県	6,686床	1,492床	0床	207床	30床	162床	48床	30床	2,393床	0床	25床	0床	18床	46床	43床	2,130床	110床
佐賀県	1,459床	314床	0床	117床	0床	219床	5床	0床	266床	65床	27床	25床	0床	0床	0床	419床	7床
長崎県	2,083床	500床	25床	35床	0床	468床	8床	0床	409床	36床	0床	47床	0床	14床	9床	550床	15床
熊本県	4,410床	676床	12床	274床	0床	357床	45床	0床	697床	0床	40床	59床	9床	38床	0床	2,260床	0床
大分県	1,358床	256床	0床	182床	0床	175床	0床	0床	163床	0床	44床	0床	0床	33床	0床	505床	0床
宮崎県	2,025床	397床	0床	172床	48床	274床	116床	0床	499床	60床	12床	0床	25床	0床	17床	521床	0床
鹿児島県	2,123床	382床	28床	83床	0床	270床	8床	0床	509床	0床	9床	0床	0床	6床	6床	799床	59床
沖縄県	657床	184床	13床	8床	0床	64床	0床	0床	259床	0床	15床	0床	0床	12床	0床	375床	28床

10 建設年度別病床数（医療療養病床・介護療養病床）

昭和56年以前に建設されたものを除くと、平成9年-平成13年に建設されたものが多かった。

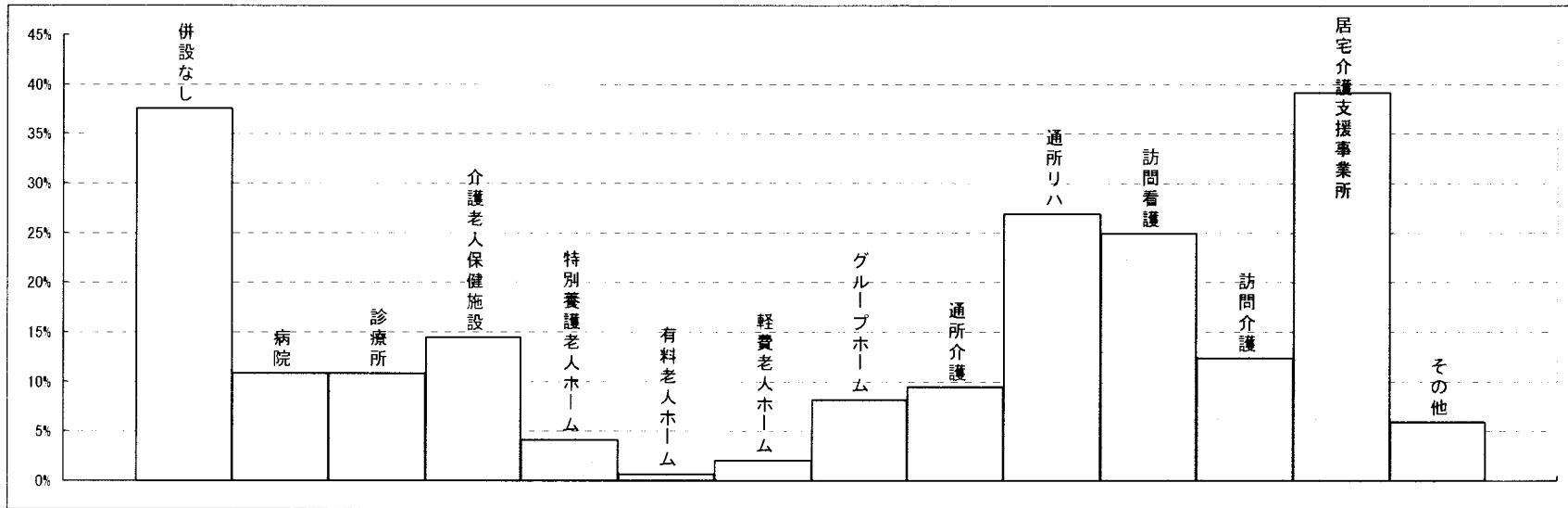
	医療療養病床	介護療養病床
昭和56年以前	60,653床	29,731床
昭和57年-昭和61年	21,425床	10,784床
昭和62年-平成3年	23,230床	11,080床
平成4年-平成8年	14,981床	6,741床
平成9年-平成13年	57,890床	39,862床
平成14年-平成18年	40,317床	14,694床



11 併設施設等の状況

全体で最も多かったのは居宅介護支援事業所であった。次いで多かったのは併設なしであった。

(複数回答)



合計	併設なし	病院	診療所	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム(ケアハウス)	グループホーム	通所介護事業所(認知症対応型通所介護事業所を含む)	通所リハビリテーション事業所	訪問看護事業所	訪問介護事業所	居宅介護支援事業所	その他	不明
5,930施設	2,227施設	642施設	642施設	858施設	244施設	40施設	120施設	481施設	560施設	1,593施設	1,478施設	735施設	2,321施設	351施設	103施設
100.0%	37.6%	10.8%	10.8%	14.5%	4.1%	0.7%	2.0%	8.1%	9.4%	26.9%	24.9%	12.4%	39.1%	5.9%	1.7%

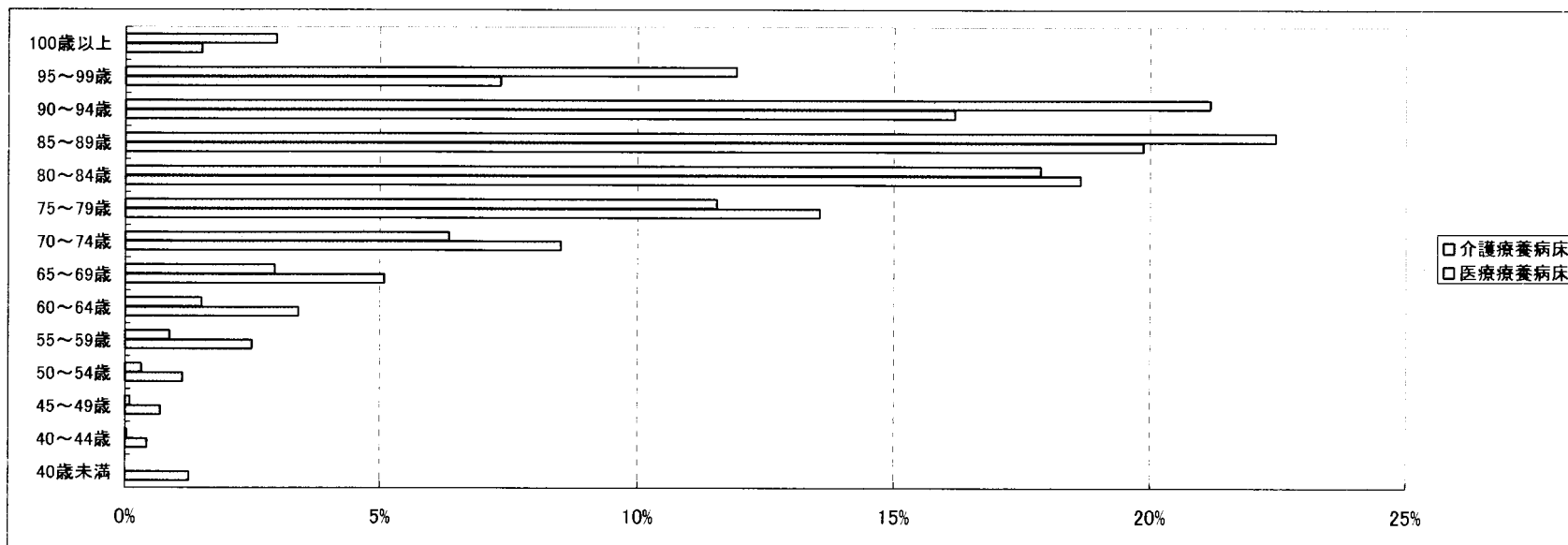


療養病床アンケート調査結果

患者票

1 年齢

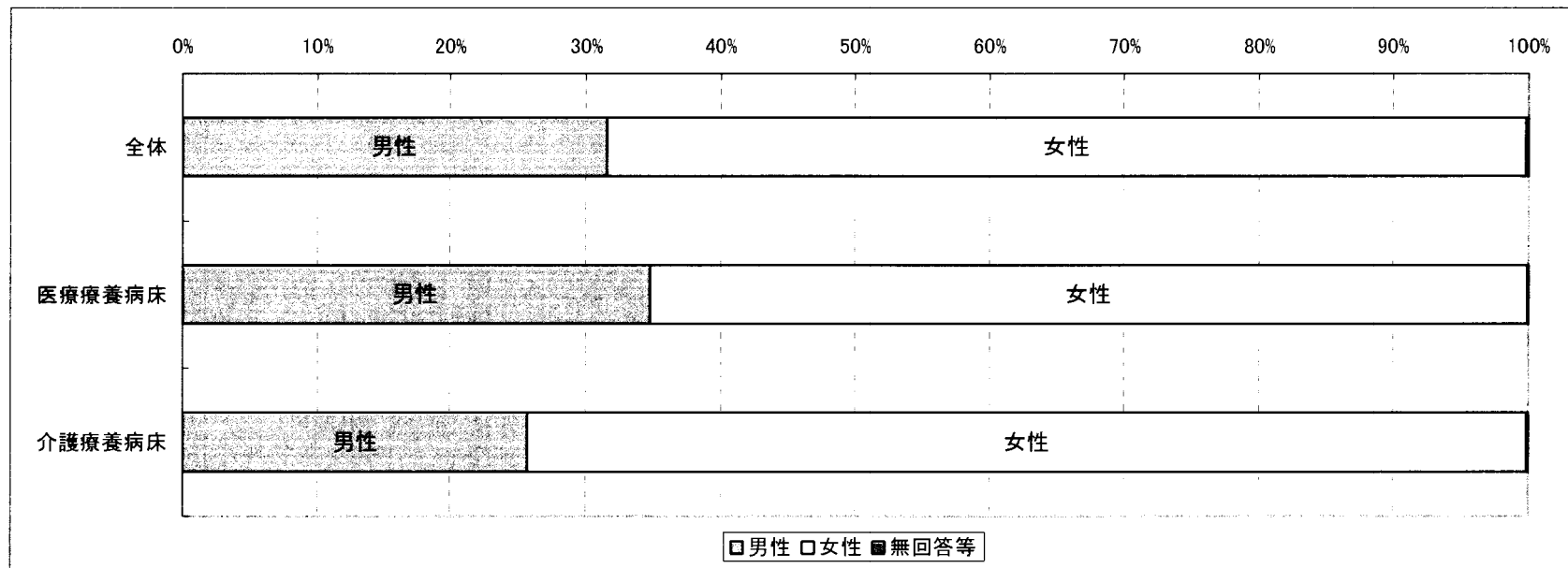
入院患者全体の平均年齢は82.6歳であった。医療療養病床の入院患者の平均年齢は81.0歳、介護療養病床の入院患者の平均年齢は85.3歳であった。



	合計	40歳未満	40~44歳	45~49歳	50~54歳	55~59歳	60~64歳	65~69歳	70~74歳	75~79歳	80~84歳	85~89歳	90~94歳	95~99歳	100歳以上	無回答等	平均年齢
全体	98,287人	782人	278人	457人	812人	1,856人	2,658人	4,233人	7,592人	12,614人	18,042人	20,409人	17,627人	8,791人	1,970人	166人	82.6歳
	100.0%	0.8%	0.3%	0.5%	0.8%	1.9%	2.7%	4.3%	7.7%	12.8%	18.4%	20.8%	17.9%	8.9%	2.0%	0.2%	
医療療養病床	63,108人	781人	264人	421人	702人	1,550人	2,133人	3,208人	5,363人	8,544人	11,764人	12,538人	10,207人	4,618人	940人	75人	81.0歳
	100.0%	1.2%	0.4%	0.7%	1.1%	2.5%	3.4%	5.1%	8.5%	13.5%	18.6%	19.9%	16.2%	7.3%	1.5%	0.1%	
介護療養病床	34,806人	0人	13人	34人	108人	298人	518人	1,012人	2,205人	4,016人	6,215人	7,808人	7,366人	4,150人	1,023人	40人	85.3歳
	100.0%	0.0%	0.0%	0.1%	0.3%	0.9%	1.5%	2.9%	6.3%	11.5%	17.9%	22.4%	21.2%	11.9%	2.9%	0.1%	

2 性別

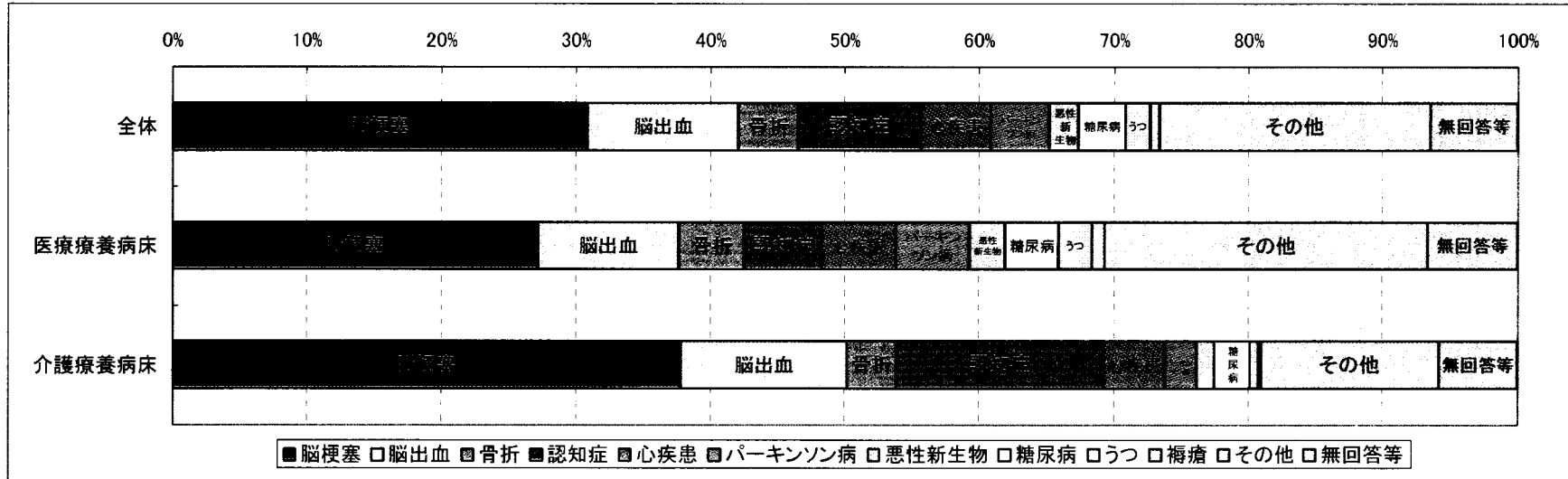
全体では女性が68.4%、男性が31.5%であった。医療療養病床では女性が65.2%、男性が34.7%であった。介護療養病床では女性が74.2%、男性が25.7%であった。



	合計	男性	女性	無回答等
全体	98,287人	30,943人	67,198人	146人
	100.0%	31.5%	68.4%	0.1%
医療療養病床	63,108人	21,898人	41,149人	61人
	100.0%	34.7%	65.2%	0.1%
介護療養病床	34,806人	8,932人	25,839人	35人
	100.0%	25.7%	74.2%	0.1%

3 主傷病名

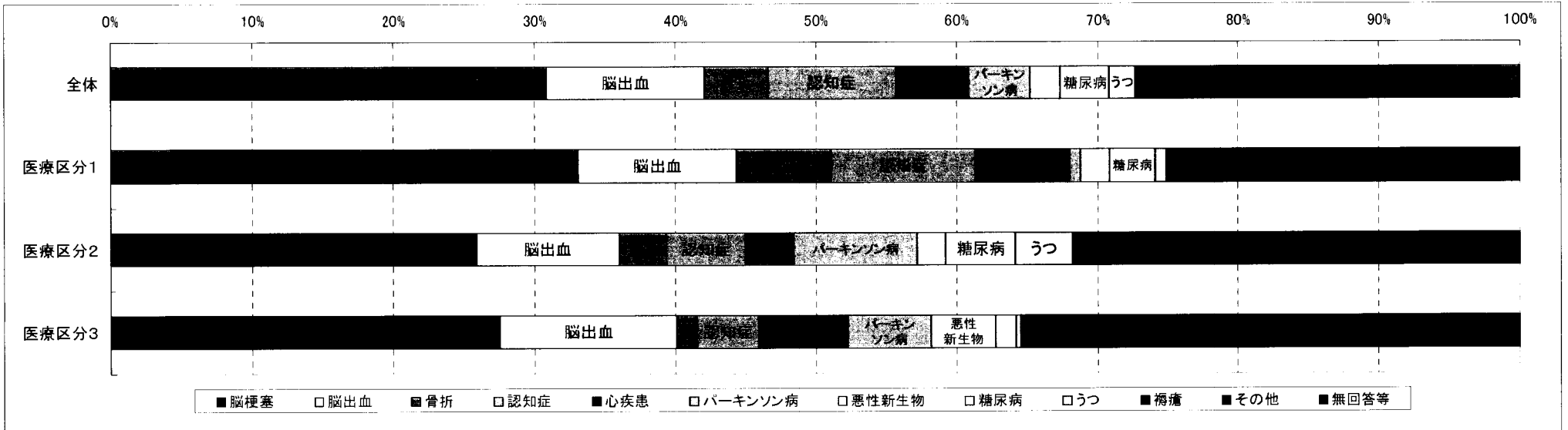
全体では脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が42.1%、認知症が9.2%、心疾患が5.2%であった。医療療養病床では脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が37.6%、認知症が5.8%、心疾患が5.5%、パーキンソン病が5.5%であった。介護療養病床では脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が50.2%、認知症が15.4%、心疾患が4.5%であった。（その他を除く）



	合計	脳梗塞	脳出血	骨折	認知症	心疾患	パーキンソン病	悪性新生物	糖尿病	うつ	褥瘡	その他	無回答等
全体	98,287人	30,327人	10,990人	4,383人	9,043人	5,070人	4,277人	2,107人	3,441人	1,792人	662人	19,851人	6,344人
	100.0%	30.9%	11.2%	4.5%	9.2%	5.2%	4.4%	2.1%	3.5%	1.8%	0.7%	20.2%	6.5%
医療療養病床	63,108人	17,112人	6,623人	3,094人	3,663人	3,482人	3,454人	1,640人	2,511人	1,558人	594人	15,176人	4,201人
	100.0%	27.1%	10.5%	4.9%	5.8%	5.5%	5.5%	2.6%	4.0%	2.5%	0.9%	24.0%	6.7%
介護療養病床	34,806人	13,140人	4,329人	1,277人	5,361人	1,575人	812人	460人	922人	229人	66人	4,613人	2,022人
	100.0%	37.8%	12.4%	3.7%	15.4%	4.5%	2.3%	1.3%	2.6%	0.7%	0.2%	13.3%	5.8%

3. 主傷病名 医療区分別・全体

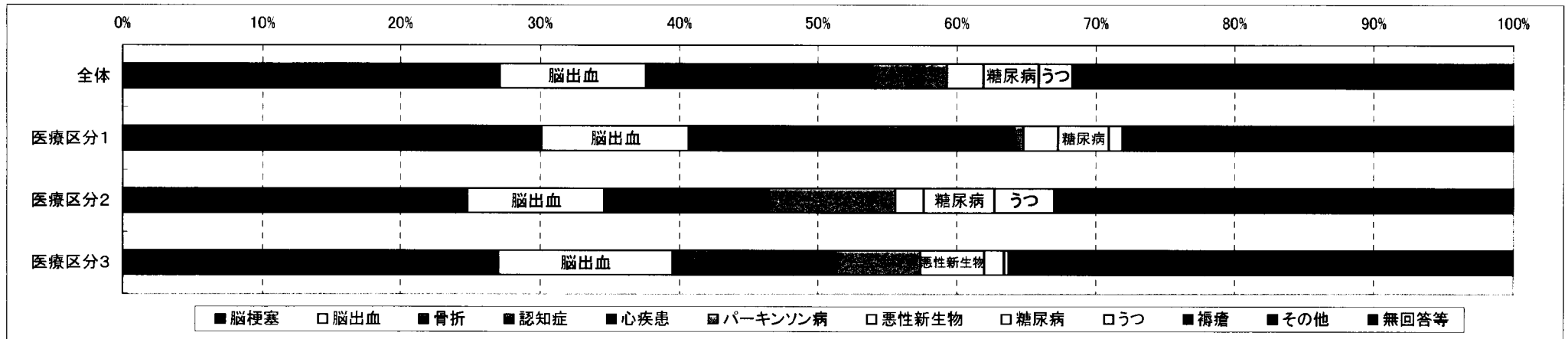
医療区分別に見ると、医療区分1では脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が44.3%、認知症が10.2%、骨折が6.8%であった。医療区分2では脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が36.0%、パーキンソン病が8.9%、認知症が5.6%であった。医療区分3では脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が40.1%、心疾患が6.4%、パーキンソン病が5.9%であった。(その他を除く)



	合計	主傷病名												
		脳梗塞	脳出血	骨折	認知症	心疾患	パーキンソン病	悪性新生物	糖尿病	うつ	褥瘡	その他	無回答等	
全体	98,287人 100.0%	30,327人 30.9%	10,990人 11.2%	4,383人 4.5%	9,043人 9.2%	5,070人 5.2%	4,277人 4.4%	2,107人 2.1%	3,441人 3.5%	1,792人 1.8%	662人 0.7%	19,851人 20.2%	6,344人 6.5%	
医療区分	医療区分1	35,739人 100.0%	11,832人 33.1%	4,000人 11.2%	2,427人 6.8%	3,654人 10.2%	2,383人 6.7%	276人 0.8%	750人 2.1%	1,161人 3.2%	297人 0.8%	44人 0.1%	6,858人 19.2%	2,057人 5.8%
	医療区分2	33,230人 100.0%	8,607人 25.9%	3,358人 10.1%	1,105人 3.3%	1,856人 5.6%	1,137人 3.4%	2,961人 8.9%	663人 2.0%	1,637人 4.9%	1,342人 4.0%	546人 1.6%	7,610人 22.9%	2,408人 7.2%
	医療区分3	9,926人 100.0%	2,736人 27.6%	1,244人 12.5%	136人 1.4%	435人 4.4%	638人 6.4%	590人 5.9%	449人 4.5%	147人 1.5%	35人 0.4%	36人 0.4%	2,804人 28.2%	676人 6.8%
	未実施	17,836人 100.0%	6,625人 37.1%	2,239人 12.6%	665人 3.7%	2,943人 16.5%	841人 4.7%	418人 2.3%	228人 1.3%	462人 2.6%	107人 0.6%	34人 0.2%	2,371人 13.3%	903人 5.1%
	無回答等	1,556人 100.0%	527人 33.9%	149人 9.6%	50人 3.2%	155人 10.0%	71人 4.6%	32人 2.1%	17人 1.1%	34人 2.2%	11人 0.7%	2人 0.1%	208人 13.4%	300人 19.3%

3. 主傷病名 医療区分別・医療療養病床

医療療養病床入院者の主傷病名を医療区分別に見ると、医療区分1では脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が40.7%、骨折が8.1%、心疾患が7.7%であった。医療区分2では脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が34.6%、パーキンソン病が9.1%、糖尿病が5.1%であった。医療区分3では脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が39.5%、心疾患が6.6%、パーキンソン病が6.1%であった。(その他を除く)

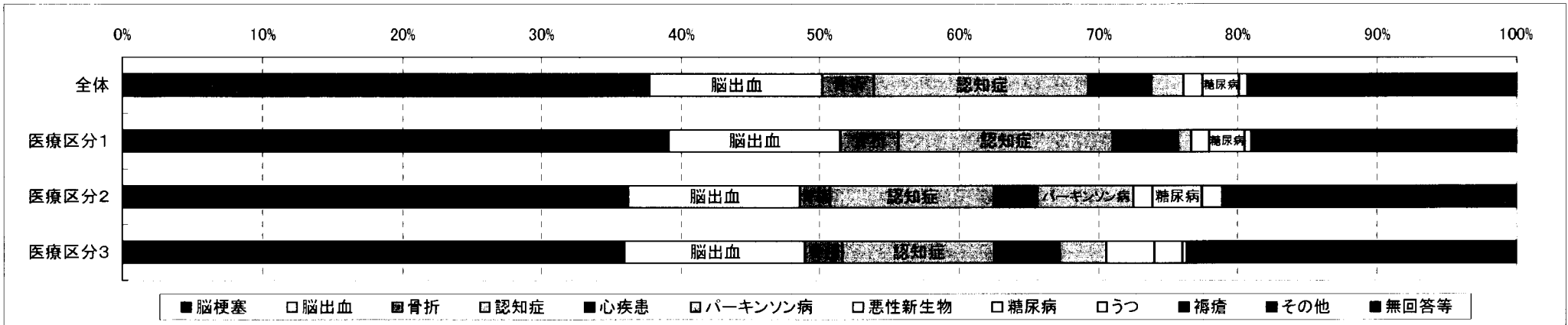


医療療養病床

	合計	主傷病名												
		脳梗塞	脳出血	骨折	認知症	心疾患	パーキンソン病	悪性新生物	糖尿病	うつ	褥瘡	その他	無回答等	
全体	63,108人 100.0%	17,112人 27.1%	6,623人 10.5%	3,094人 4.9%	3,663人 5.8%	3,482人 5.5%	3,454人 5.5%	1,640人 2.6%	2,511人 4.0%	1,558人 2.5%	594人 0.9%	15,176人 24.0%	4,201人 6.7%	
医療区分	医療区分1	23,592人 100.0%	7,097人 30.1%	2,498人 10.6%	1,916人 8.1%	1,797人 7.6%	1,820人 7.7%	156人 0.7%	593人 2.5%	853人 3.6%	232人 1.0%	38人 0.2%	5,248人 22.2%	1,344人 5.7%
	医療区分2	29,775人 100.0%	7,377人 24.8%	2,926人 9.8%	1,032人 3.5%	1,456人 4.9%	1,032人 3.5%	2,724人 9.1%	616人 2.1%	1,514人 5.1%	1,288人 4.3%	519人 1.7%	7,129人 23.9%	2,162人 7.3%
	医療区分3	9,255人 100.0%	2,498人 27.0%	1,158人 12.5%	119人 1.3%	364人 3.9%	607人 6.6%	566人 6.1%	426人 4.6%	133人 1.4%	33人 0.4%	35人 0.4%	2,689人 29.1%	627人 6.8%
	未実施	408人 100.0%	118人 28.9%	33人 8.1%	26人 6.4%	42人 10.3%	20人 4.9%	7人 1.7%	5人 1.2%	9人 2.2%	4人 1.0%	1人 0.2%	99人 24.3%	44人 10.8%
	無回答等	78人 100.0%	22人 28.2%	8人 10.3%	1人 1.3%	4人 5.1%	3人 3.8%	1人 1.3%	0人 0.0%	2人 2.6%	1人 1.3%	1人 1.3%	11人 14.1%	24人 30.8%

3. 主傷病名 医療区分別・介護療養病床

介護療養病床入院者の主傷病名を医療区分別に見ると、医療区分1では脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が51.5%、認知症が15.4%、心疾患が4.6%であった。医療区分2では脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が48.6%、認知症が11.8%、パーキンソン病が6.9%であった。医療区分3では脳梗塞と脳出血などの脳血管疾患が49.0%、認知症が10.9%、心疾患が4.7%であった。(その他を除く)

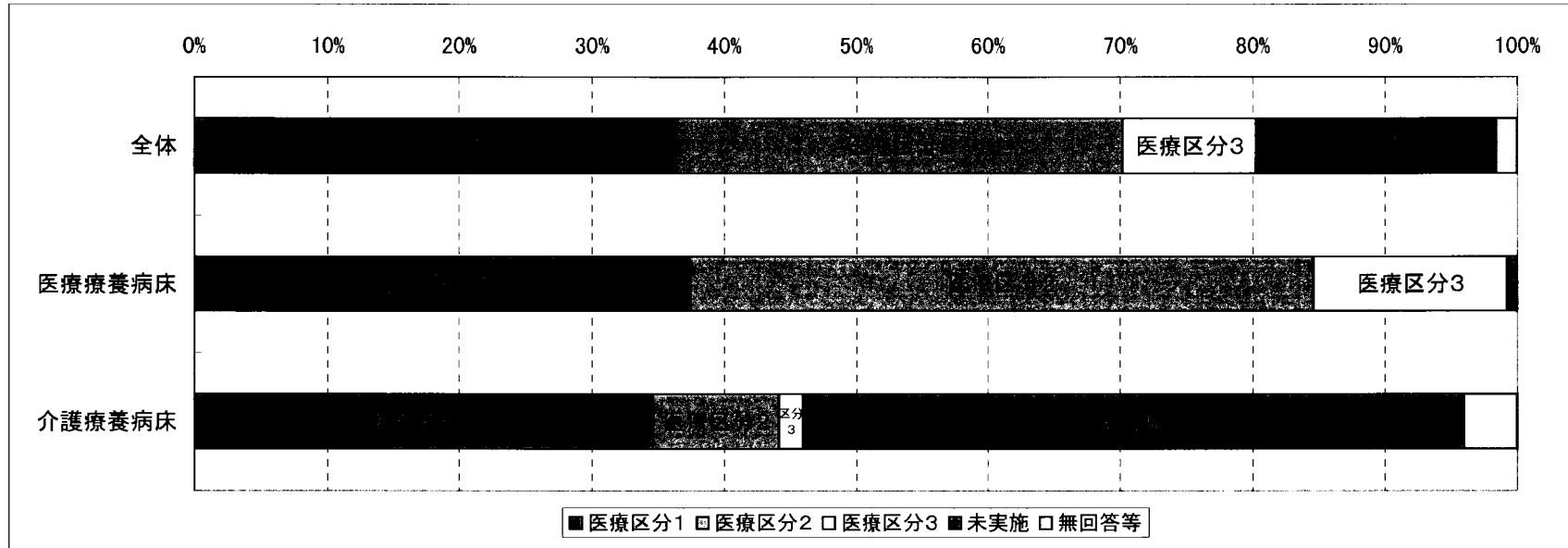


介護療養病床

	合計	主傷病名												
		脳梗塞	脳出血	骨折	認知症	心疾患	パーキンソン病	悪性新生物	糖尿病	うつ	褥瘡	その他	無回答等	
全体	34,806人 100.0%	13,140人 37.8%	4,329人 12.4%	1,277人 3.7%	5,361人 15.4%	1,575人 4.5%	812人 2.3%	460人 1.3%	922人 2.6%	229人 0.7%	66人 0.2%	4,613人 13.3%	2,022人 5.8%	
医療区分	医療区分1	12,030人 100.0%	4,704人 39.1%	1,489人 12.4%	503人 4.2%	1,850人 15.4%	557人 4.6%	119人 1.0%	154人 1.3%	306人 2.5%	64人 0.5%	6人 0.0%	1,589人 13.2%	689人 5.7%
	医療区分2	3,343人 100.0%	1,211人 36.2%	414人 12.4%	72人 2.2%	393人 11.8%	103人 3.1%	232人 6.9%	45人 1.3%	118人 3.5%	50人 1.5%	25人 0.7%	455人 13.6%	225人 6.7%
	医療区分3	643人 100.0%	231人 35.9%	84人 13.1%	17人 2.6%	209人 10.9%	30人 4.7%	70人 3.4%	22人 3.4%	13人 2.0%	2人 0.3%	1人 0.2%	107人 16.6%	44人 6.8%
	未実施	17,389人 100.0%	6,498人 37.4%	2,202人 12.7%	638人 3.7%	2,898人 16.7%	818人 4.7%	410人 2.4%	223人 1.3%	453人 2.6%	103人 0.6%	33人 0.2%	2,269人 13.0%	844人 4.9%
	無回答等	1,401人 100.0%	496人 35.4%	140人 10.0%	47人 3.4%	150人 10.7%	67人 4.8%	29人 2.1%	16人 1.1%	32人 2.3%	10人 0.7%	1人 0.1%	193人 13.8%	220人 15.7%

4 医療区分

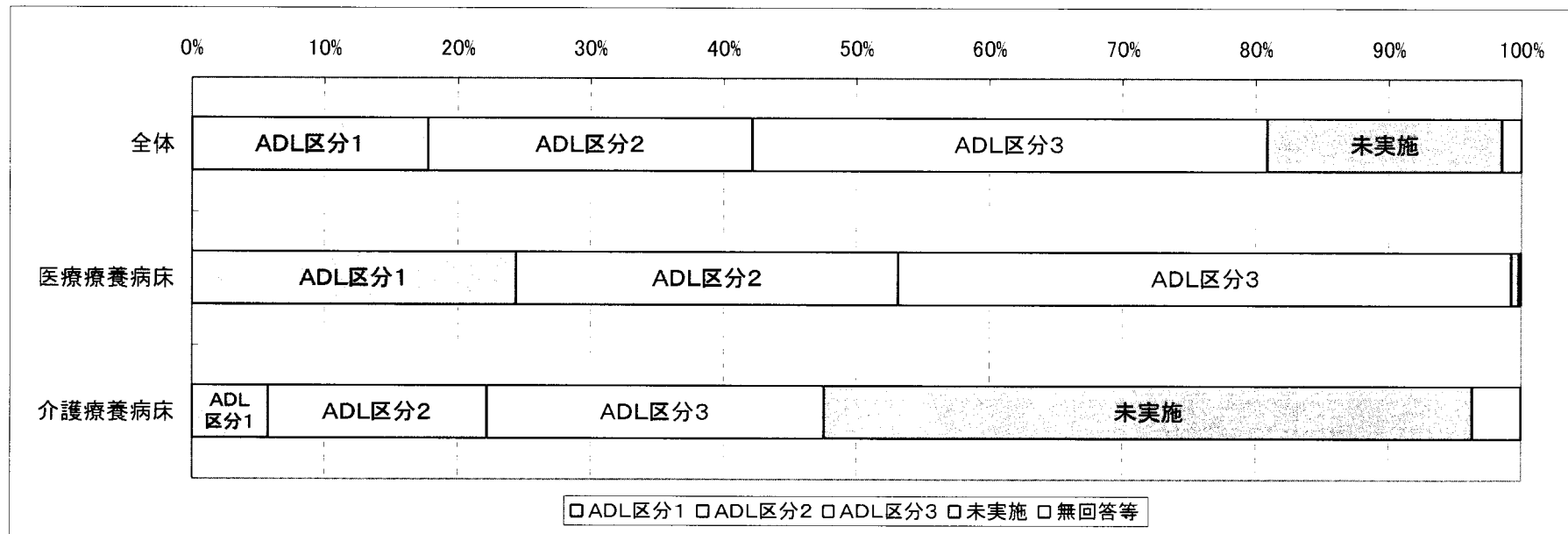
全体では医療区分1が36.4%と最も多かった。医療療養病床では医療区分2が47.2%と最も多く、介護療養病床では医療区分1が34.6%と最も多かった。(未実施を除く)



	合計	医療区分1	医療区分2	医療区分3	未実施	無回答等
全体	98,287人	35,739人	33,230人	9,926人	17,836人	1,556人
	100.0%	36.4%	33.8%	10.1%	18.1%	1.6%
医療療養病床	63,108人	23,592人	29,775人	9,255人	408人	78人
	100.0%	37.4%	47.2%	14.7%	0.6%	0.1%
介護療養病床	34,806人	12,030人	3,343人	643人	17,389人	1,401人
	100.0%	34.6%	9.6%	1.8%	50.0%	4.0%

5 ADL区分

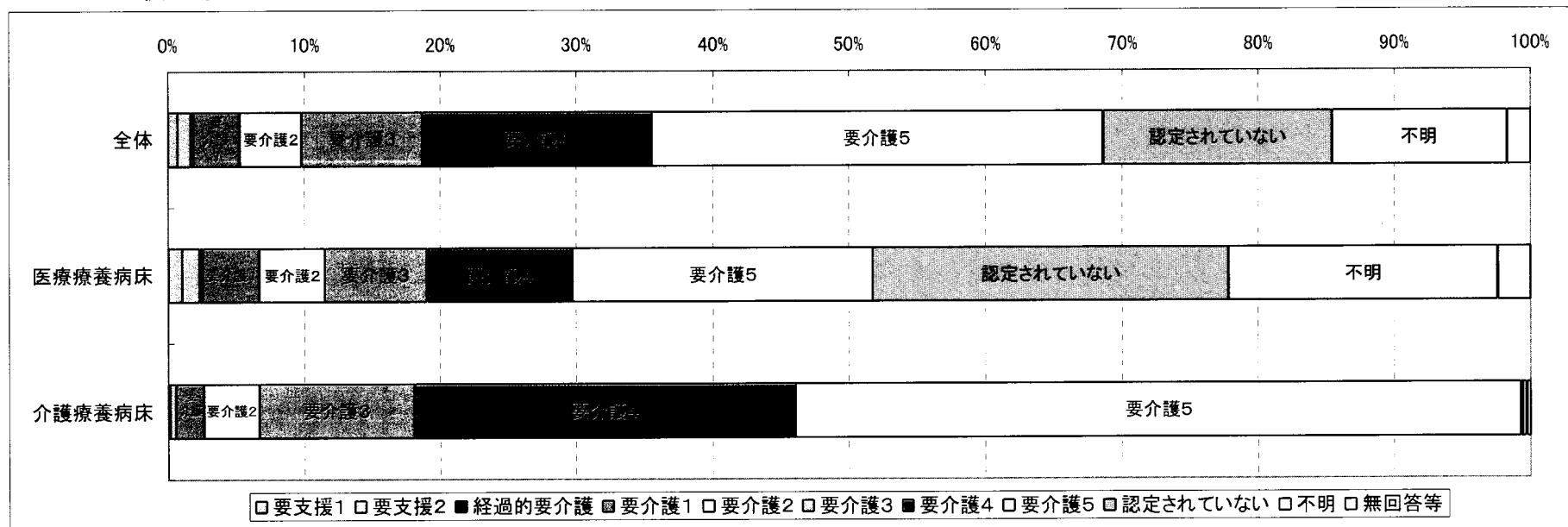
全体ではADL区分3が38.7%と最も多かった。医療療養病床ではADL区分3が46.1%と最も多く、介護療養病床ではADL区分3が25.3%と最も多かった。（未実施を除く）



	合計	ADL区分1	ADL区分2	ADL区分3	未実施	無回答等
全体	98,287人	17,461人	23,955人	38,030人	17,389人	1,452人
	100.0%	17.8%	24.4%	38.7%	17.7%	1.5%
医療療養病床	63,108人	15,403人	18,132人	29,098人	370人	105人
	100.0%	24.4%	28.7%	46.1%	0.6%	0.2%
介護療養病床	34,806人	1,993人	5,735人	8,823人	16,980人	1,275人
	100.0%	5.7%	16.5%	25.3%	48.8%	3.7%

6 要介護状態等区分

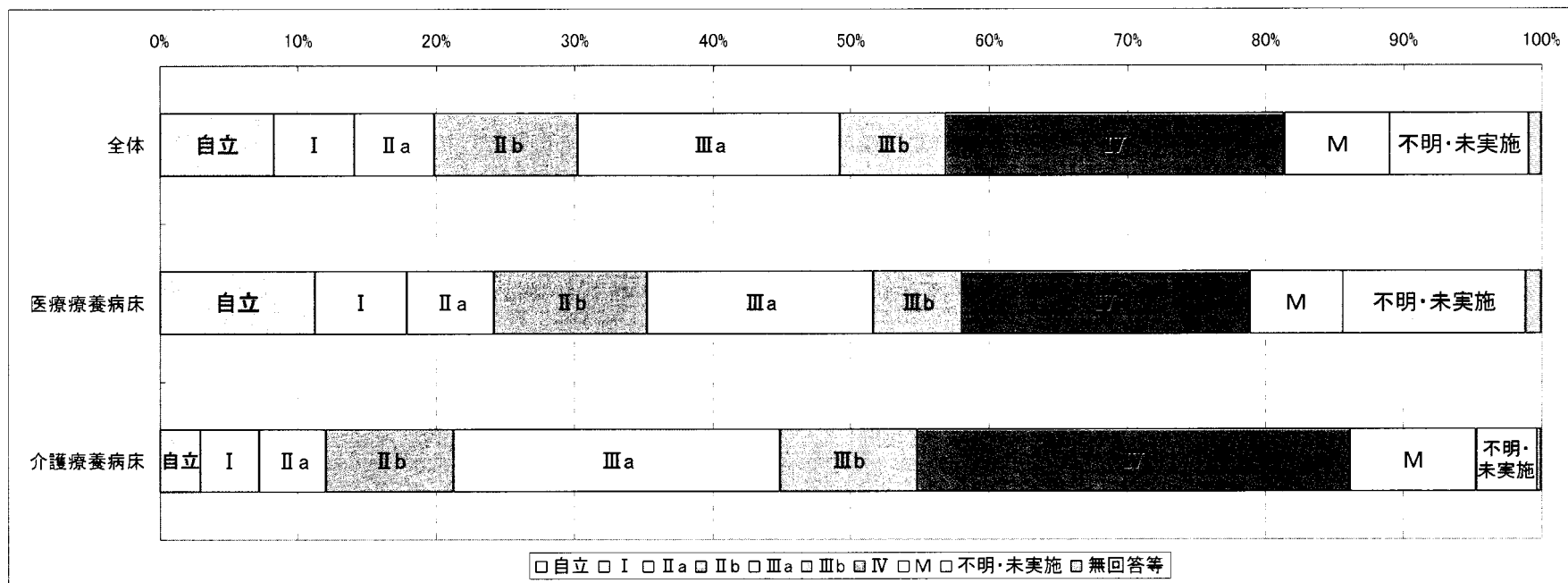
未認定者と不明者を除くと、要介護5が全体では33.1%、医療療養病床では22.0%、介護療養病床では53.3%と最も多かった。



	合計	要支援1	要支援2	経過的要介護	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	認定されていない	不明	無回答等
全体	98,287人	681人	984人	179人	3,295人	4,472人	8,792人	16,506人	32,532人	16,550人	12,596人	1,700人
	100.0%	0.7%	1.0%	0.2%	3.4%	4.5%	8.9%	16.8%	33.1%	16.8%	12.8%	1.7%
医療療養病床	63,108人	638人	826人	170人	2,571人	3,050人	4,775人	6,730人	13,905人	16,461人	12,454人	1,528人
	100.0%	1.0%	1.3%	0.3%	4.1%	4.8%	7.6%	10.7%	22.0%	26.1%	19.7%	2.4%
介護療養病床	34,806人	38人	155人	8人	713人	1,403人	3,987人	9,721人	18,535人	46人	103人	97人
	100.0%	0.1%	0.4%	0.0%	2.0%	4.0%	11.5%	27.9%	53.3%	0.1%	0.3%	0.3%

7 認知症高齢者の日常生活自立度

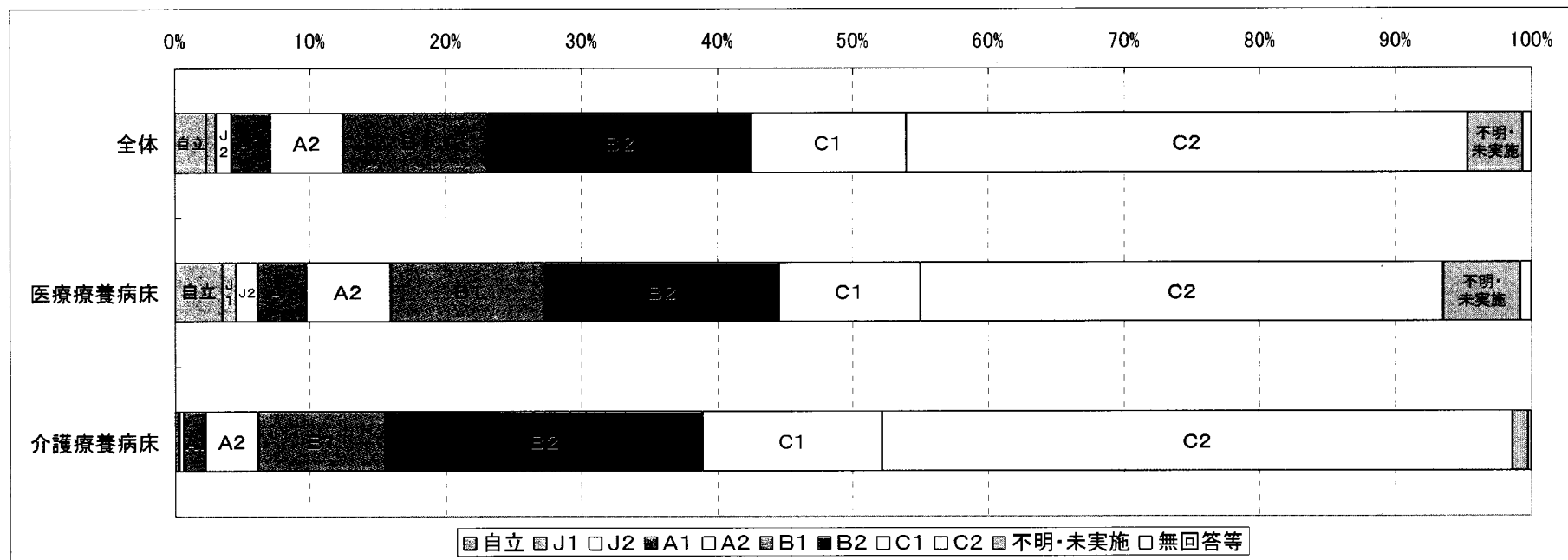
日常生活自立度Ⅲ以上は全体では58.8%、医療療養病床では50.4%、介護療養病床では74.1%を占めた。



	合計	自立	I	IIa	IIb	IIIa	IIIb	IV	M	不明・未実施	無回答等
全体	98,287人	8,096人	5,754人	5,643人	10,195人	18,640人	7,543人	24,119人	7,497人	9,925人	875人
	100.0%	8.2%	5.9%	5.7%	10.4%	19.0%	7.7%	24.5%	7.6%	10.1%	0.9%
医療療養病床	63,108人	7,056人	4,244人	3,919人	6,969人	10,376人	4,041人	13,142人	4,284人	8,373人	704人
	100.0%	11.2%	6.7%	6.2%	11.0%	16.4%	6.4%	20.8%	6.8%	13.3%	1.1%
介護療養病床	34,806人	1,008人	1,483人	1,702人	3,199人	8,208人	3,480人	10,903人	3,191人	1,520人	112人
	100.0%	2.9%	4.3%	4.9%	9.2%	23.6%	10.0%	31.3%	9.2%	4.4%	0.3%

8 障害高齢者の日常生活自立度

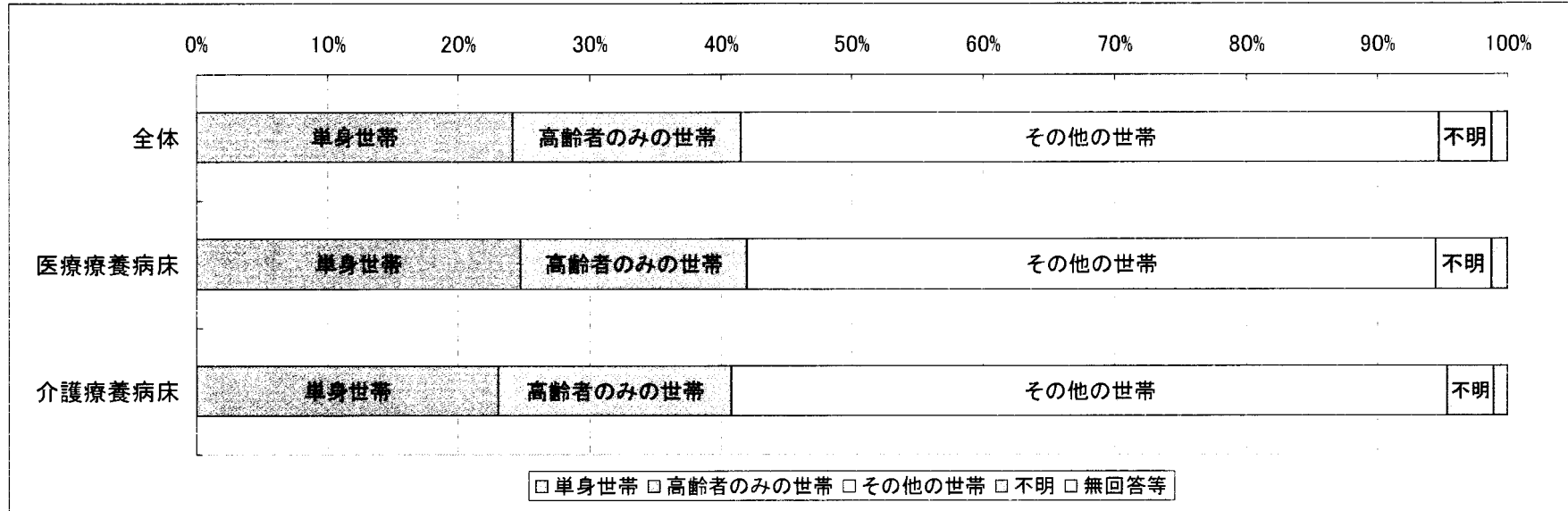
B以上は全体では82.9%、医療療養病床では77.6%、介護療養病床では92.4%を占めた。一方「自立」は全体では2.3%、医療療養病床では3.5%、介護療養病床では0.2%であった。



	合計	自立	J 1	J 2	A 1	A 2	B 1	B 2	C 1	C 2	不明・未実施	無回答等
全体	98,287人	2,286人	718人	1,122人	2,812人	5,313人	10,473人	19,038人	11,258人	40,601人	4,011人	655人
	100.0%	2.3%	0.7%	1.1%	2.9%	5.4%	10.7%	19.4%	11.5%	41.3%	4.1%	0.7%
医療療養病床	63,108人	2,216人	669人	1,010人	2,236人	3,931人	7,168人	10,855人	6,611人	24,312人	3,589人	511人
	100.0%	3.5%	1.1%	1.6%	3.5%	6.2%	11.4%	17.2%	10.5%	38.5%	5.7%	0.8%
介護療養病床	34,806人	68人	47人	108人	561人	1,365人	3,262人	8,116人	4,608人	16,173人	409人	89人
	100.0%	0.2%	0.1%	0.3%	1.6%	3.9%	9.4%	23.3%	13.2%	46.5%	1.2%	0.3%

9 世帯の状況

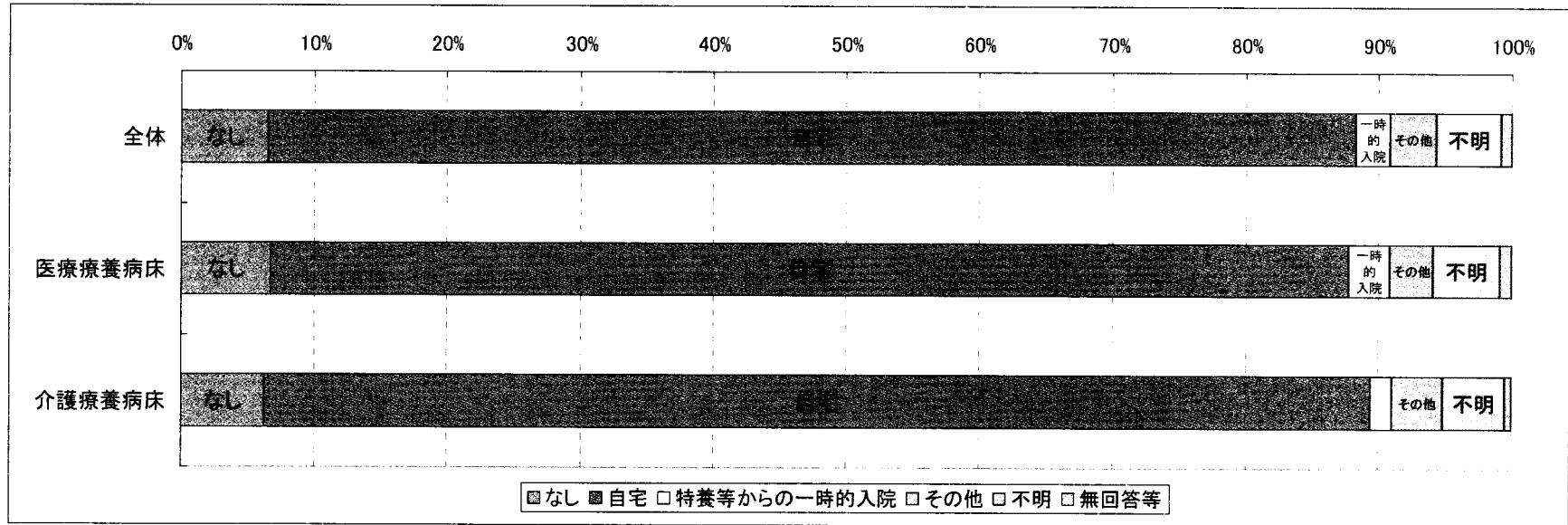
単身世帯・高齢者のみの世帯を合わせると全体では41.6%、医療療養病床では42.0%、介護療養病床では40.9%であった。



	合計	単身世帯	高齢者のみの世帯	その他の世帯	不明	無回答等
全体	98,287人	23,709人	17,173人	52,204人	3,955人	1,246人
	100.0%	24.1%	17.5%	53.1%	4.0%	1.3%
医療療養病床	63,108人	15,604人	10,918人	33,072人	2,715人	799人
	100.0%	24.7%	17.3%	52.4%	4.3%	1.3%
介護療養病床	34,806人	8,023人	6,199人	18,980人	1,224人	380人
	100.0%	23.1%	17.8%	54.5%	3.5%	1.1%

10 住居の状況

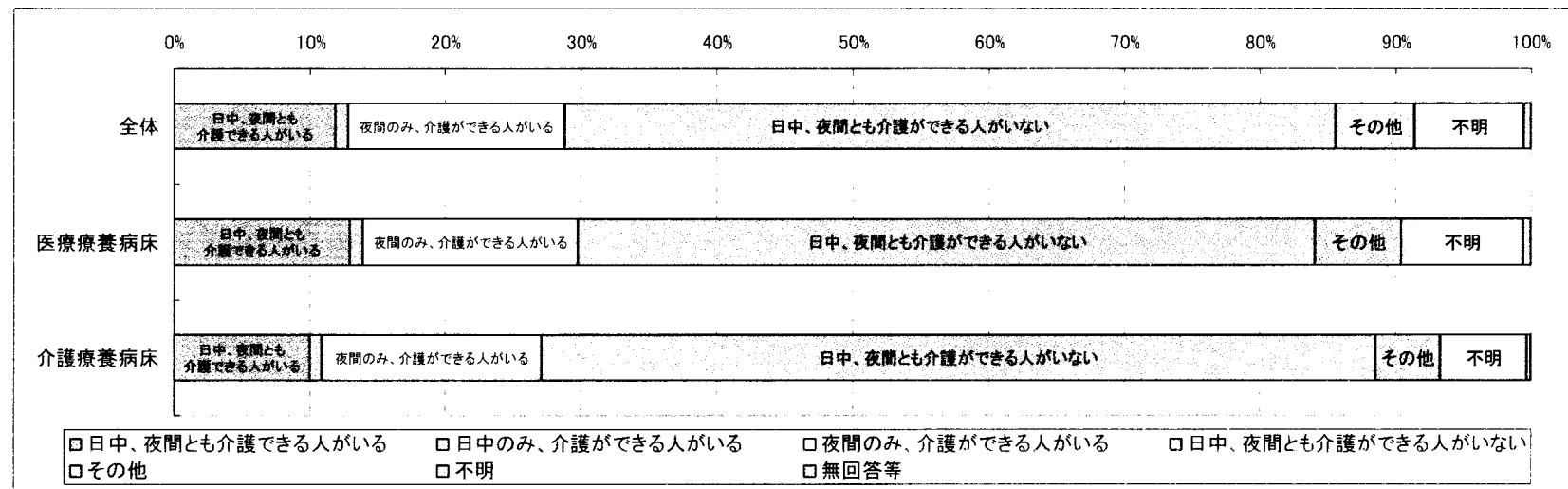
自宅のある者の割合は、全体では81.8%、医療療養病床では81.1%、介護療養病床では83.2%であった。



	合計	なし	自宅	特養等からの一時的入院	その他	不明	無回答等
全体	98,287人	6,442人	80,403人	2,501人	3,386人	4,762人	793人
	100.0%	6.6%	81.8%	2.5%	3.4%	4.8%	0.8%
医療療養病床	63,108人	4,251人	51,164人	1,944人	2,050人	3,138人	561人
	100.0%	6.7%	81.1%	3.1%	3.2%	5.0%	0.9%
介護療養病床	34,806人	2,172人	28,971人	547人	1,328人	1,610人	178人
	100.0%	6.2%	83.2%	1.6%	3.8%	4.6%	0.5%

11 自宅での介護者の有無

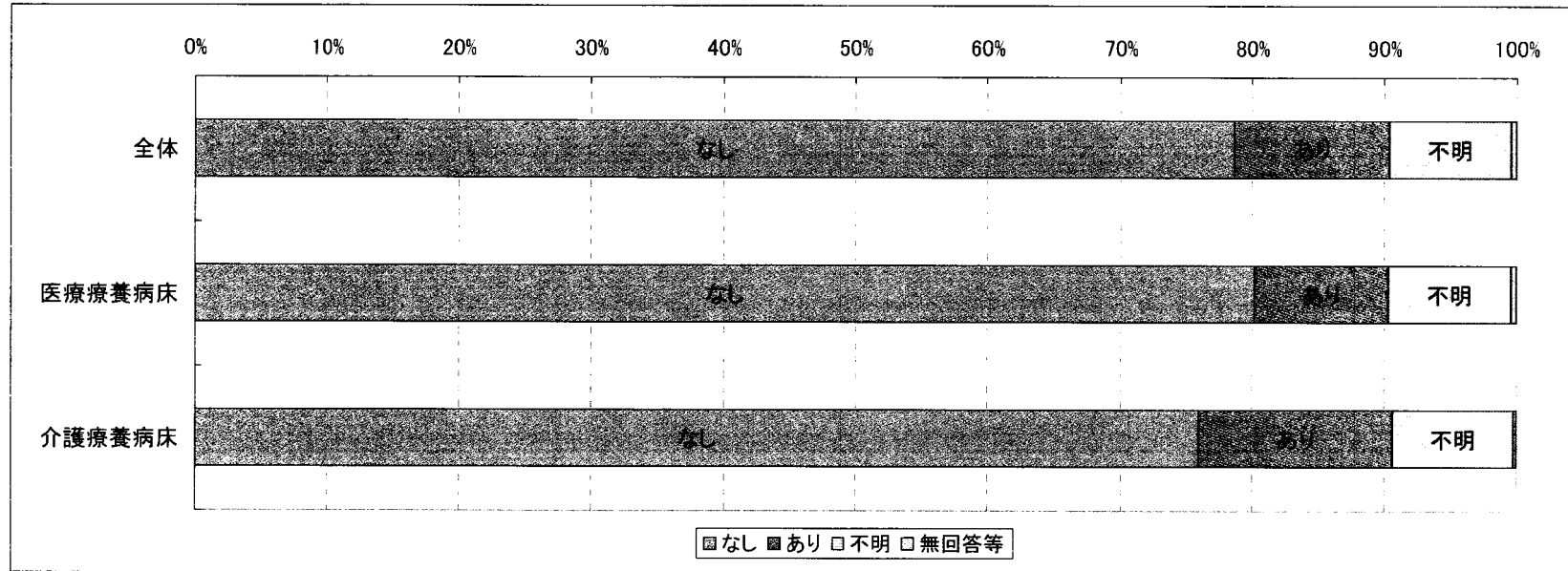
夜間・日中の両方またはいずれかで介護者がいない者の割合は全体では73.8%、医療療養病床では71.2%、介護療養病床では78.5%であった。



	合計	日中、夜間とも介護できる人がいる	日中のみ、介護ができる人がいる	夜間のみ、介護ができる人がいる	日中、夜間とも介護ができる人がいない	その他	不明	無回答等
全体	98,287人	11,648人	957人	15,693人	55,833人	5,719人	7,908人	529人
	100.0%	11.9%	1.0%	16.0%	56.8%	5.8%	8.0%	0.5%
医療療養病床	63,108人	8,131人	648人	10,015人	34,273人	4,007人	5,667人	367人
	100.0%	12.9%	1.0%	15.9%	54.3%	6.3%	9.0%	0.6%
介護療養病床	34,806人	3,475人	307人	5,640人	21,378人	1,684人	2,213人	109人
	100.0%	10.0%	0.9%	16.2%	61.4%	4.8%	6.4%	0.3%

12 特別養護老人ホームの申し込みの有無

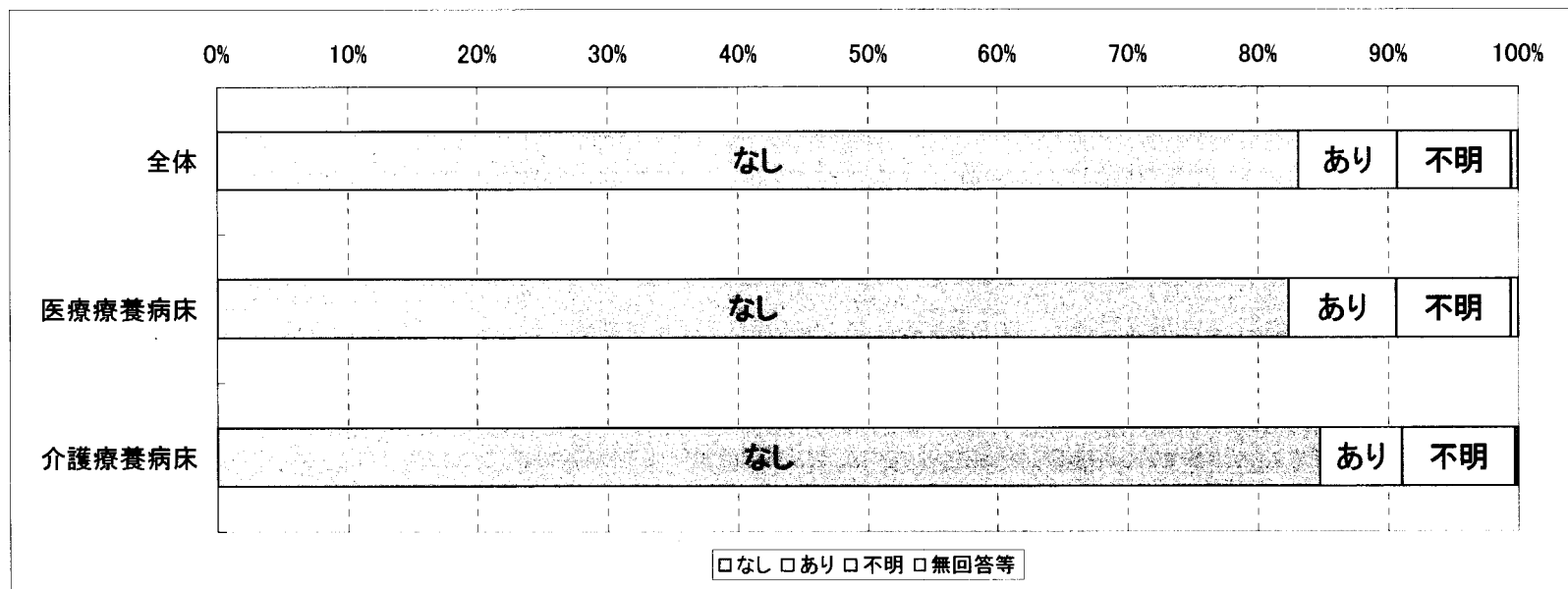
全体では78.6%、医療療養病床では80.2%、介護療養病床では76.0%が特別養護老人ホームへの申し込みをしていなかった。



	合計	なし	あり	不明	無回答等
全体	98,287人	77,282人	11,588人	9,030人	387人
	100.0%	78.6%	11.8%	9.2%	0.4%
医療療養病床	63,108人	50,594人	6,430人	5,822人	262人
	100.0%	80.2%	10.2%	9.2%	0.4%
介護療養病床	34,806人	26,438人	5,124人	3,171人	73人
	100.0%	76.0%	14.7%	9.1%	0.2%

13 介護老人保健施設の申し込みの有無

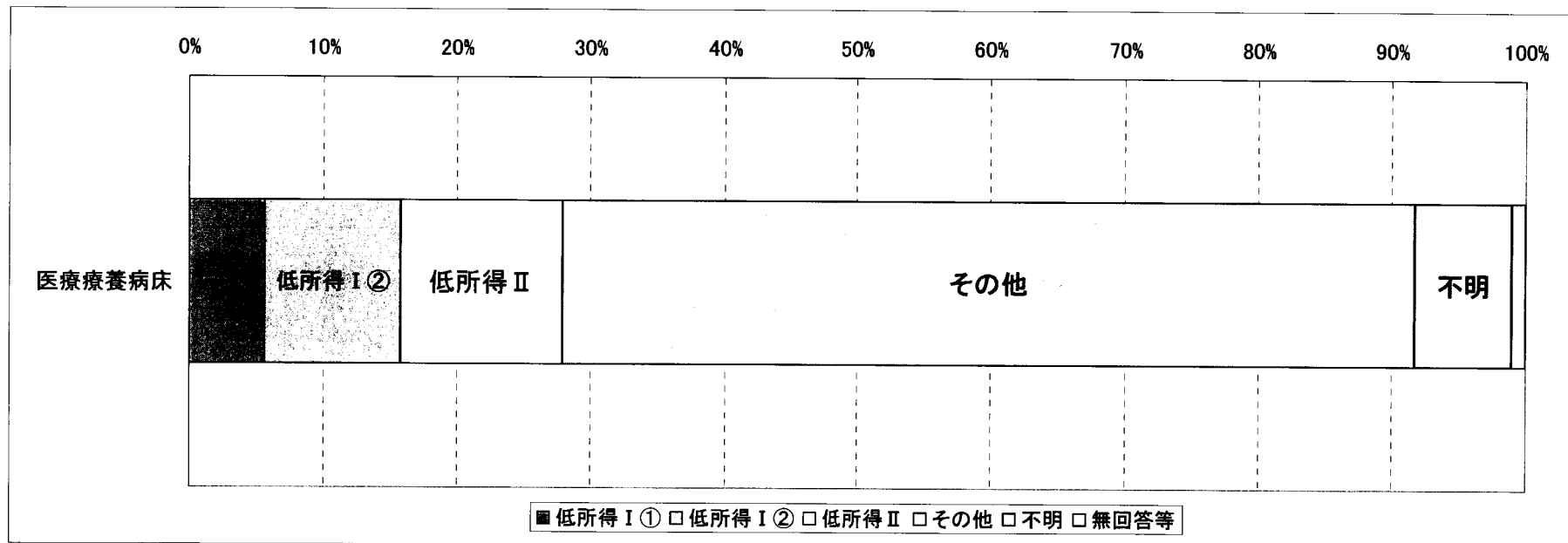
全体では83.2%、医療療養病床では82.4%、介護療養病床では84.8%が介護老人保健施設への申し込みをしていなかった。



	合計	なし	あり	不明	無回答等
全体	98,287人	81,731人	7,434人	8,619人	503人
	100.0%	83.2%	7.6%	8.8%	0.5%
医療療養病床	63,108人	51,975人	5,219人	5,546人	368人
	100.0%	82.4%	8.3%	8.8%	0.6%
介護療養病床	34,806人	29,501人	2,192人	3,032人	81人
	100.0%	84.8%	6.3%	8.7%	0.2%

14 所得状況（医療療養病床）

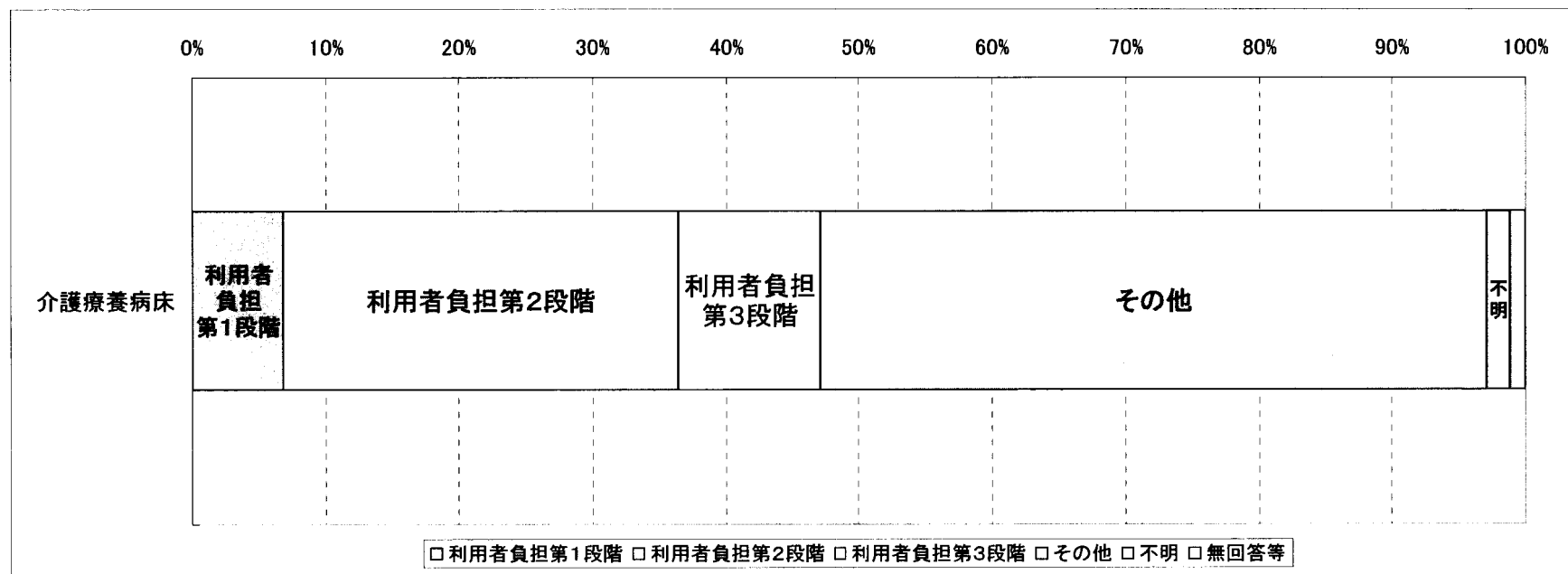
低所得（低所得Ⅰ①②、低所得Ⅱ）を合わせると27.9%となった。



	合計	低所得Ⅰ①	低所得Ⅰ②	低所得Ⅱ	その他	不明	無回答等
医療療養病床	63,108人	3,536人	6,435人	7,651人	40,263人	4,566人	657人
	100.0%	5.6%	10.2%	12.1%	63.8%	7.2%	1.0%

15 所得状況（介護療養病床）

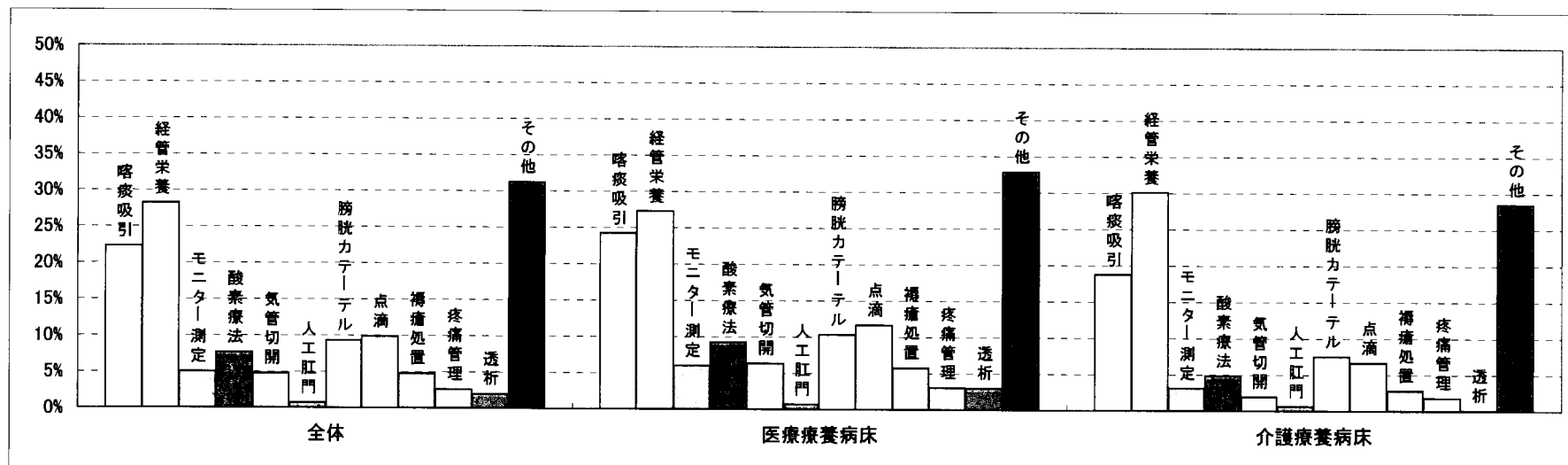
低所得（利用者負担第1段階、第2段階、第3段階）を合わせると47.1%となった。



	合計	利用者負担第1段階	利用者負担第2段階	利用者負担第3段階	その他	不明	無回答等
介護療養病床	34,806人	2,360人	10,311人	3,715人	17,412人	614人	394人
	100.0%	6.8%	29.6%	10.7%	50.0%	1.8%	1.1%

16 医療処置

【10%を超える患者に行われていた医療処置】全体では経管栄養(28.2%)・喀痰吸引(22.3%)、医療療養病床では経管栄養(27.2%)・喀痰吸引(24.2%)・点滴(11.6%)・膀胱カテーテル(10.3%)、介護療養病床では経管栄養(30.1%)・喀痰吸引(18.7%)であった。1人あたりの平均処置数は、全体では1.3、医療療養病床では1.4、介護療養病床では1.1であった。(※各医療処置について、合計人数でそれぞれ割ったもの)

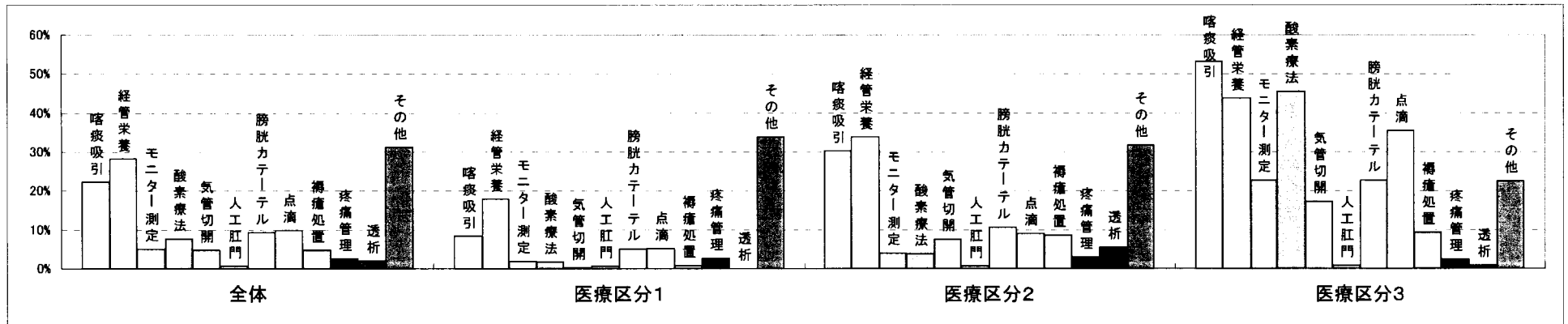


(複数回答)

	合計	喀痰吸引	経管栄養	モニター測定 (心拍、血圧、酸素飽和度)	酸素療法	気管切開	人工肛門	膀胱カテーテル	点滴	褥瘡処置 (Ⅲ度以上)	疼痛管理	透析	その他	無回答等	※平均処置数
全体	98,287人	21,878人	27,741人	4,914人	7,521人	4,688人	660人	9,116人	9,688人	4,672人	2,538人	1,917人	30,651人	28,180人	1.3
	100.0%	22.3%	28.2%	5.0%	7.7%	4.8%	0.7%	9.3%	9.9%	4.8%	2.6%	2.0%	31.2%	28.7%	
医療療養病床	63,108人	15,300人	17,186人	3,810人	5,811人	3,988人	440人	6,491人	7,343人	3,671人	1,910人	1,880人	20,694人	15,942人	1.4
	100.0%	24.2%	27.2%	6.0%	9.2%	6.3%	0.7%	10.3%	11.6%	5.8%	3.0%	3.0%	32.8%	25.3%	
介護療養病床	34,806人	6,524人	10,482人	1,090人	1,689人	692人	220人	2,605人	2,318人	990人	612人	35人	9,889人	12,060人	1.1
	100.0%	18.7%	30.1%	3.1%	4.9%	2.0%	0.6%	7.5%	6.7%	2.8%	1.8%	0.1%	28.4%	34.6%	

16 医療処置 医療区分別・全体

【10%を超える者に行われていた医療処置】全体では経管栄養(28.2%)・喀痰吸引(22.3%)、医療区分1では経管栄養(17.9%)、医療区分2では経管栄養(33.8%)・喀痰吸引(30.2%)・膀胱カテーテル(10.6%)、医療区分3では喀痰吸引(53.2%)・酸素療法(45.5%)・経管栄養(43.7%)・点滴(35.5%)・膀胱カテーテル(22.8%)・モニター測定(心拍、血圧、酸素飽和度)(22.7%)・気管切開(17.3%)であった。1人あたりの平均処置数は、全体では1.3、医療区分1では0.8、医療区分2では1.5、医療区分3では2.8であった。(※各医療処置について、合計人数でそれぞれ割ったもの)

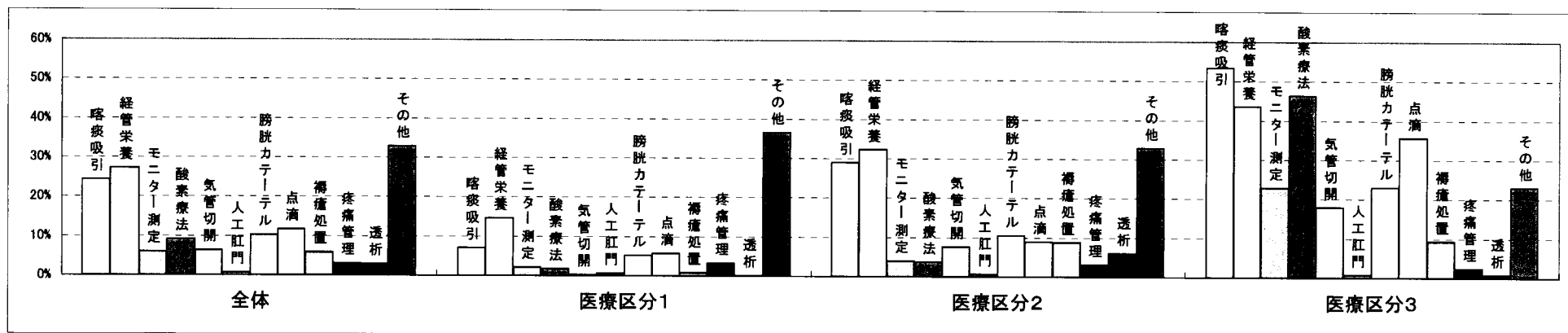


(複数回答)

	合計	医療処置												※平均処置数		
		喀痰吸引	経管栄養	モニター測定(心拍、血圧、酸素飽和度)	酸素療法	気管切開	人工肛門	膀胱カテーテル	点滴	褥瘡処置(Ⅲ度以上)	疼痛管理	透析	その他		無回答	
全体	98,287人 100.0%	21,878人 22.3%	27,741人 28.2%	4,914人 5.0%	7,521人 7.7%	4,688人 4.8%	660人 0.7%	9,116人 9.3%	9,688人 9.9%	4,672人 4.8%	2,538人 2.6%	1,917人 2.0%	30,651人 31.2%	28,180人 28.7%	1.3	
医療区分	医療区分1	35,739人 100.0%	2,971人 8.3%	6,403人 17.9%	679人 1.9%	631人 1.8%	82人 0.2%	233人 0.7%	1,803人 5.0%	1,850人 5.2%	278人 0.8%	951人 2.7%	20人 0.1%	12,081人 33.8%	14,571人 40.8%	0.8
	医療区分2	33,230人 100.0%	10,045人 30.2%	11,248人 33.8%	1,318人 4.0%	1,278人 3.8%	2,516人 7.6%	222人 0.7%	3,532人 10.6%	3,000人 9.0%	2,874人 8.6%	979人 2.9%	1,800人 5.4%	10,539人 31.7%	6,562人 19.7%	1.5
	医療区分3	9,926人 100.0%	5,278人 53.2%	4,342人 43.7%	2,258人 22.7%	4,516人 45.5%	1,718人 17.3%	78人 0.8%	2,259人 22.8%	3,524人 35.5%	917人 9.2%	236人 2.4%	75人 0.8%	2,231人 22.5%	509人 5.1%	2.8
	未実施	17,836人 100.0%	3,280人 18.4%	5,304人 29.7%	610人 3.4%	958人 5.4%	356人 2.0%	117人 0.7%	1,412人 7.9%	1,223人 6.9%	548人 3.1%	340人 1.9%	20人 0.1%	5,492人 30.8%	5,896人 33.1%	1.1
	無回答等	1,556人 100.0%	304人 19.5%	444人 28.5%	49人 3.1%	138人 8.9%	16人 1.0%	10人 0.6%	110人 7.1%	91人 5.8%	55人 3.5%	32人 2.1%	2人 0.1%	308人 19.8%	642人 41.3%	1.0

16 医療処置 医療区分別・医療療養病床

【10%を超える者に行われていた医療処置】全体では経管栄養(27.2%)・喀痰吸引(24.2%)・点滴(11.6%)・膀胱カテーテル(10.3%)、医療区分1では経管栄養(14.6%)、医療区分2では経管栄養(32.3%)・喀痰吸引(29.0%)・膀胱カテーテル(10.4%)、医療区分3では喀痰吸引(53.3%)・酸素療法(46.3%)・経管栄養(43.6%)・点滴(35.5%)・膀胱カテーテル(23.0%)・モニター測定(心拍、血圧、酸素飽和度)(22.8%)・気管切開(17.9%)であった。1人あたりの平均処置数は、全体では1.4、医療区分1では0.8、医療区分2では1.5、医療区分3では2.8であった。(※各医療処置について、合計人数でそれぞれ割ったもの)

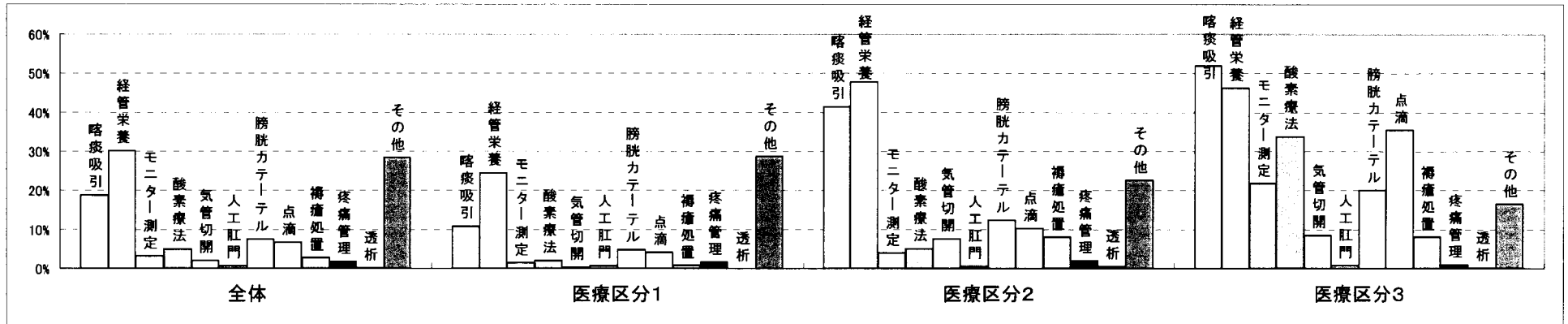


医療療養病床

		合計	医療処置 (複数回答)												※平均処置数	
			喀痰吸引	経管栄養	モニター測定(心拍、血圧、酸素飽和度)	酸素療法	気管切開	人工肛門	膀胱カテーテル	点滴	褥瘡処置(Ⅲ度以上)	疼痛管理	透析	その他		無回答
全体		63,108人 100.0%	15,300人 24.2%	17,186人 27.2%	3,810人 6.0%	5,811人 9.2%	3,988人 6.3%	440人 0.7%	6,491人 10.3%	7,343人 11.6%	3,671人 5.8%	1,910人 3.0%	1,880人 3.0%	20,694人 32.8%	15,942人 25.3%	1.4
医療区分	医療区分1	23,592人 100.0%	1,667人 7.1%	3,447人 14.6%	496人 2.1%	392人 1.7%	57人 0.2%	160人 0.7%	1,219人 5.2%	1,344人 5.7%	189人 0.8%	761人 3.2%	19人 0.1%	8,615人 36.5%	9,503人 40.3%	0.8
	医療区分2	29,775人 100.0%	8,630人 29.0%	9,616人 32.3%	1,181人 4.0%	1,109人 3.7%	2,262人 7.6%	205人 0.7%	3,110人 10.4%	2,654人 8.9%	2,599人 8.7%	908人 3.0%	1,782人 6.0%	9,757人 32.8%	5,857人 19.7%	1.5
	医療区分3	9,255人 100.0%	4,935人 53.3%	4,035人 43.6%	2,114人 22.8%	4,285人 46.3%	1,658人 17.9%	73人 0.8%	2,129人 23.0%	3,287人 35.5%	865人 9.3%	227人 2.5%	73人 0.8%	2,120人 22.9%	435人 4.7%	2.8
	未実施	408人 100.0%	44人 10.8%	58人 14.2%	14人 3.4%	16人 3.9%	8人 2.0%	2人 0.5%	26人 6.4%	47人 11.5%	13人 3.2%	14人 3.4%	4人 1.0%	187人 45.8%	123人 30.1%	1.1
	無回答等	78人 100.0%	24人 30.8%	30人 38.5%	5人 6.4%	9人 11.5%	3人 3.8%	0人 0.0%	7人 9.0%	11人 14.1%	5人 6.4%	0人 0.0%	2人 2.6%	15人 19.2%	24人 30.8%	1.4

16 医療処置 医療区分別・介護療養病床

10%を超える者に行われていた医療処置は、全体では経管栄養(30.1%)・喀痰吸引(18.7%)、医療区分1では経管栄養(24.5%)・喀痰吸引(10.8%)、医療区分2では経管栄養(47.8%)・喀痰吸引(41.4%)・膀胱カテーテル(12.3%)・点滴(10.2%)、医療区分3では喀痰吸引(51.9%)・経管栄養(46.2%)・点滴(35.5%)・酸素療法(33.7%)・モニター測定(心拍、血圧、酸素飽和度)(21.8%)・膀胱カテーテル(20.1%)であった。1人あたりの平均処置数は、全体では1.1、医療区分1では0.8、医療区分2では1.6、医療区分3では2.4であった。(※各医療処置について、合計人数でそれぞれ割ったもの)



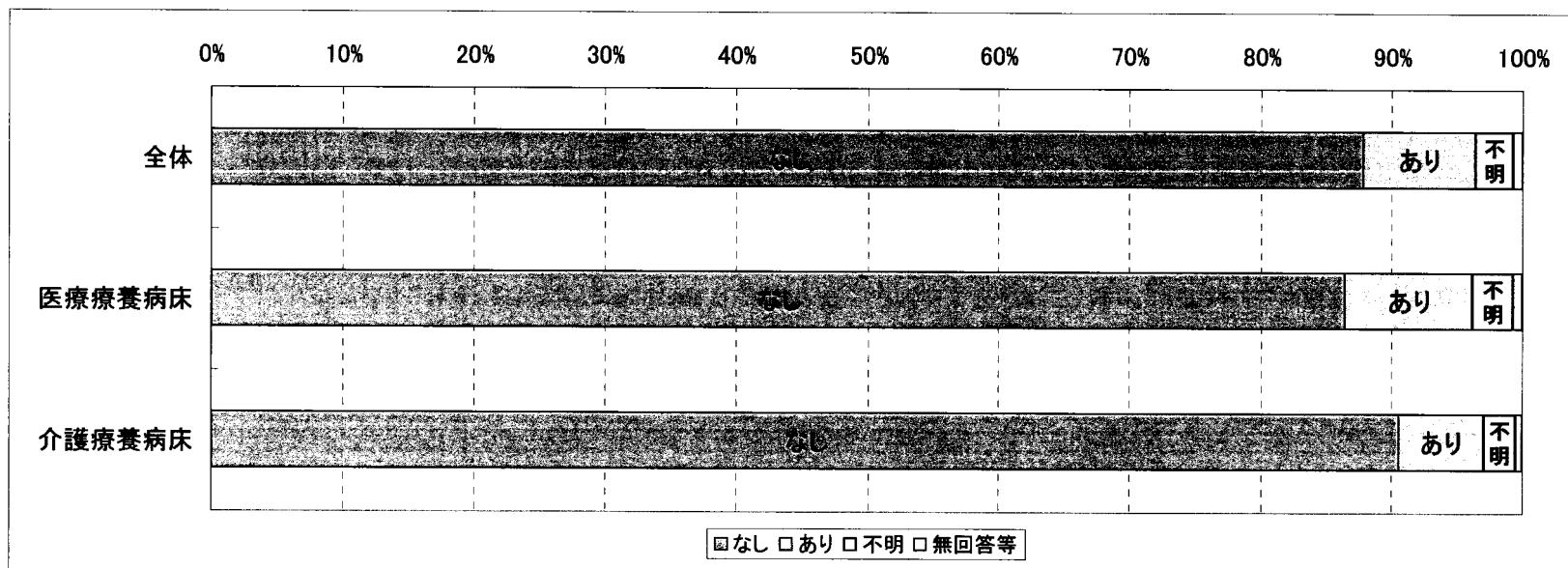
介護療養病床

(複数回答)

	合計	医療処置													※平均処置数	
		喀痰吸引	経管栄養	モニター測定(心拍、血圧、酸素飽和度)	酸素療法	気管切開	人工肛門	膀胱カテーテル	点滴	褥瘡処置(Ⅲ度以上)	疼痛管理	透析	その他	無回答		
全体	34,806人 100.0%	6,524人 18.7%	10,482人 30.1%	1,090人 3.1%	1,689人 4.9%	692人 2.0%	220人 0.6%	2,605人 7.5%	2,318人 6.7%	990人 2.8%	612人 1.8%	35人 0.1%	9,889人 28.4%	12,060人 34.6%	1.1	
医療区分	医療区分1	12,030人 100.0%	1,298人 10.8%	2,942人 24.5%	181人 1.5%	237人 2.0%	25人 0.2%	73人 0.6%	582人 4.8%	498人 4.1%	89人 0.7%	186人 1.5%	1人 0.0%	3,442人 28.6%	5,003人 41.6%	0.8
	医療区分2	3,343人 100.0%	1,385人 41.4%	1,598人 47.8%	131人 3.9%	167人 5.0%	251人 7.5%	17人 0.5%	411人 12.3%	340人 10.2%	269人 8.0%	65人 1.9%	17人 0.5%	754人 22.6%	672人 20.1%	1.6
	医療区分3	643人 100.0%	334人 51.9%	297人 46.2%	140人 21.8%	217人 33.7%	55人 8.6%	5人 0.8%	129人 20.1%	228人 35.5%	52人 8.1%	6人 0.9%	1人 0.2%	106人 16.5%	73人 11.4%	2.4
	未実施	17,389人 100.0%	3,231人 18.6%	5,239人 30.1%	595人 3.4%	942人 5.4%	348人 2.0%	115人 0.7%	1,383人 8.0%	1,175人 6.8%	532人 3.1%	323人 1.9%	16人 0.1%	5,297人 30.5%	5,758人 33.1%	1.1
	無回答等	1,401人 100.0%	276人 19.7%	406人 29.0%	43人 3.1%	126人 9.0%	13人 0.9%	10人 0.7%	100人 7.1%	77人 5.5%	48人 3.4%	32人 2.3%	0人 0.0%	290人 20.7%	554人 39.5%	1.0

17 3ヶ月以内の急性増悪（急性期病院への転院等）の有無

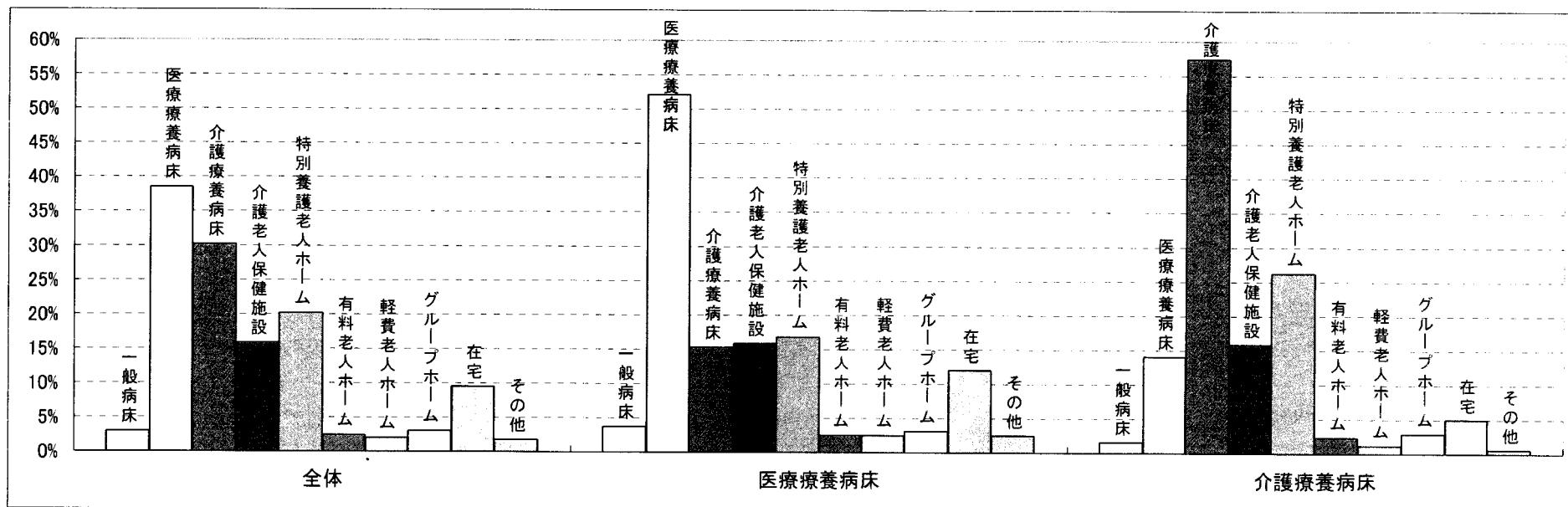
3ヶ月以内に急性増悪があった者の割合は、全体では8.6%、医療療養病床では9.8%、介護療養病床では6.6%であった。



	合計	なし	あり	不明	無回答等
全体	98,287人	86,298人	8,501人	2,818人	670人
	100.0%	87.8%	8.6%	2.9%	0.7%
医療療養病床	63,108人	54,520人	6,193人	1,960人	435人
	100.0%	86.4%	9.8%	3.1%	0.7%
介護療養病床	34,806人	31,510人	2,283人	842人	171人
	100.0%	90.5%	6.6%	2.4%	0.5%

18 それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性等を踏まえ、医療機関として対応が望ましいと考えられる施設等

患者にとって望ましいと考えられたのは、全体では多い順に医療療養病床が38.6%、介護療養病床が30.2%であった。医療療養病床では医療療養病床が52.1%、特別養護老人ホームが16.8%であった。介護療養病床では介護療養病床が57.4%、特別養護老人ホームが26.2%であった。

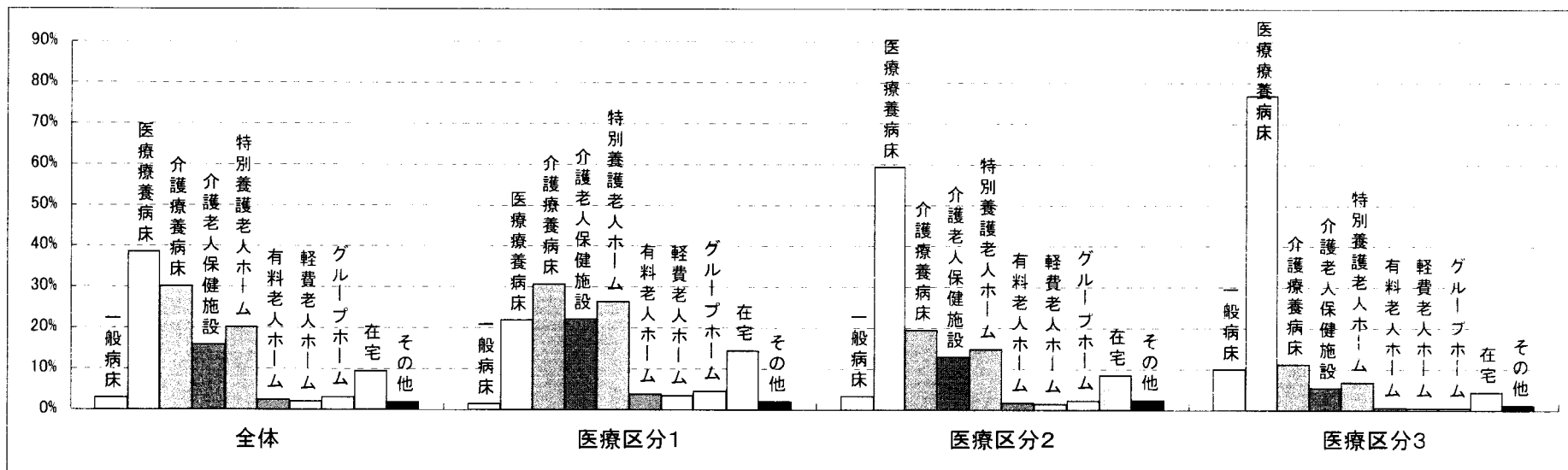


(複数回答)

	合計	一般病床	医療療養病床	介護療養病床	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム(ケアハウス)	グループホーム	在宅	その他	無回答等
全体	98,287人	2,937人	37,901人	29,697人	15,579人	19,772人	2,391人	1,996人	2,972人	9,362人	1,785人	795人
	100.0%	3.0%	38.6%	30.2%	15.9%	20.1%	2.4%	2.0%	3.0%	9.5%	1.8%	0.8%
医療療養病床	63,108人	2,388人	32,886人	9,638人	10,020人	10,589人	1,564人	1,583人	1,960人	7,581人	1,558人	549人
	100.0%	3.8%	52.1%	15.3%	15.9%	16.8%	2.5%	2.5%	3.1%	12.0%	2.5%	0.9%
介護療養病床	34,806人	533人	4,901人	19,976人	5,502人	9,113人	811人	406人	999人	1,741人	219人	190人
	100.0%	1.5%	14.1%	57.4%	15.8%	26.2%	2.3%	1.2%	2.9%	5.0%	0.6%	0.5%

18 それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性等を踏まえ、医療機関として対応が望ましいと考えられる施設等 **医療区分別・全体**

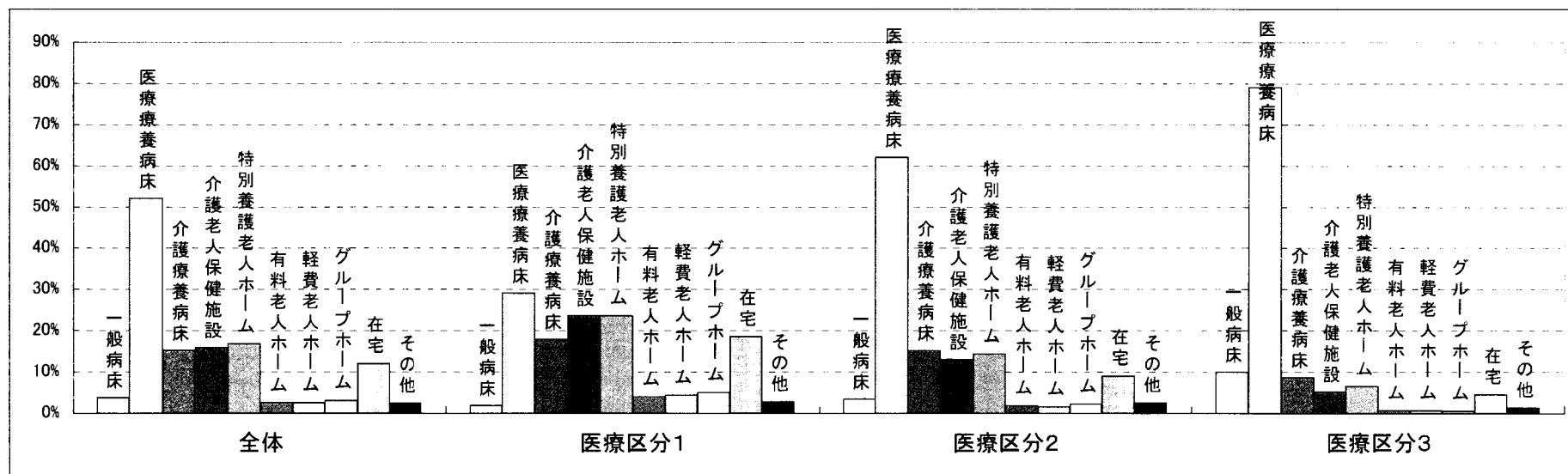
患者にとって望ましいと考えられたのは、全体では多い順に医療療養病床が38.6%、介護療養病床が30.2%であった。医療区分1では介護療養病床が30.8%、特別養護老人ホームが26.4%であった。医療区分2では医療療養病床が59.2%、介護療養病床が19.5%であった。医療区分3では医療療養病床が76.8%、介護療養病床が11.2%であった。



全体		(複数回答)											
	合計	対応が望ましいと考えられる施設										無回答	
		一般病床	医療療養病床	介護療養病床	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム(ケアハウス)	グループホーム	在宅	その他		
全体	98,287人 100.0%	2,937人 3.0%	37,901人 38.6%	29,697人 30.2%	15,579人 15.9%	19,772人 20.1%	2,391人 2.4%	1,996人 2.0%	2,972人 3.0%	9,362人 9.5%	1,785人 1.8%	795人 0.8%	
医療区分	医療区分1	35,739人 100.0%	520人 1.5%	7,844人 21.9%	10,999人 30.8%	7,916人 22.1%	9,438人 26.4%	1,373人 3.8%	1,239人 3.5%	1,640人 4.6%	5,162人 14.4%	727人 2.0%	242人 0.7%
	医療区分2	33,230人 100.0%	1,094人 3.3%	19,687人 59.2%	6,467人 19.5%	4,285人 12.9%	4,925人 14.8%	589人 1.8%	482人 1.5%	748人 2.3%	2,831人 8.5%	803人 2.4%	259人 0.8%
	医療区分3	9,926人 100.0%	992人 10.0%	7,621人 76.8%	1,113人 11.2%	543人 5.5%	670人 6.7%	72人 0.7%	57人 0.6%	58人 0.6%	444人 4.5%	123人 1.2%	89人 0.9%
	未実施	17,836人 100.0%	308人 1.7%	2,550人 14.3%	10,411人 58.4%	2,564人 14.4%	4,321人 24.2%	325人 1.8%	199人 1.1%	488人 2.7%	824人 4.6%	115人 0.6%	64人 0.4%
	無回答等	1,556人 100.0%	23人 1.5%	199人 12.8%	707人 45.4%	271人 17.4%	418人 26.9%	32人 2.1%	19人 1.2%	38人 2.4%	101人 6.5%	17人 1.1%	141人 9.1%

18 それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性等を踏まえ、医療機関として対応が望ましいと考えられる施設等 医療区分別・医療療養病床

患者にとって望ましいと考えられたのは、全体では多い順に医療療養病床が52.1%、特別養護老人ホームが16.8%であった。医療区分1では医療療養病床が29.1%、介護老人保健施設が23.7%であった。医療区分2では医療療養病床が62.1%、介護療養病床が15.3%であった。医療区分3では医療療養病床が79.0%、介護療養病床が8.6%であった。



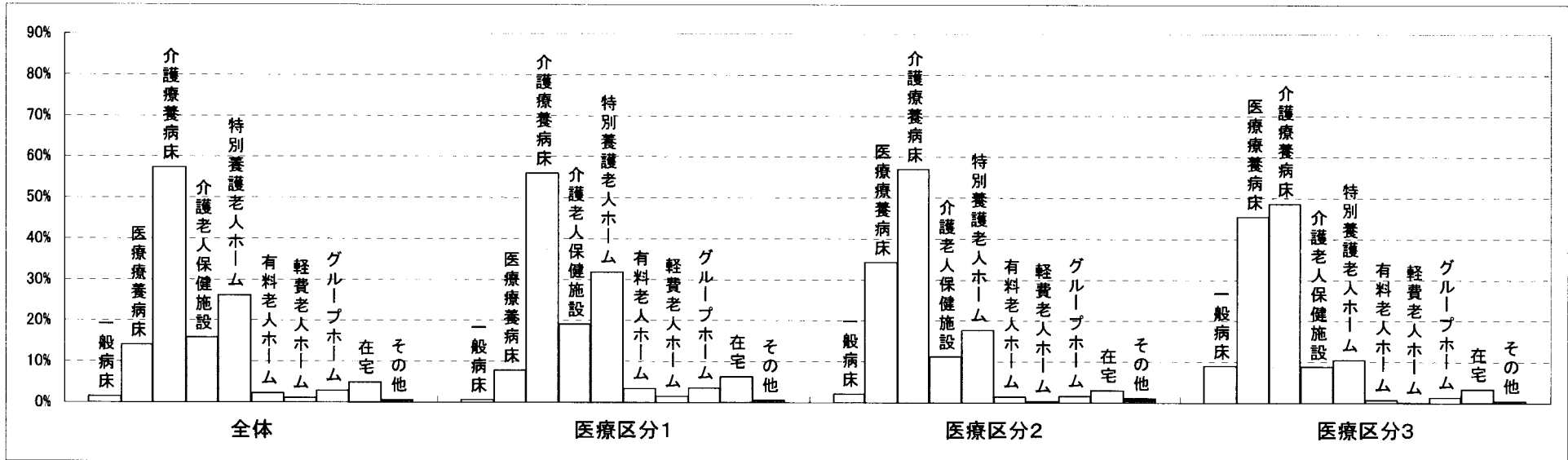
医療療養病床

(複数回答)

	合計	対応が望ましいと考えられる施設										無回答	
		一般病床	医療療養病床	介護療養病床	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム(ケアハウス)	グループホーム	在宅	その他		
全体	63,108人 100.0%	2,388人 3.8%	32,886人 52.1%	9,638人 15.3%	10,020人 15.9%	10,589人 16.8%	1,564人 2.5%	1,583人 2.5%	1,960人 3.1%	7,581人 12.0%	1,558人 2.5%	549人 0.9%	
医療区分	医療区分1	23,592人 100.0%	434人 1.8%	6,872人 29.1%	4,233人 17.9%	5,590人 23.7%	5,578人 23.6%	955人 4.0%	1,047人 4.4%	1,202人 5.1%	4,379人 18.6%	657人 2.8%	209人 0.9%
	医療区分2	29,775人 100.0%	1,015人 3.4%	18,484人 62.1%	4,544人 15.3%	3,889人 13.1%	4,310人 14.5%	537人 1.8%	466人 1.6%	689人 2.3%	2,720人 9.1%	761人 2.6%	247人 0.8%
	医療区分3	9,255人 100.0%	927人 10.0%	7,310人 79.0%	798人 8.6%	485人 5.2%	600人 6.5%	67人 0.7%	56人 0.6%	49人 0.5%	421人 4.5%	120人 1.3%	83人 0.9%
	未実施	408人 100.0%	9人 2.2%	185人 45.3%	49人 12.0%	46人 11.3%	83人 20.3%	4人 1.0%	13人 3.2%	20人 4.9%	50人 12.3%	16人 3.9%	5人 1.2%
	無回答等	78人 100.0%	3人 3.8%	35人 44.9%	14人 17.9%	10人 12.8%	18人 23.1%	1人 1.3%	1人 1.3%	0人 0.0%	11人 14.1%	4人 5.1%	5人 6.4%

18 それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性等を踏まえ、医療機関として対応が望ましいと考えられる施設等 **医療区分別・介護療養病床**

患者にとって望ましいと考えられたのは、全体では多い順に介護療養病床が57.4%、特別養護老人ホームが26.2%であった。医療区分1では介護療養病床が56.0%、特別養護老人ホームが31.8%であった。医療区分2では介護療養病床が57.0%、医療療養病床が34.2%であった。医療区分3では介護療養病床が48.7%、医療療養病床が45.4%であった。



介護療養病床

(複数回答)

	合計	対応が望ましいと考えられる施設											
		一般病床	医療療養病床	介護療養病床	介護老人保健施設	特別養護老人ホーム	有料老人ホーム	軽費老人ホーム(ケアハウス)	グループホーム	在宅	その他	無回答	
全体	34,806人 100.0%	533人 1.5%	4,901人 14.1%	19,976人 57.4%	5,502人 15.8%	9,113人 26.2%	811人 2.3%	406人 1.2%	999人 2.9%	1,741人 5.0%	219人 0.6%	190人 0.5%	
医療区分	医療区分1	12,030人 100.0%	83人 0.7%	943人 7.8%	6,733人 56.0%	2,300人 19.1%	3,828人 31.8%	408人 3.4%	187人 1.6%	430人 3.6%	764人 6.4%	69人 0.6%	33人 0.3%
	医療区分2	3,343人 100.0%	74人 2.2%	1,144人 34.2%	1,905人 57.0%	379人 11.3%	595人 17.8%	49人 1.5%	14人 0.4%	55人 1.6%	101人 3.0%	37人 1.1%	8人 0.2%
	医療区分3	643人 100.0%	58人 9.0%	292人 45.4%	313人 48.7%	57人 8.9%	68人 10.6%	5人 0.8%	1人 0.2%	9人 1.4%	22人 3.4%	3人 0.5%	4人 0.6%
	未実施	17,389人 100.0%	299人 1.7%	2,361人 13.6%	10,344人 59.5%	2,511人 14.4%	4,229人 24.3%	320人 1.8%	186人 1.1%	467人 2.7%	769人 4.4%	98人 0.6%	58人 0.3%
	無回答等	1,401人 100.0%	19人 1.4%	161人 11.5%	681人 48.6%	255人 18.2%	393人 28.1%	29人 2.1%	18人 1.3%	38人 2.7%	85人 6.1%	12人 0.9%	87人 6.2%



療養病床アンケート調査について

1 趣旨

- 今般の医療制度改革においては、いわゆる社会的入院の是正を図り、患者の状態に応じた施設の適切な役割分担の推進を図るため、療養病床の再編成を実施することとなる。
- 今後本格化する療養病床の再編成において、病床の円滑な転換に向けた支援を進めるため、各地域においては、その受け皿づくりを含め、将来的なニーズや社会資源の状況等に即した「地域ケア体制」の計画的な整備が求められる。
- 今後、各都道府県においては、ケア体制全般の在り方を検討した上で、地域としての対応方針を確立し、計画的な療養病床の転換を図ることが求められるが、その際に、医療計画・医療費適正化計画・介護保険事業支援計画の各分野横断的な対応を図るための「地域ケア整備構想（仮称）」を平成19年夏から秋頃を目途に策定することが必要となる。
- 本調査は、各都道府県における「地域ケア整備構想（仮称）」の策定に向けての基礎資料とするために、療養病床における入院患者のサービスニーズや療養病床を有する医療機関の意向等を把握するものである。

2 調査概要

1) 調査内容

以下の3事項についてアンケート調査を実施するものとする。

- I 療養病床の概況
- II 療養病床の転換意向
- III 療養病床入院患者の状態等

2) アンケート調査の対象及び客体

- ・療養病床を有する医療機関（全数）・・・・・・（I、II）
- ・上記医療機関の入院患者（抽出）・・・・・・（III）

3) アンケート調査の時期

平成18年10月1日

	施設票		患者票
	I 療養病床の概況	II 療養病床の転換意向	III 療養病床入院患者の状態等
実施主体	都道府県		
調査対象	療養病床を有する 全医療機関		療養病床を有する 全医療機関の入院患者のうち 抽出されたもの (※1)
調査 スケジュール	8月 アンケート調査内容についての検討 9月 アンケート調査票配布 11月 アンケート調査票回収・補正 3月 まとめ		
記入者	療養病床を有する医療機関の管理者		

(※1) 対象者については、平成18年10月1日午前0時現在の医療機関の入院患者のうち、医療療養病床（介護保険移行準備病床を含む）、介護療養病床（経過型介護療養型医療施設を含む）それぞれにおける誕生日が3月、6月、9月、12月の全患者とする。



「療養病床アンケート調査」 ご協力をお願い

今般の医療制度改革においては、いわゆる社会的入院の是正を図り、患者の状態に応じた施設の適切な役割分担の推進を図るため、医療保険適応の療養病床（以下「医療療養病床」という。）及び介護療養型医療施設（以下「介護療養病床」という。）の再編成を実施することとしています。

今後本格化する療養病床の再編成において、病床の円滑な転換に向けた支援を進めるため、各地域においては、その受け皿づくりを含め、将来的なニーズや社会資源の状況等に即した「地域ケア体制」の計画的な整備が求められることとなります。

上記の「地域ケア体制」をさらに推進する観点から、療養病床を有するすべての医療機関に対して、「療養病床の概況」、「医療機関の転換意向」、「療養病床入院患者の状態等」に関するアンケート調査を実施することとなりました。

つきましては、貴医療機関における平成18年10月1日午前0時現在の状況について、本調査票（案）に記入をお願いいたします。本調査票（案）は、「療養病床の概況」、「医療機関の転換意向」については、貴医療機関に関する票（施設票）、「療養病床入院患者の状態等」については貴医療機関に入院されている個々の患者についての調査票（患者票）となっています。

調査票は、平成18年11月〇日までに必着するよう、下記照会先に提出ください。

また、ご記入いただきました調査票（案）については、厳重に取り扱うこととし、上記以外の目的に使用することは一切ありません。また、公表にあたっては、個別の医療機関の状態等が特定できないようにいたします。

なお、記入に際しては別添の記入要領をご参照ください。

以上の趣旨をご理解のうえ、調査にご協力くださいますようお願いいたします。

(照会先)

〇〇都道府県 〇〇部局

担当 〇〇 〇〇

電話 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

FAX 〇〇-〇〇〇〇-〇〇〇〇

E-mail 〇〇〇〇〇〇〇〇〇〇

貴医療機関について、以下(1)～(4)をご記入ください。

(1) 医療機関名	ふりがな
(2) 電話番号	() - () - ()
(3) 所在地	〒 -
(4) 記入者名	所属： 氏名：

(都道府県記入欄)

整理番号

〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇 〇

療養病床の概況について

(1) 病床数及び入院患者数

平成18年10月1日午前0時現在の貴医療機関における病床数及び入院患者数について、それぞれ記入してください。

		① 病床数	② 入院患者数
01 療養病床	1 医療療養病床 (※)	床	人
	2 (再掲) 介護保険移行準備病床	床	人
	3 介護療養病床	床	人
	4 (再掲) 経過型介護療養病床	床	人
02 精神病床	5 老人性認知症疾患治療病床 (医療保険)	床	人
	6 老人性認知症疾患療養病床 (介護保険)	床	人
	7 (再掲) 経過型介護療養病床	床	人

(※) 療養病棟入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料を算定している病床に限る。

(2) 医療区分とADL区分の組み合わせ (医療療養病床)

医療療養病床のみ、それぞれあてはまる入院患者数を記入してください。

	① ADL区分1	② ADL区分2	③ ADL区分3
01 医療区分1	人	人	人
02 医療区分2	人	人	人
03 医療区分3	人	人	人

(3) 要介護度別利用者数 (介護療養病床)

介護療養病床のみ、それぞれあてはまる入院患者数を記入してください。

①要支援1 (経過措置)	②要支援2 (経過措置)	③要介護1	④要介護2	⑤要介護3	⑥要介護4	⑦要介護5
人	人	人	人	人	人	人

(4) 療養病床の建物の構造・築年数等

医療療養病床と介護療養病床が属する病棟の状況について記入してください。

病棟名	①建設年度	②病床数		居室数				⑦廊下幅 (内法)
				③個室	④2人部屋	⑤3人又は 4人部屋	⑥5人以上 部屋	
	1 大正 2 昭和 3 平成	1 医療 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
		2 介護 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
	1 大正 2 昭和 3 平成	3 医療 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
		4 介護 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
	1 大正 2 昭和 3 平成	5 医療 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
		6 介護 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
	1 大正 2 昭和 3 平成	7 医療 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
		8 介護 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
	1 大正 2 昭和 3 平成	9 医療 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
		10 介護 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
	1 大正 2 昭和 3 平成	11 医療 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
		12 介護 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
	1 大正 2 昭和 3 平成	13 医療 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
		14 介護 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
	1 大正 2 昭和 3 平成	15 医療 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
		16 介護 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
	1 大正 2 昭和 3 平成	17 医療 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
		18 介護 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
	1 大正 2 昭和 3 平成	19 医療 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m
		20 介護 療養病床	床	室	室	室	室	1 片廊下 m 2 中廊下 m

(5) 併設施設等の状況

貴医療機関に併設(※)している施設(事業所)について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

01 併設なし
02 病院
03 診療所
04 介護老人保健施設
05 特別養護老人ホーム
06 有料老人ホーム
07 軽費老人ホーム(ケアハウス)
08 グループホーム
09 通所介護事業所(認知症対応型通所介護事業所を含む。)
10 通所リハビリテーション事業所
11 訪問看護事業所
12 訪問介護事業所
13 居宅介護支援事業所
14 その他()

※ここでいう「併設」とは、同一敷地内又は隣接若しくは近接する敷地に、同一法人又は関連する法人が開設する各施設・事業所があり、一般に「併設」と呼ばれるような連携がとれている場合を指す。

療養病床の転換意向について

(※転換意向に関しては、現時点での予定を記入してください。なお、記入したことによって、今後の予定を拘束するものではありません。)

(1) 医療療養病床のみ、以下について記入してください。

1. 平成23年度末までの最終的な転換予定(転換先、病床数、転換予定年度)について記入してください。

(2. 平成18年度中の転換を予定している場合のみ、整備区分(※)についてはまる病床数を記入してください。)

		①転換先	②病床数	③転換予定年度	
医療 保険	01	医療療養病床(病院又は診療所)	床	/	
	02	(再掲) 介護保険移行準備病床	床	平成	年度
	03	(再掲) 回復期リハビリテーション病床	床	平成	年度
	04	一般病床	床	平成	年度
	05	(再掲) 障害者施設等入院基本料を算定する病棟	床	平成	年度
	06	(再掲) 回復期リハビリテーション病床	床	平成	年度
	07	老人性認知症疾患治療病床	床	平成	年度
	08	診療所(無床)		平成	年度
介護 保険	09	介護療養病床(病院又は診療所)	床	平成	年度
	10	(再掲) 経過型介護療養病床	床	平成	年度
	11	老人性認知症疾患療養病床	床	平成	年度
	12	介護老人保健施設	床	平成	年度
	13	特別養護老人ホーム	床	平成	年度
	14	有料老人ホーム	床	平成	年度
	15	軽費老人ホーム(ケアハウス)	床	平成	年度
	16	グループホーム	床	平成	年度
その他	17	廃止	床	平成	年度
	18	その他()	床	平成	年度
	19	未定	床	/	

整備区分(※)				
①創設	②改築	③改修	④その他	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	

(2) 介護療養病床のみ、以下について記入してください。

1. 平成23年度末までの最終的な転換予定(転換先、病床数、転換予定年度)について記入してください。

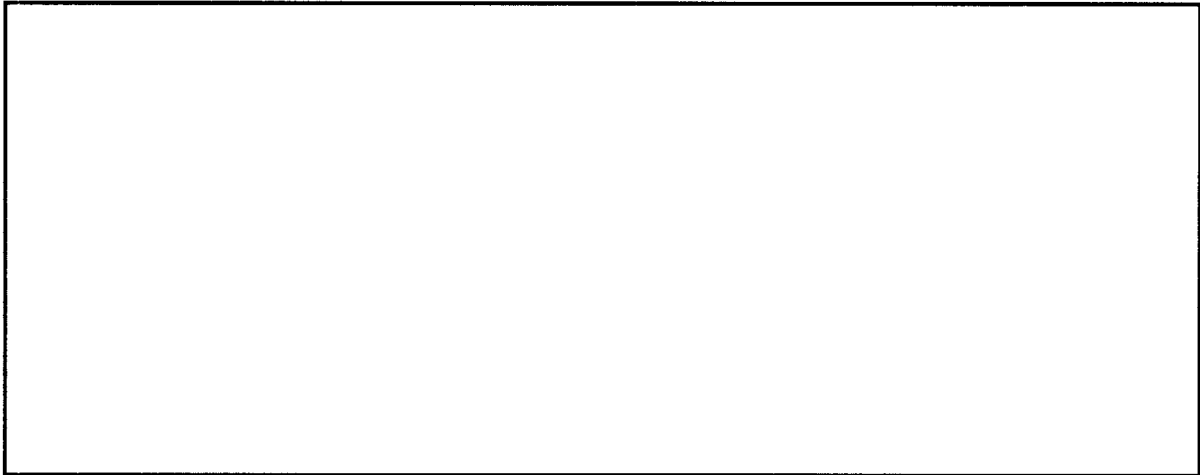
(2. 平成18年度中の転換を予定している場合のみ、整備区分(※)についてはまる病床数を記入してください。)

		①転換先	②病床数	③転換予定年度	
医療 保険	01	医療療養病床(病院又は診療所)	床	平成	年度
	02	(再掲) 介護保険移行準備病床	床	平成	年度
	03	(再掲) 回復期リハビリテーション病床	床	平成	年度
	04	一般病床	床	平成	年度
	05	(再掲) 障害者施設等入院基本料を算定する病棟	床	平成	年度
	06	(再掲) 回復期リハビリテーション病床	床	平成	年度
	07	老人性認知症疾患治療病床	床	平成	年度
	08	診療所(無床)		平成	年度
介護 保険	09	介護療養病床(病院又は診療所)	床	/	
	10	(再掲) 経過型介護療養病床	床	平成	年度
	11	老人性認知症疾患療養病床	床	平成	年度
	12	介護老人保健施設	床	平成	年度
	13	特別養護老人ホーム	床	平成	年度
	14	有料老人ホーム	床	平成	年度
	15	軽費老人ホーム(ケアハウス)	床	平成	年度
	16	グループホーム	床	平成	年度
その他	17	廃止	床	平成	年度
	18	その他()	床	平成	年度
	19	未定	床	/	

整備区分(※)				
①創設	②改築	③改修	④その他	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	
床	床	床	床	

(※) 整備区分欄には、次に該当するものを記入すること。
 「創設」：既存の療養病床を有する施設を取り壊さず、新たに施設を整備すること。
 「改築」：既存の療養病床を有する施設を取り壊して、新たに施設を整備すること。
 「改修」：既存の療養病床を有する施設を本体の躯体工事に及ばない屋内改修(壁撤去等)で工事を伴うものであること。
 「その他」：工事を伴わない転換を行う場合であること。

(3) 療養病床転換全般についてのご意見等がありましたらご記入ください。(自由記載)



ご協力ありがとうございました。

療養病床入院患者の状態等について

患者票

平成18年10月1日午前0時現在の貴医療機関の入院患者のうち、医療療養病床（介護保険移行準備病床を含む。また、療養病床入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料を算定している病床に限る。）、介護療養病床（経過型介護療養病床を含む）それぞれ誕生月が3月、6月、9月、12月の全患者を選び、1人につき1枚ずつ記入してください。なお、できるだけ不明の回答が少なくなるよう、必要に応じて本人・家族等に確認して記入してください。

患者票の連番									
--------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

(1) 生年月について記入してください。

01 生年月	1 明治・2 大正・3 昭和・4 平成	年	月
--------	---------------------	---	---

(2) 以下の02～16について、それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

02 入院病床	1 医療療養病床 (介護保険移行準備病床を含む。)	2 介護療養病床 (経過型介護療養病床を含む。)
03 主傷病名 (医師の判断に基づく。)	1 脳梗塞 2 脳出血 3 骨折	4 認知症 5 心疾患
	6 パーキンソン病 7 悪性新生物 8 糖尿病	9 うつ 10 褥瘡 11 その他
04 性別	1 男 2 女	
05 医療区分	1 医療区分1 2 医療区分2 3 医療区分3 4 未実施	
06 ADL区分	1 ADL区分1 2 ADL区分2 3 ADL区分3 4 未実施	
07 要介護状態等区分	1 認定されていない 2 要支援1 3 要支援2 4 経過的要介護 5 要介護1	
	6 要介護2 7 要介護3 8 要介護4 9 要介護5 10 不明	
08 認知症高齢者の日常生活自立度	1 自立 2 I 3 IIa 4 IIb 5 IIIa	
	6 IIIb 7 IV 8 M 9 不明・未実施	
09 障害高齢者の日常生活自立度	1 自立 2 J1 3 J2 4 A1 5 A2	
	6 B1 7 B2 8 C1 9 C2 10 不明・未実施	
10 世帯の状況	1 単身世帯 2 高齢者のみの世帯 (単身世帯を除く。)	3 その他の世帯 4 不明
11 住居の状況	1 なし 2 自宅 (借家を含む。)	3 介護老人保健施設、特別養護老人ホーム、有料老人ホーム等からの一時的な入院
	4 その他 5 不明	
12 自宅での介護者の有無	1 日中、夜間とも介護できる人がいる	2 日中のみ、介護ができる人がいる
	3 夜間のみ、介護ができる人がいる	4 日中、夜間とも介護ができない人がいない (介護者が病気等により介護できない場合も含む。)
	5 その他 6 不明	
13 特別養護老人ホームの申込みの有無	1 なし 2 あり 3 不明	
14 介護老人保健施設の申込みの有無	1 なし 2 あり 3 不明	
15 所得状況	医療療養病床に入院している方	
	1 低所得Ⅰ① 2 低所得Ⅰ② 3 低所得Ⅱ 4 その他 5 不明	
16 所得状況	介護療養病床に入院している方	
	1 利用者負担第1段階 2 利用者負担第2段階 3 利用者負担第3段階	4 その他 5 不明

(3) 以下の17～19について、あてはまるものすべてに○をつけてください。

17 医療処置 (9月中に行われた処置。5,6については既に行われたものを含む。)	1 喀痰吸引 2 経管栄養 3 モニター測定 (心拍、血圧、酸素飽和度)	4 酸素療法
	5 気管切開 6 人工肛門 7 膀胱カテーテル 8 点滴 9 褥瘡処置(Ⅲ度以上)	
	10 疼痛管理 11 透析 12 その他	
18 3ヶ月以内の急性増悪の有無(急性期病院への転院等)	1 なし 2 あり 3 不明	
19 それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性等を踏まえて、対応が望ましいと考えられる施設等	1 一般病床 2 医療療養病床 3 介護療養病床 4 介護老人保健施設	
	5 特別養護老人ホーム 6 有料老人ホーム 7 軽費老人ホーム(ケアハウス)	8 グループホーム 9 在宅 10 その他

ご協力ありがとうございました。

(都道府県記入欄)

整理番号									
------	--	--	--	--	--	--	--	--	--

「療養病床アンケート調査」記入要領

「療養病床アンケート調査」にご協力いただきありがとうございます。記入に際しては、以下の要領を参照のうえ、誤りのないように記入してください。

I 記入上の注意

- 1 記入文字は、黒（青）インク又は黒（青）ボールペンを使って、かい書ではっきり記入してください。
- 2 数字はすべて算用数字で記入し、計上する数字のない場合は記入しないでください。
- 3 ○をつける質問は、該当する番号を○で囲んでください。（例 ① 医療療養病床）

II 主な調査事項の記入要領

本票は施設票と患者票があります。以下を参照し、断りのない限り平成18年10月1日午前0時現在の状況について記入してください。施設票は施設ごとに1部、患者票は患者ごとに1枚（足りない場合はコピーしてください）記入してください。

施設票

基本情報
(表紙(1)～(4))

法人名を含んだ貴医療機関名、電話番号、所在地を記入してください。後日、調査事項について照会させていただく場合もございますので、調査票に記入した方の所属、氏名を記入してください。

※（都道府県記入欄）については、各都道府県において記入するものですので、各医療機関において記入する必要はありません。

療養病床の概況について

(1) 病床数及び入院患者数

以下を参照し、あてはまる病床数及び入院患者数について記入してください。

1 医療療養病床	病院又は診療所における医療保険適用の療養病床をいいます。なお、療養病床入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料を算定している病床に限ります。
2 介護保険移行準備病床	1のうち、介護保険移行準備病床棟の病床をいいます。
3 介護療養病床	病院又は診療所における介護保険適用の療養病床をいいます。
4 経過型介護療養病床	3のうち、経過型介護療養型医療施設の病床をいいます。
5 老人性認知症疾患治療病床（医療保険）	医療保険における老人性認知症疾患治療病床棟の病床をいいます。
6 老人性認知症疾患療養病床（介護保険）	介護保険における老人性認知症疾患療養病床棟の病床をいいます。
7 経過型介護療養病床	6のうち、経過型介護療養型医療施設の病床をいいます。

(2) 医療区分とADL区分の組み合わせ（医療療養病床）

医療療養病床のみ、各医療区分1～3、ADL区分1～3の入院患者について、それぞれあてはまる人数を記入してください。
「診療報酬の算定方法の制定等に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について（平成18年6月30日保医発第0630001号）における「医療区分・ADL区分に係る評価票 評価の手引き」に基づく医療区分、ADL区分について記入してください。

(3) 要介護度別利用者数(介護療養病床)	<p>介護療養病床のみ、要介護度別の入院患者数を記入してください。 なお、要支援1(経過措置)、要支援2(経過措置)とは、平成18年4月以降の所要介護状態等区分において要支援1又は要支援2と認定された方のうち、法律上経過的に3年間の間に限り施設サービスを受けることができるとされた方です。</p>													
(4) 療養病床の建物の構造・築年数等	<p>以下を参照し、病棟ごとにあてはまるものを記入してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>病棟名</td> <td>貴医療機関における固有の名称を記入してください。(例：東2病棟)</td> </tr> <tr> <td>① 建築年度</td> <td>当該病棟についての建設年度について記入してください。</td> </tr> <tr> <td>② 病床数</td> <td>医療療養病床又は介護療養病床のうちあてはまる病床に○をつけたうえで、病床数を記入してください。医療療養病床及び介護療養病床をともに有する場合は、両方について記入してください。</td> </tr> <tr> <td>③ 個室</td> <td rowspan="4">③から⑥の各病室の室数を室定員規模別に記入してください。</td> </tr> <tr> <td>④ 2人部屋</td> </tr> <tr> <td>⑤ 3人又は4人部屋</td> </tr> <tr> <td>⑥ 5人以上部屋</td> </tr> <tr> <td>⑦ 廊下幅(内法)</td> <td>片廊下又は中廊下のうちあてはまるものに○をつけた上で記入してください。片廊下及び中廊下をともに有する場合は、両方について記入してください。複数の幅がある場合はもっとも狭い幅について記入してください。</td> </tr> </table>	病棟名	貴医療機関における固有の名称を記入してください。(例：東2病棟)	① 建築年度	当該病棟についての建設年度について記入してください。	② 病床数	医療療養病床又は介護療養病床のうちあてはまる病床に○をつけたうえで、病床数を記入してください。医療療養病床及び介護療養病床をともに有する場合は、両方について記入してください。	③ 個室	③から⑥の各病室の室数を室定員規模別に記入してください。	④ 2人部屋	⑤ 3人又は4人部屋	⑥ 5人以上部屋	⑦ 廊下幅(内法)	片廊下又は中廊下のうちあてはまるものに○をつけた上で記入してください。片廊下及び中廊下をともに有する場合は、両方について記入してください。複数の幅がある場合はもっとも狭い幅について記入してください。
病棟名	貴医療機関における固有の名称を記入してください。(例：東2病棟)													
① 建築年度	当該病棟についての建設年度について記入してください。													
② 病床数	医療療養病床又は介護療養病床のうちあてはまる病床に○をつけたうえで、病床数を記入してください。医療療養病床及び介護療養病床をともに有する場合は、両方について記入してください。													
③ 個室	③から⑥の各病室の室数を室定員規模別に記入してください。													
④ 2人部屋														
⑤ 3人又は4人部屋														
⑥ 5人以上部屋														
⑦ 廊下幅(内法)	片廊下又は中廊下のうちあてはまるものに○をつけた上で記入してください。片廊下及び中廊下をともに有する場合は、両方について記入してください。複数の幅がある場合はもっとも狭い幅について記入してください。													
(5) 併設施設等の状況	<p>併設している施設(事業所)について、あてはまるものすべてに○をつけてください。 01から13にあてはまらないものはすべて14とし、()内に具体内容を記入してください。 なお、「併設」とは、同一敷地内又は隣接若しくは近接する敷地に、同一法人又は関連する法人が開設する各施設・事業所があり、一般に「併設」と呼ばれるような連携がとれている場合を指します。</p>													

療養病床の転換意向について

(1) 医療療養病床のみ	<p>(1) 医療療養病床における今後の転換予定、(2) 介護療養病床における今後の転換予定について、貴医療機関においてあてはまるものを記入してください。(転換意向に関しては、現時点での予定を記入してください。なお、記入したことによって、今後の予定を拘束するものではありません。)</p> <p>1. 平成23年度末までに複数の転換先がある場合には、最終的な転換先について記入してください。未定の場合は19を選択してください。また、(2)において介護療養病床のまま平成23年度末まで維持する場合は、「09 介護療養病床(病院又は診療所)」を選択してください。 なお、特別養護老人ホームに転換する場合は、社会福祉法人格が必要です。</p> <p>2. 整備区分欄には、次に該当するものを記入してください。 「創設」：既存の療養病床を有する施設を取り壊さずに、新たに施設を整備すること。 「改築」：既存の療養病床を有する施設を取り壊して、新たに施設を整備すること。 「改修」：既存の療養病床を有する施設を本体の躯体工事に及ばない屋内改修(壁撤去等)で工事を伴うものであること。 「その他」：工事を伴わない転換を行う場合であること。</p>
(2) 介護療養病床のみ	
(3) 療養病床転換全般についてのご意見等	療養病床転換全般についてのご意見等がありましたらご自由に記入してください。

患者票

療養病床入院患者の状態等について

平成18年10月1日午前0時現在の貴医療機関の入院患者のうち、医療療養病床（介護保険移行準備病床を含む。また、療養病床入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料を算定している病床に限る。）、介護療養病床（経過型介護療養病床を含む）それぞれ誕生月が3月、6月、9月、12月の全患者を選び、1人につき1枚ずつ記入してください。なお、できるだけ不明の回答が少なくなるよう、必要に応じて本人・家族等に確認して記入してください。また、すべての票に通して001から連番号をつけてください。

(1) 生年月

生年月について記入してください。

(2) それぞれあてはまるもの1つに○をつけてください。

02 入院病床	あてはまる病床に○をつけてください。 医療療養病床は、介護保険移行準備病床を含みます。また、療養病床入院基本料又は有床診療所療養病床入院基本料を算定している病床に限ります。 介護療養病床は、経過型介護療養病床を含みます。 なお、精神病床については対象としません。			
03 主傷病名	医師の判断に基づいた、入院を必要としている状態の原因となっている病名のうちもっとも重大なものに○をつけてください。なお、入院時ではなく平成18年10月1日現在における主傷病名としてください。			
04 性別	あてはまる性別に○をつけてください。			
05 医療区分	「診療報酬の算定方法の制定等に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について」（平成18年6月30日保医発第0630001号）における「医療区分・ADL区分に係る評価票評価の手引き」に基づき、あてはまる医療区分に○をつけてください。また、確認していない場合は未実施に○をつけてください。			
06 ADL区分	「診療報酬の算定方法の制定等に伴う実施上の留意事項について」等の一部改正について」（平成18年6月30日保医発第0630001号）における「医療区分・ADL区分に係る評価票評価の手引き」に基づき、あてはまるADL区分に○をつけてください。また、確認していない場合は未実施に○をつけてください。			
07 要介護状態等区分	あてはまる要介護状態等区分に○をつけてください。 なお、介護療養病床における要支援1、要支援2とは、平成18年4月以降の新たな介護状態等区分において要支援1又は要支援2と認定された方のうち、法律上経過的に3年間の間限り施設サービスを受けることができる（経過措置）とされた方をいいます。			
08 認知症高齢者の日常生活自立度	以下の分類に基づき、あてはまるものに○をつけてください。			
	ランク	判断基準	見られる症状・行動の例	判断にあたっての留意事項及び提供されるサービスの例
	I	何らかの認知症を有するが、日常生活は家庭内及び社会的にはほぼ自立している。		在宅生活が基本であり、一人暮らしも可能である。相談、指導等を実施することにより、症状の改善や進行の阻止を図る。
	II	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが多少見られても、誰かが注意していれば自立できる。		在宅生活が基本であるが、一人暮らしは困難な場合もあるので、日中の居宅サービスを利用することにより、在宅生活の支援と症状の改善及び進行の阻止を図る。
	II a	家庭外で上記IIの状態がみられる。	たびたび道に迷うとか、買物や事務、金銭管理等それまでできたことにミスが目立つ等	
	II b	家庭内でも上記IIの状態がみられる。	服薬管理ができない、電話の応対や訪問者との対応などひとりで留守番ができない等	
	III	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがときどき見られ、介護を必要とする。		日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さがランクIIより重度となり、介護が必要となる状態である。「ときどき」とはどのくらいの頻度を指すかについては、症状・行動の種類等により異なるので一概には決められないが、一時も目を離せない状態ではない。
	III a	日中を中心として上記IIIの状態が見られる。	着替え、食事、排便・排尿が上手にできない・時間がかかるやたらに物を口に入れる、物を拾い集める、徘徊、失禁、大声・奇声をあげる、火の不始末、不潔行為、性的異常行為等	在宅生活が基本であるが、一人暮らしは困難であるので、夜間の利用も含めた居宅サービスを利用しこれらのサービスを組み合わせることによる在宅での対応を図る。
	III b	夜間を中心として上記IIIの状態が見られる。	ランクIII aに同じ	
IV	日常生活に支障を来すような症状・行動や意思疎通の困難さが顕著に見られ、常に介護を必要とする。	ランクIIIに同じ	常に目を離すことができない状態である。症状・行動はランクIIIと同じであるが、頻度の違いにより区分される。 家族の介護力等の在宅基盤の強弱により居宅サービスを利用しながら在宅生活を続けるか、または特別養護老人ホーム・老人保健施設等の施設サービスを利用するかを選択する。施設サービスを選択する場合には、施設の特徴を踏まえた選択を行う。	
M	著しい精神症状や周辺症状あるいは重篤な身体疾患が見られ、専門医療を必要とする。	せん妄、妄想、興奮、自傷・他害等の精神症状や精神症状に起因する問題行動が継続する状態等	ランクI～IVと判定されていた高齢者が、精神病院や認知症専門棟を有する老人保健施設等での治療が必要となったり、重篤な身体疾患が見られ老人病院等での治療が必要となった状態である。専門医療機関を受診するよう勧める必要がある。	

09 障害高齢者の日常生活自立度	以下の分類に基づき、あてはまるものに○をつけてください。		
	生活自立	ランク J	何らかの障害等を有するが、日常生活はほぼ自立しており独力で外出する 1. 交通機関等を利用して外出する 2. 隣近所へなら外出する
	準寝たきり	ランク A	屋内での生活は概ね自立しているが、介助なしには外出しない 1. 介助により外出し、日中はほとんどベッドから離れて生活する 2. 外出の頻度が少なく、日中も寝たり起きたりの生活をしている
	寝たきり	ランク B	屋内での生活は何らかの介助を要し、日中もベッド上での生活が主体であるが、座位を保つ 1. 車いすに移乗し、食事、排泄はベッドから離れて行う 2. 介助により車いすに移乗する
ランク C		1日中ベッド上で過ごし、排泄、食事、着替において介助を要する 1. 自力で寝返りをうつ 2. 自力では寝返りもうたない	
10 世帯の状況	あてはまる世帯の状況に○をつけてください。 なお、高齢者とは、65歳以上の者をいいます。		
11 住居の状況	あてはまる住居の状況に○をつけてください。		
12 自宅での介護者の有無	患者が自宅に帰った場合における介護に従事する家族等の介護者の有無について、あてはまるものに○をつけてください。 なお、日中とは、おおむね午前6時から午後6時、夜間とはおおむね午後6時から午前6時の間とします。		
13 特別養護老人ホームの申込みの有無	特別養護老人ホーム（介護老人福祉施設）の入所申込みの有無について、あてはまるものに○をつけてください。		
14 介護老人保健施設の申込みの有無	介護老人保健施設の入所申込みの有無について、あてはまるものに○をつけてください。		
15 所得状況（医療療養病床に入院している方）	医療療養病床に入院している方の所得状況について、あてはまるものに○をつけてください。 なお、各分類についてはそれぞれ以下の方をいいます。 低所得者Ⅰ①：市町村民税世帯非課税の老齢福祉年金受給者 低所得者Ⅰ②：市町村民税世帯非課税であって、課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方 生活保護法の要保護者であって、低所得者Ⅰ②の適用を受けることにより、被保護者とならない方 低所得者Ⅱ：市町村民税世帯非課税であって、低所得者Ⅰ①又は低所得者Ⅰ②でない方 生活保護法の要保護者であって、低所得者Ⅱの適用を受けることにより、被保護者とならない方 その他：上記以外の者		
16 所得状況（介護療養病床に入院している方）	介護療養病床に入院している方の所得状況について、あてはまるものに○をつけてください。 なお、各分類についてはそれぞれ以下の方をいいます。 利用者負担第1段階：市町村民税世帯非課税の老齢福祉年金受給者、生活保護受給者 利用者負担第2段階：市町村民税世帯非課税であって、課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以下の方 利用者負担第3段階：市町村民税世帯非課税であって、課税年金収入額と合計所得金額の合計が80万円以上で利用者負担第1段階、第2段階以外の方 その他：上記以外の者		
(3) それぞれあてはまるものすべてに○をつけてください。	17 医療処置	9月中に行われた処置について、あてはまるものすべてに○をつけてください。 5 気管切開、6 人工肛門については、既に行われたものに対する処置を含みます。 なお、褥瘡処置（Ⅲ度以上）とは、皮下組織に至る褥瘡（筋肉、骨等に至る褥瘡を含む）（NPUAP分類Ⅲ度及びⅣ度）に対して処置を行った場合をいいます。	
	18 3ヶ月以内の急性増悪の有無（急性期病院への転院等）	貴院の入院患者で、7月以降に急性増悪により急性期病院への転院、一般病床への転棟などがあり、治癒後再度貴院へ入院した経過の有無について、あてはまるものに○をつけてください。	
	19 それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性等を踏まえて、対応が望ましいと考えられる施設等	それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性等を踏まえて、対応が望ましいと考えられる施設等について、あてはまるものに○をつけてください。その際、地域にこれらの施設等が存在していると仮定して記入してください。 なお、継続入院が望ましいと考えられる場合には、「2 医療療養病床」又は「3 介護療養病床」に○をつけてください。	

「療養病床アンケート調査」患者票における医療処置の定義について

○記入に際しては、9月中に行われた医療処置についてそれぞれ以下の通り取り扱うこととします。

1	喀痰吸引	ネラトンカテーテル、吸引器等を使用して喀痰吸引を行った場合をいいます。
2	経管栄養	鼻腔栄養、胃ろう、腸ろう等により栄養処置を行った場合をいいます。
3	モニター測定 (心拍、血圧、酸素飽和度)	継続して心拍、血圧、酸素飽和度を測定している場合をいいます。 なお、 <u>健康管理上の朝夕の血圧測定等は含みません。</u>
4	酸素療法	鼻カニューラ、酸素マスク等により酸素吸入を行った場合をいいます。
5	気管切開	気管切開を行った場合をいいます。 (既に処置を行われていた場合を含みます。)
6	人工肛門	人工肛門を造設した場合をいいます。 (既に処置を行われていた場合を含みます。)
7	膀胱カテーテル	留置カテーテルの設置、カテーテル挿入による導尿等を行った場合をいいます。
8	点滴	<u>中心静脈点滴</u> を行った場合をいいます。 なお、末梢静脈点滴は含みません。
9	褥瘡処置 (Ⅲ度以上)	皮下組織に至る褥瘡(筋肉、骨等に至る褥瘡を含む)(NPUAP分類Ⅲ度及びⅣ度)に対して処置を行った場合をいいます。
10	疼痛管理	<u>オピオイド(麻薬系鎮痛薬)</u> 等を使用し疼痛管理を行った場合をいいます。
11	透析	血液透析及び腹膜透析を行った場合をいいます。
12	その他	薬剤内服等の上記以外の医療処置を行った場合をいいます。

留意事項

1. 施設票集計における医療療養病床の病床数と入院者数は回復期リハビリテーション管理料算定病床及び当該病床入院者を除いたものである。
2. %の値は小数第二位での四捨五入のため、計が100%にならない場合がある。
3. 複数回答設問では、各選択肢に該当する数の合計と全体の数は一致しない。また、各選択肢についての構成比は全体の数に占める割合であるため、合計は100%にならない。
4. 「無回答等」には、1) 無回答、2) 単一回答の設問における複数回答が含まれる。
5. 患者票入院病床別集計における「全体」は入院病床が不明であった患者も含むため、医療療養病床入院者数と介護療養病床入院者数の合計は全体の数と一致しない。

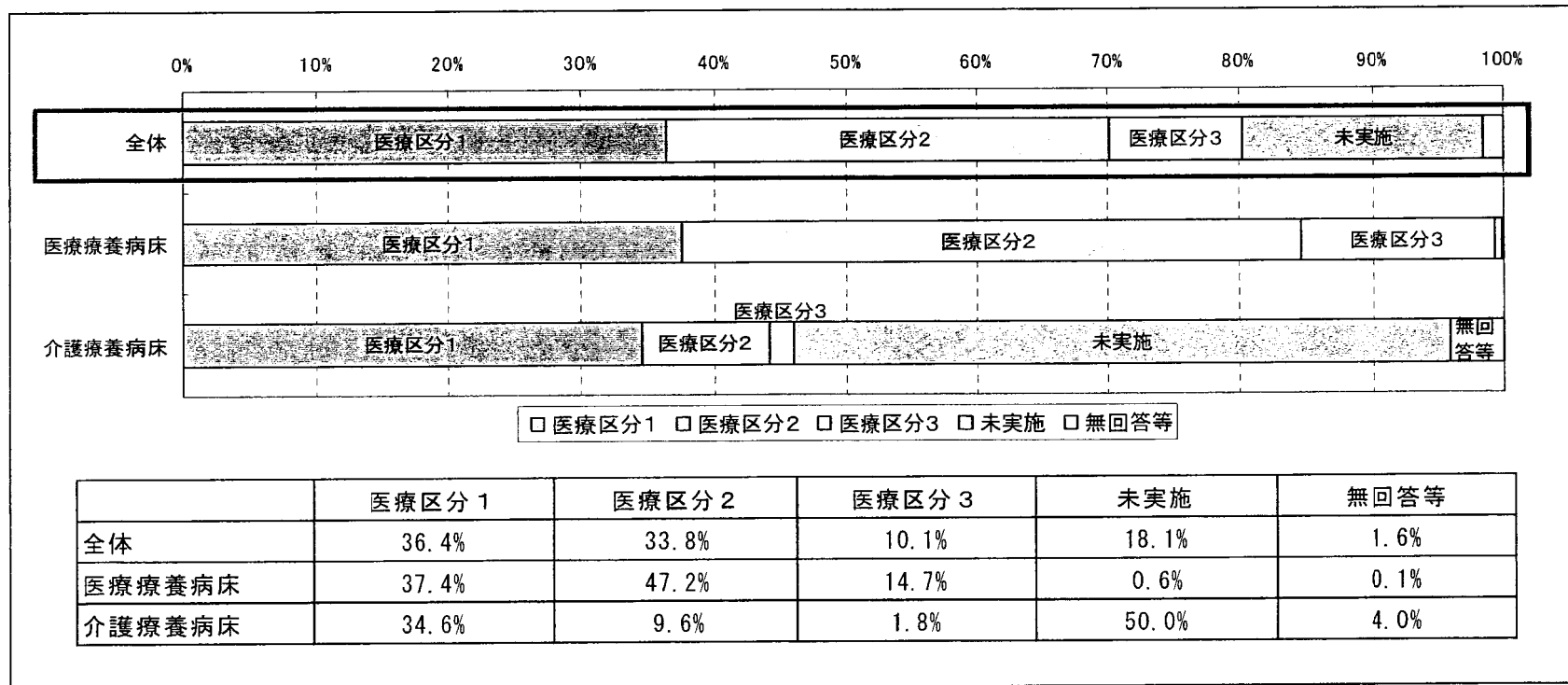
療養病床の入院患者の状態像と 必要なケアについて

1. 療養病床入院患者の状況

(1) 医療区分の状況

○ 療養病床に入院している患者の医療区分については、医療区分1が36.4%、医療区分2が33.8%、医療区分3が10.1%、未実施が18.1%となっている。

療養病床に入院している患者の医療区分毎の割合

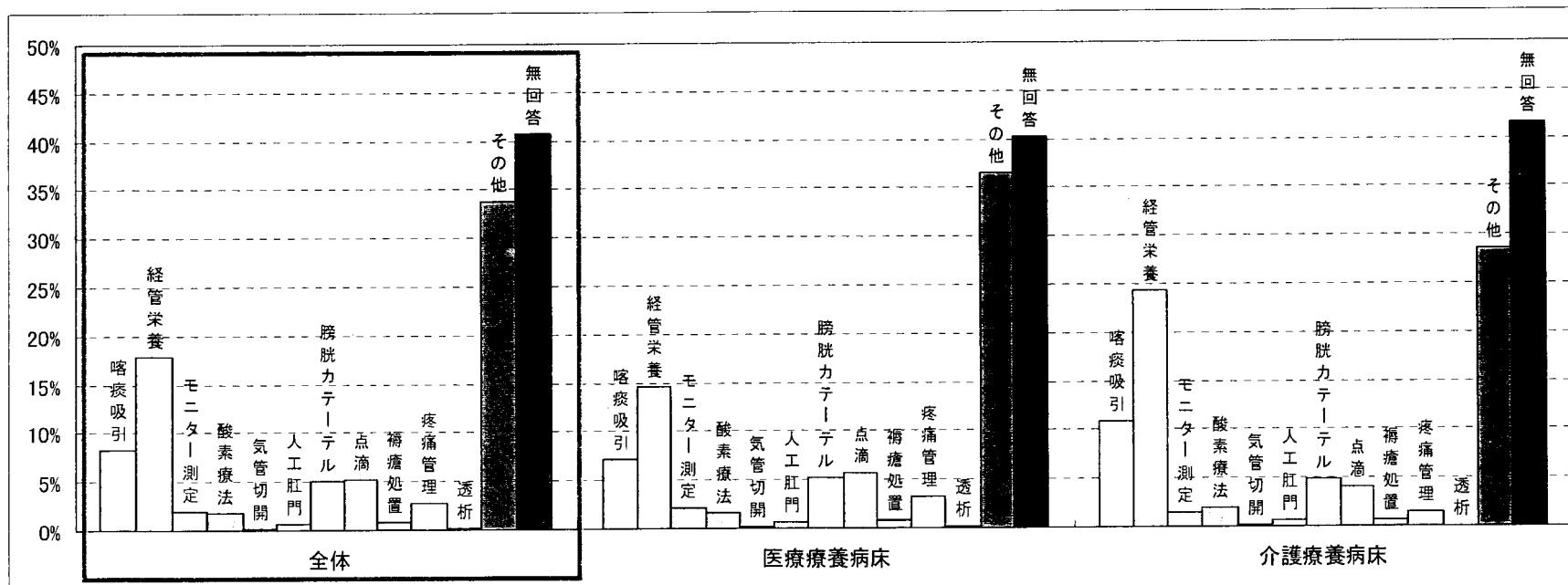


【資料】療養病床アンケート調査（平成19年3月厚生労働省）

(2) 医療区分1の患者に対する医療処置の状況

- 医療区分1の患者に対して1ヶ月間に行われた医療処置を多い順からみると、経管栄養（17.9%）、喀痰吸引（8.3%）となっている。
- 患者が受けている医療処置の内容を問う質問に対し、40.8%の患者（医療区分1）について無回答であった。

療養病床に入院している医療区分1の者に行われる医療処置



※ 「喀痰吸引」から「その他」までの医療処置については重複回答あり。

(注1) 1日8回以上の「喀痰吸引」は医療区分2と区分される。

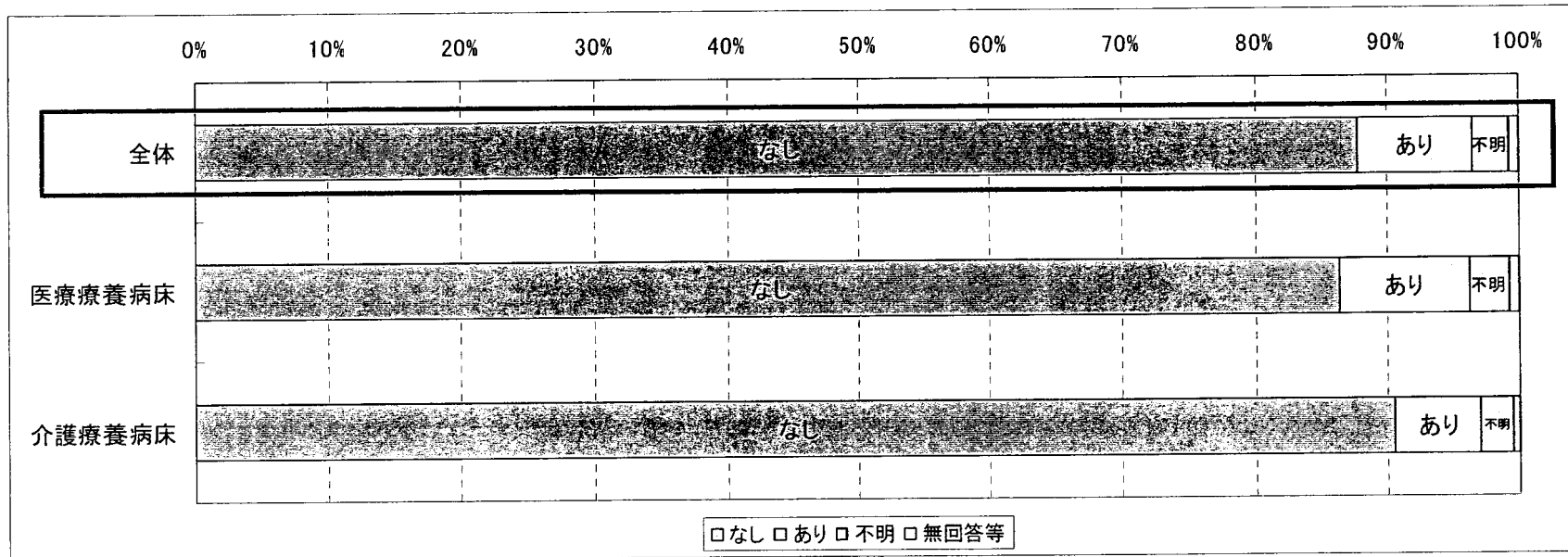
(注2) 発熱又は嘔吐を伴う場合の「経管栄養」(経鼻・胃瘻等)は医療区分2と区分される。

【資料】療養病床アンケート調査(平成19年3月厚生労働省)

(3) 急性増悪の有無

○ 3ヶ月以内に急性増悪があった患者の割合は、1割弱であった。

3ヶ月以内の急性増悪の有無

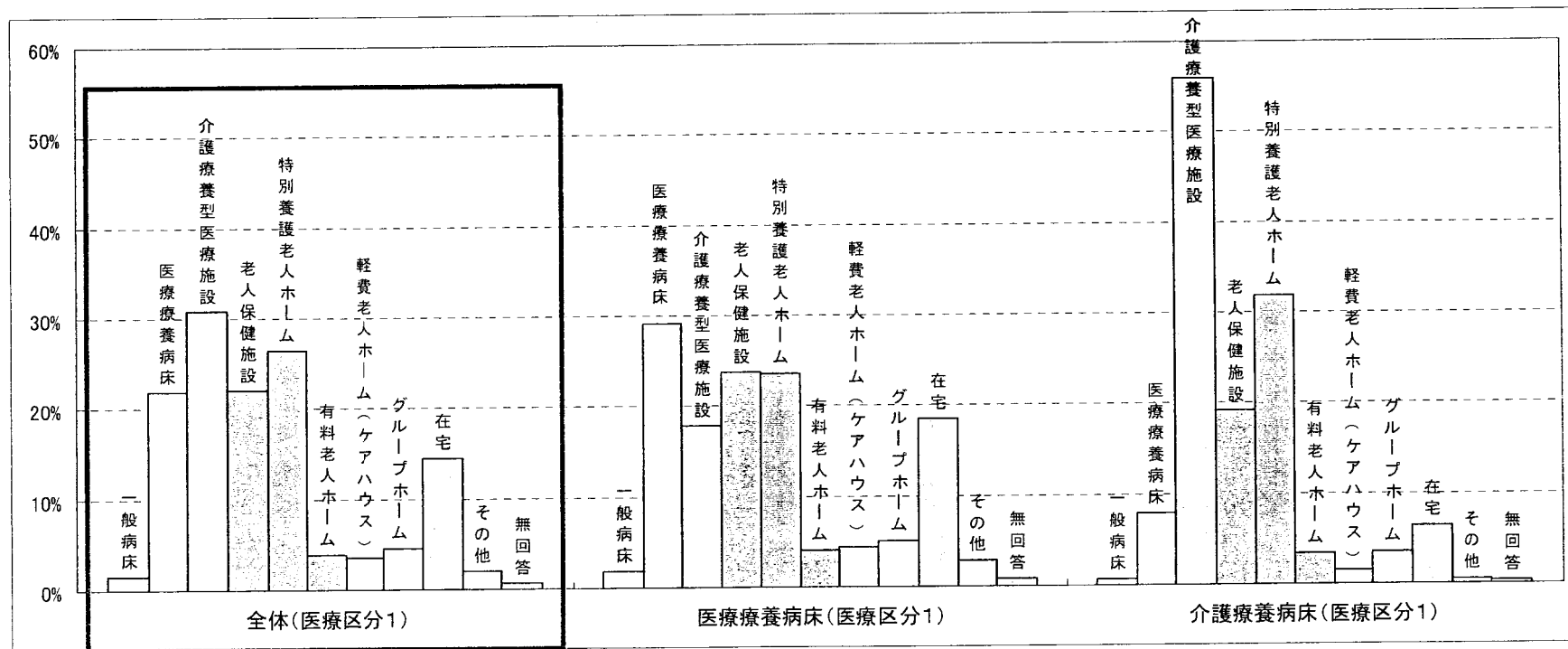


【資料】療養病床アンケート調査（平成19年3月厚生労働省）

(4) 療養病床入院患者にとって対応が望ましいと考えられる施設等(医療区分1)

- それぞれの施設等の機能や、本人の医療や介護の必要性等を踏まえて対応が望ましいと考えられる施設等については、医療区分1の患者の場合、
- ① 療養病床(医療療養病床、介護療養型医療施設)が約5割
 - ② 特別養護老人ホーム、老人保健施設等の介護施設等が約5割
 - ③ 在宅が1割強となっている。

療養病床入院患者にとって対応が望ましいと考えられる施設等(医療区分1)



(注) 対応が望ましいと考えられる施設等については、重複回答可となっている。

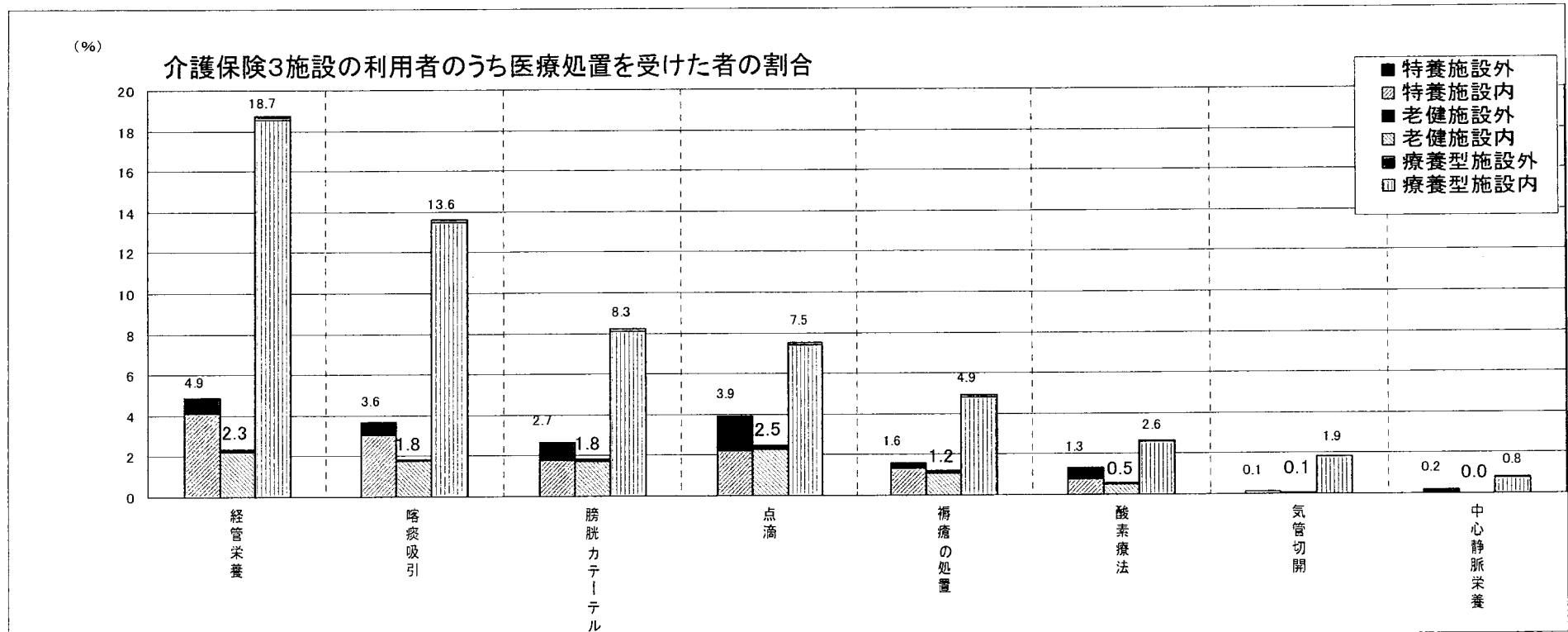
【資料】療養病床アンケート調査(平成19年3月厚生労働省)

2. 現在の介護保険サービスにおける医療等への対応

(1) 介護保険3施設における医療処置への対応

① 介護保険3施設における医療処置の提供状況

- 介護保険3施設における医療処置の提供状況は、施設種別によって違いはあるが、いずれの施設においても、経管栄養、喀痰吸引などの医療処置を実施している。
- 医療処置を受けた者の割合は、
介護療養型医療施設＞特別養護老人ホーム＞老人保健施設 となっている。



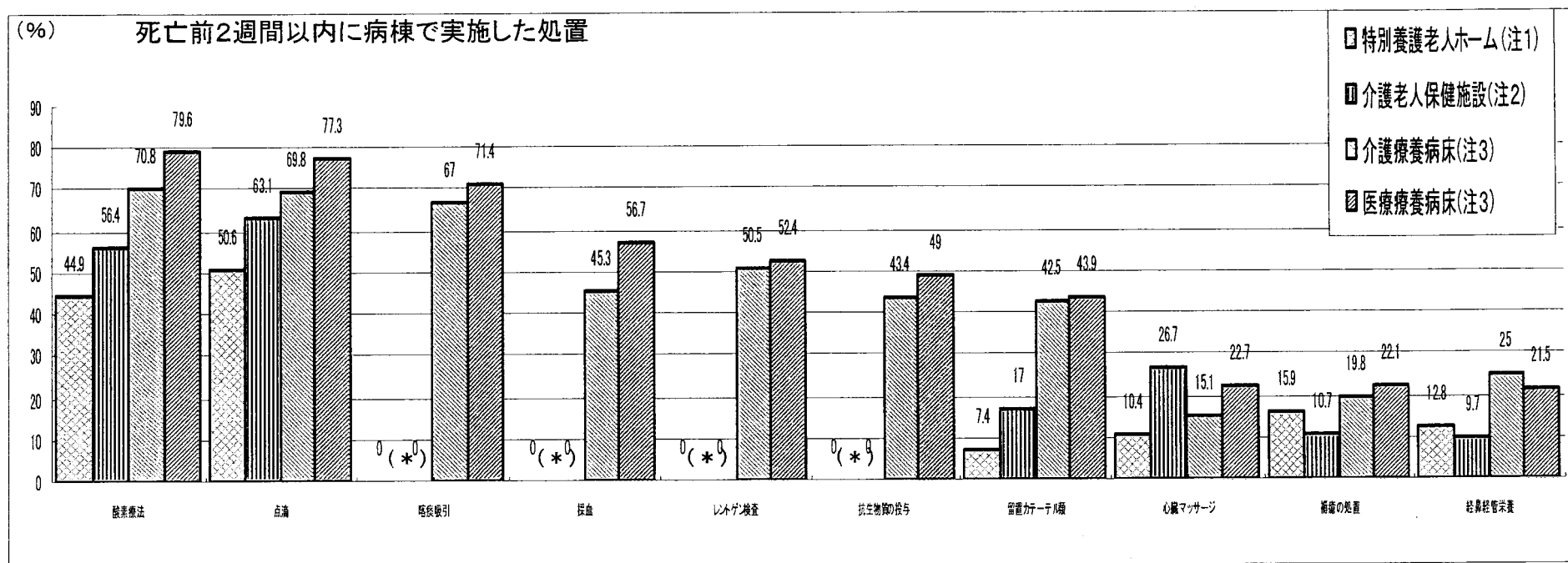
【資料】「介護サービス施設・事業所調査」(厚生労働省大臣官房統計情報部)

注1) 標記グラフは、「他の医療機関での処置を受けた者」又は「施設内で処置を受けた者」を合計した人数を、各介護保険施設の利用者数で除したものの割合を示したものである。なお、「他の医療機関での処置」と「施設内の拠点」の双方を受けた者は重複されている。

注2) 平成13年10月1日時点の抽出調査

②療養病床、特養、老健における死亡前2週間以内に実施した処置の状況

- 患者の死亡前2週間以内に実施した処置の状況は、施設種別によって違いはあるが、いずれの施設においても、酸素療法、点滴などの医療処置を実施している。
- 患者の死亡前2週間以内に実施した処置としては、「酸素療法」、「点滴」、「喀痰吸引」の順に多い。



【資料】

(*)については、調査項目として含まれていなかった項目

(注1) 「特別養護老人ホームにおける終末期の医療・介護に関する調査研究」報告書 平成15年3月医療経済研究機構

(n=1811、調査時点・平成14年11月22日～12月25日)

(注2) 「介護老人保健施設における医療・介護に関する調査研究」報告書 平成16年3月医療経済研究機構

(n=599、調査時点・平成15年12月4日～平成16年2月4日)

(注3) 「療養病床における医療・介護に関する調査」報告書 平成17年3月医療経済研究機構

(医療療養n=353、介護療養n=212、調査時点・平成17年2月23日～年3月18日)

③ 医療サービスの給付財源

- 医療サービスは、施設種別により介護保険又は医療保険から給付される範囲が異なる。
- 経管栄養、喀痰吸引に係る指導管理については、いずれの施設でも介護保険で給付するものとして、介護報酬に包括的に評価されている。

手術・放射線治療 急性増悪時の医療等			
特殊な検査 (例:超音波検査など) 簡単な画像診断 (例:エックス線診断など)	医療保険で給付		
投薬・注射 検査(例:血液・尿など) 処置(例:胸腔穿刺など)		介護保険で給付	
医学的指導管理 (例:経管栄養、喀痰吸引、点滴、褥瘡の処置、酸素療法、 気管切開、中心静脈栄養に係る指導管理など)			
	特別養護老人ホーム	老人保健施設	介護療養型医療施設

(2) 介護保険サービスにおける医療提供体制(特定施設を含む)

① 医師の人員配置

○ 医師の人員配置基準は、 ①介護療養型医療施設は3以上、②老人保健施設は常勤1以上、③特別養護老人ホームは必要数となっている。
○ 実際の配置状況は、 介護療養型医療施設＞老人保健施設＞特別養護老人ホーム となっている。

介護施設等の医師の人員基準と配置状況

		医療療養病床	介護療養型 医療施設	老人保健 施設	特別養護 老人ホーム	特定施設
医師	人員基準 (※1)	3以上 48:1以上(3人)	3以上 48:1以上(3人)	常勤1以上 100:1以上(1人)	必要数 (非常勤可)	—
	配置状況 (※2)	—	6.1	1.2	0.4	—

(※1) ()内は、利用者100人として算出した数

(※2) 定員100人当たりの常勤換算従事者数

【資料】「平成16年介護サービス施設・事業所調査」(厚生労働省大臣官房統計情報部)

② 看護職員の人員配置

- 看護職員の人員基準は、
介護療養型医療施設＞老人保健施設＞特別養護老人ホーム＝特定施設 となっている。
- 実際の配置状況は、
介護療養型医療施設＞老人保健施設＞特定施設＞特別養護老人ホーム となっている。

介護施設等の看護職員の人員基準と配置状況

		医療療養病床	介護療養型 医療施設	老人保健 施設	特別養護 老人ホーム	特定施設
看護 職員	人員基準 (※1)	5:1以上 (20人)	6:1以上 (17人)	看護・介護3:1以上 (看護2/7を標準) (9人)	看護・介護3:1以上 入所者100人の場合 看護3人(3人)	看護・介護3:1以上 入居者100人の場合 看護3人(3人)
	配置状況 (※2)	—	30.5	11.1	4.9	5.9

(※1) ()内は、利用者100人として算出した数

(※2) 定員100人当たりの常勤換算従事者数

【資料】「平成16年介護サービス施設・事業所調査」(厚生労働省大臣官房統計情報部)

③ 夜勤配置

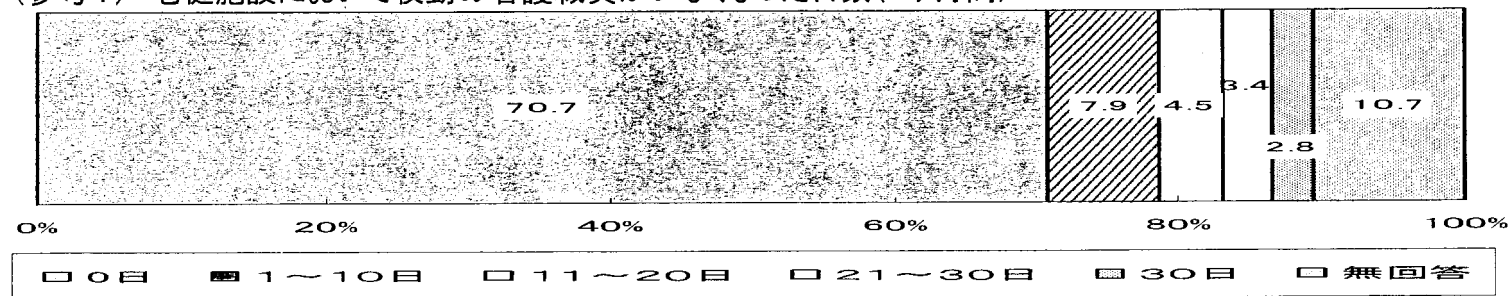
- 看護職員の夜勤が基準で定められているのは、介護療養型医療施設と医療療養病床のみ。
- 老人保健施設では、看護職員による夜勤は基準として定められていないが、実態として7割の施設で毎日看護職員が夜勤をしている。

介護施設等の看護職員の夜勤の状況

	夜勤職員基準	
		うち看護職員
医療療養病床	1病棟につき2以上	1以上
介護療養型医療施設	1病棟につき2以上で、かつ入院患者30人毎に1以上	1以上
老人保健施設	施設につき2以上(40人以下の施設で、常時連絡体制を整備しているものは1以上)	—
特別養護老人ホーム	利用者25人以下:1以上、60人以下:2以上、80人:3以上、100人以下:4以上、100を超えて25を増す毎に1以上	—
グループホーム	1以上(共同生活住居の数が3以上である場合には、2の共同生活住居ごとに1以上)	—
特定施設	常に介護職員1以上	—

(参考1) 老健施設において夜勤の看護職員がいなくなった日数(1ヶ月間)

n=355



【資料】「介護老人保健施設における医療・介護に関する調査研究報告書」(平成16年3月)

(参考2) 介護療養型医療施設の夜勤基準は、病棟当たり1人の夜勤看護職員の配置が必要とされるが、夜勤2人の配置等を評価する加算(夜間勤務等看護(I))の取得率は1%程度となっている。

④ 夜間における看護体制等

- 医療ニーズへの対応の観点から、夜間における看護体制を評価する加算を平成18年改定で創設。
- 当該加算について、特別養護老人ホーム、特定施設、グループホームとも過半数の取得率となっている。

	夜間における看護体制			協力医療機関 (注2)
	加算	加算の要件	加算の 取得率 (注1)	
介護療養型医療施設	—	—	—	—
老人保健施設	—	—	—	○
特別養護老人ホーム	重度化対応加算	・看護職員配置 ・24時間連絡体制の確保 ・看取りに関する指針の策定 等	62.6%	○
特定施設	夜間看護体制加算	・看護職員配置 ・24時間連絡体制の確保 ・重度化した場合の指針の策定 等	56.1%	○
グループホーム	医療連携体制加算	・看護職員配置 ・24時間連絡体制の確保 ・重度化した場合の指針の策定 等	52.4%	○

(注1) 全施設の施設サービス提供日数に対する加算提供日数の割合

(注2) 老人保健施設、特定施設及びグループホームにおいては、利用者の症状の急変等に備え、協力医療機関を定めることとしている。

特別養護老人ホームにおいては、入院治療を必要とする入所者のために、協力病院を定めることとしている。

【資料】「介護給付費実態調査」（厚生労働省大臣官房統計情報部 平成18年10月審査分）

(3)リハビリ等の状況

① 職員配置等の状況

- 理学療法士、作業療法士の人員基準は、
①老人保健施設が100:1以上、②介護療養型医療施設、医療療養病床は適当数となっている。
- 実際の配置状況は
介護療養型医療施設 > 老人保健施設 となっている。

平成16年10月1日

	職種	医療療養病床	介護療養型 医療施設	老人保健施設	特別養護 老人ホーム	認知症高齢者 グループホーム	特定施設
人員基準	理学療法士(PT)、 作業療法士(OT)	PT及びOTが 適当数	PT及びOTが 適当数	PT又はOTが 100:1以上			
	機能訓練指導員				1以上		1以上
従業者数	理学療法士及び 作業療法士	—	3.2	2.0			
	機能訓練指導員				0.9		1.2

※従業者数は、定員100人あたりの常勤換算従業者数

【資料】「平成16年介護サービス施設・事業所調査」(厚生労働省大臣官房統計情報部)

② 介護保険3施設において提供しているリハビリテーション等の状況

○ 入所者のうちリハビリテーション等を受けた者の割合をみると、ほとんどの内容で老人保健施設が多く、運動療法は65.5%となっている。

1ヶ月間にリハビリテーション等を受けた者の割合

平成15年9月 (%)

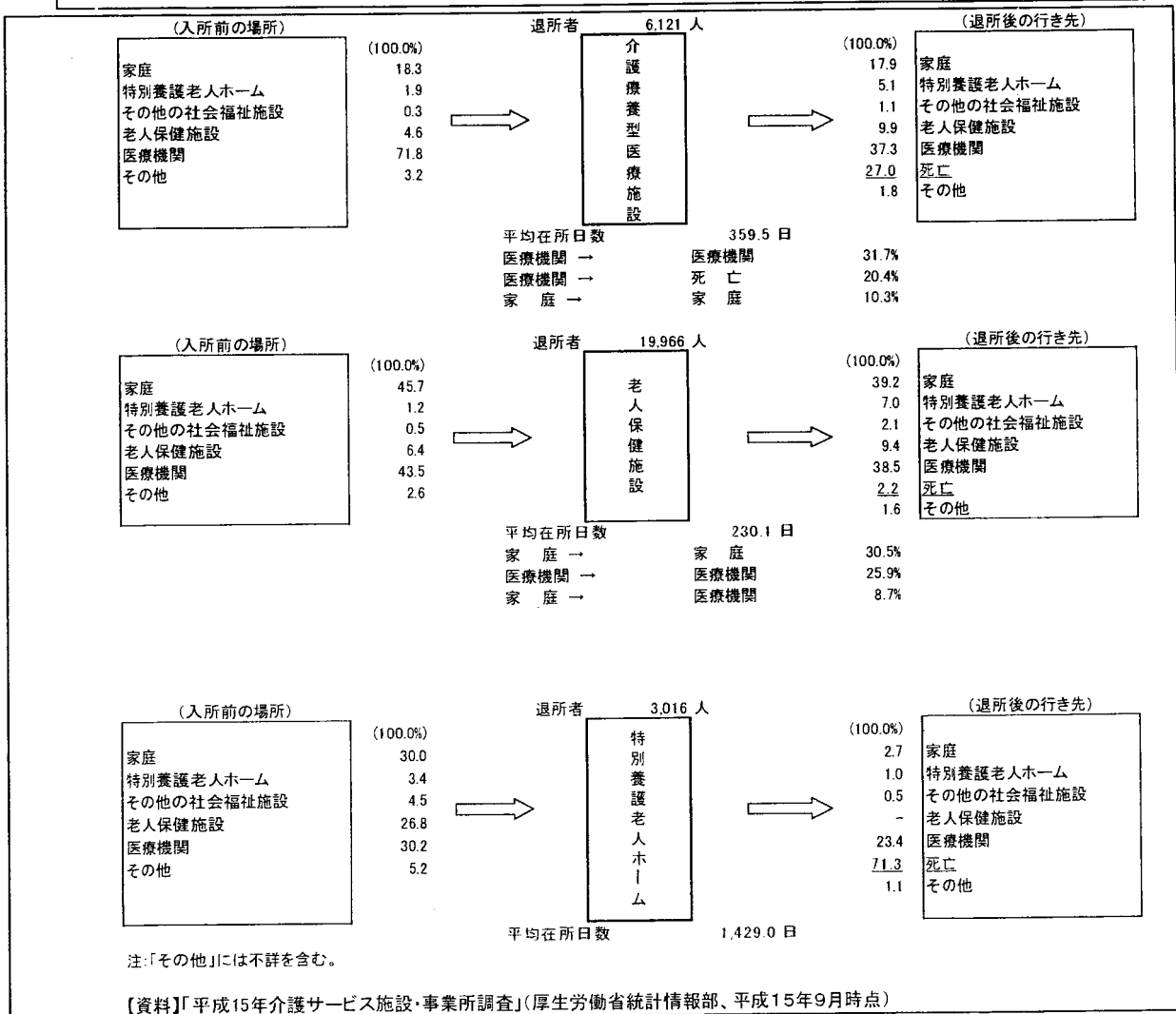
	介護療養型医療施設	老人保健施設	特別養護老人ホーム
運動療法	48.9	65.5	25.9
作業療法	15.9	26.6	6.5
言語療法	9.0	4.6	2.2
物理療法	6.3	19.8	7.5
日常生活動作訓練	15.2	34.8	30.6
レクリエーション	31.5	84.1	60.8

※「を受けた者の割合」とは、入所者のうち、リハビリテーション等を受けた者の割合。

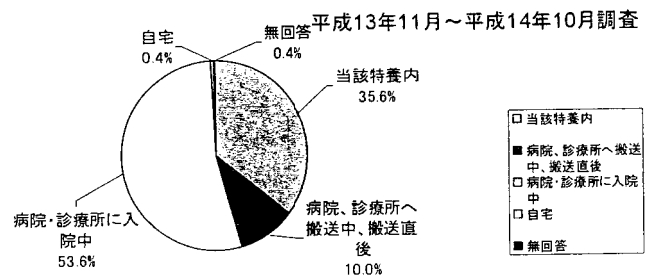
【資料】「平成15年介護サービス施設・事業所調査」(厚生労働省大臣官房統計情報部)

(4) 死亡退所の状況

- 介護療養型医療施設の死亡退所は、約3割となっている。
- 老人保健施設の死亡退所は、約2%となっている。
- 特別養護老人ホームの死亡退所は、約7割となっている。
- なお、平均在所日数は、介護療養型医療施設約360日、老人保健施設約230日、特別養護老人ホーム約1,430日となっている。



(参考) 特別養護老人ホームの死亡退所者の死亡の場所



【資料】「特別養護老人ホームにおける終末期の医療・介護に関する調査研究報告書」(医療経済研究機構、平成15年3月)

(5) 看取り

① 看取りの方針

- 利用者の死亡が予想される場合、「施設内で看取る」とする施設は介護療養型医療施設の約5割、老人保健施設の約6%、特別養護老人ホームの約2割である。

② 施設内で死亡を希望した場合の対応方針

- 療養病床では、「自院で支援する」が50.0%
- 老人保健施設では、「原則受け入れる」が33.8%
- 特別養護老人ホームでは、「原則受け入れる」が69.1%
となっている。

	療養病床		老人保健施設		特別養護老人ホーム	
死亡時期の予測:ある程度予測できていた	73.1%		62.1%		71.8%	
死亡が予想される場合の基本方針	療養病床の病棟内で看取る	53.3%	施設内で看取る	5.9%	施設内で看取る	19.4%
	速やかに自院の一般病床に移す	26.9%	速やかに病院等に移す	83.4%	速やかに病院等に移す	54.9%
	速やかに他の病院に移す	5.2%				
	<患者・家族が在宅死を希望した場合の対応>		<施設内死亡の希望の受け入れ>		<施設内死亡の希望の受け入れ>	
	自院で支援する	50.0%	原則受け入れる	33.8%	原則受け入れる	69.1%
	同一・関連法人で支援する	19.3%	受け入れない	46.5%	受け入れない	13.5%
	他の医療機関を紹介する	19.3%				

【資料】「療養病床における医療・介護に関する調査報告書」(医療経済研究機構 平成17年3月)

今後の検討事項(案)

療養病床アンケート調査では、転換の意向を未定とする医療機関が少ないことから、本委員会においてこれまでに示された介護施設等の現状や住まいの状況等を踏まえつつ、今後転換をより円滑に進めるための対応や転換後の施設・サービスの在り方を示していくことが考えられる。

(療養病床の転換に当たって地域で求められる介護施設等の在り方について)

- 既存の建物を活用した療養病床の転換を進めるためには、どのような点に留意すべきか。
- 将来の見通しや地域の様々なニーズに応じることができるよう、転換後の施設・サービスの形態の多様化を図るには、どのような点に留意すべきか。
- 入院・入所だけではなく、多様な住まいにおける療養生活の継続・選択を支援するためには、どのような点に留意すべきか。

特に、転換後も引き続き適切なサービスの提供を図るために、今回の調査で明らかとなった療養病床の入院患者の状態像も踏まえつつ、その在り方を示していくことが考えられる。

(介護サービスの提供について)

- 療養病床から転換した施設・サービスの利用者像についてどのように考えるか。
また、転換後の利用者像の変化についてどのように考えるか。
- 特に療養病床から転換した施設におけるこうした者に対する医療サービスの内容についてどのように考えるか。
 - ・特に夜間における看護が必要となる医療処置はどのようなものが考えられるか。
 - ・リハビリテーションの提供についてどのように考えるか。
 - ・看取りについてどのように考えるか。
- 上記のようなサービスを提供するための人員体制についてどのように考えるか。